

令和5年度

事業報告書及び収支決算書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

大 府 商 工 会 議 所

大府商工会議所憲章

大府商工会議所は、“大府ブランドを世界に”の崇高なビジョンの下、時代の流れを読み、世界に発信できる“大府ブランド”の創造に向け、「地域経済の活性化」と「住んで良し」「訪れて良し」の魅力ある地域づくりに、地域一丸となって取り組みます。

<基本理念>

我々は、地域の総合経済団体として、会員企業・事業所の繁栄を市民・地域の繁栄につなげることにより、「地域経済の持続的発展」を目指します。

<行動規範>

我々は、
「情熱」と「使命感」を持ち、
失敗を恐れず、
「チャレンジ精神」をモットーに、
スピード感をもって行動することを誓います。

平成31年4月1日
大府商工会議所

目 次

令和5年度事業報告書

写真で振り返る令和5年度大府商工会議所の活動	1
I 総括	3
II 定款及び規約の改正等	8
1 定款	8
2 規約	8
3 規則	8
4 規程	9
III 組織の状況	
1 運営組織	10
2 会員	11
3 特定商工業者	11
4 部会・委員会	12
5 役員	13
6 議員	15
7 顧問	17
8 参与	18
9 部会役員	18
10 委員会委員	20
11 支部役員	22
12 組織図及び事務分掌	25
IV 会議の状況	
1 議員総会	27
2 常議員会	27
3 正副会頭会議	28
4 監事会	30
5 幹部会議	30
6 委員会	30
7 知多地域広域連合会議	32
V 事業の状況	
1 部会活動	
(1) 商業部会	34
(2) 製造業部会	39
(3) 建設業部会	43
(4) 情報・物流・サービス業部会	45
2 経営改善支援	
(1) 小規模事業経営改善普及事業	47
(2) 「経営発達支援計画」による事業	54
(3) 創業支援	55
(4) 人材育成支援	58
(5) 販路開拓支援	59
(6) 生産性向上支援	60
(7) 健康経営	62
(8) 労務対策等支援	63
(9) 福利厚生事業	64
(10) 労働保険事務組合	64

3 賑わい創出	
(1) 支部活動（大府・横北・共長・吉森）	65
(2) 逸品運動（再掲）	66
(3) 地域イベントの支援	66
(4) 大府市産業文化まつり	66
(5) プレミアム商品券発行事業	67
(6) 商店街街路灯事業	69
4 行政への提言・要請	
(1) 大府市への要請と回答	70
(2) 大府市議会議員との意見交換会	83
(3) 愛知県への要望	83
(4) その他要望及び陳情	84
5 親しまれる商工会議所	
(1) 主要行事	85
(2) 情報発信	86
(3) 会員交流会	88
(4) ゴルフ委員会	88
(5) 共済事業	89
VI 青年部・女性会の活動	
1 青年部	90
2 女性会	93
VII その他	
1 Helpan171 災害支援バンク	95
2 技術技能の普及検定等	96
3 受託事業	97
4 庶務（指導検査・表彰・受賞・慶弔その他）	98
5 登録（法定台帳）	99
6 会館・事務所等（土地・建物・施設）	99
7 関係団体への加入及び連携	100
8 新商工業活性化ビジョン(2019～2028)の事業評価	101

令和5年度収支決算書

収支決算総括表	107
一般会計収支決算書	108
中小企業相談所特別会計収支決算書	111
共済事業特別会計収支決算書	113
労働保険事務組合一般会計収支決算書	114
特定退職金共済事業特別会計収支決算書	115
商品券事業特別会計収支決算書	116
財政調整資金積立金特別会計収支決算書	117
退職給与資金積立金特別会計収支決算書	118
労働保険事務組合労働保険料特別会計収支決算書	119
貸借対照表	120
固定財産明細表	121
財産目録	122
監査報告書	123

令和5年度

事業報告書

写真で振り返る令和 5 年度大府商工会議所の活動



▲大府市の事業・取組に対する要請（大府市役所） 9/19

【大府市の事業・取組に対する要請】

本要請は、平成 31 年度に当所が作成した「新工業活性化ビジョン 2019～2028」に掲げている下記の 3 つの柱を基に、経済界の声をとりまとめたものです。

- I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化
- II 持続可能なまちづくりの推進
- III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現

詳細は P70～82 をご覧ください。



▲健康経営優良法人認定フォーラム 4/12



▲会員交流会 & ミニ講座 7/11

大府市プレミアム商品券

発行総額 **2億5千2百万円** / 4千2百万円

おぶちゃん商品券

OSUCHAN GIFT TICKET

なんとプレミアム率 **20%!!** 5,000円×6,000円分のお買い物ができます！

7月1日(土) 申し込みSTART!

申し込み期間 **7月21日(水)まで**

WEB申し込み
おひとりにつき4シートまで申し込み可能です！

有効期間 令和5年9月2日 → 令和6年1月31日

発行 大府商工会議所 大府市補助事業

▲プレミアム商品券「おぶちゃん商品券」
1冊 5,000 円（額面 6,000 円）42,000 冊販売
使用期間 R5/9/2～R6/1/31

おぶ駅前夜市

2023年 9月9日

16:00～20:00 (雨天中止)

★大府駅前★
ファミリーマート横
三井リパーク

▲おおぶ駅前夜市 9/9

きょうわバイオリン夜市

2023年 11月3日

16時から20時

★会場★
ハツ屋会館横

▲きょうわバイオリン夜市 11/3



▲優良従業員表彰式 5/23



▲本支部連絡会議 MINRAKU 10/13



▲情報物流サービス業部会 ChatGPT セミナー 10/5



▲建設業部会視察 (株)稲葉製作所 10/17



▲製造業部会視察 (株)テルミック 11/27



▲商業部会逸品展示会 イオン東浦 R6/1/27-28



▲役員・議員視察研修 茨木商工会議所 11/7



▲新年賀詞交歓会 大府市役所多目的ホール R6/1/10

I 総 括

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが2類から5類に移行し、各種イベントや交流の機会が復活して街に活気が戻りました。それに伴い、中小企業の業況は緩やかに回復したものの、足元では、深刻な人手不足、コスト増、消費の低迷などで伸び悩み、力強さを欠いています。また、賃上げ圧力が高まる中、持続的な賃上げに向けた生産性の向上や取引価格の適正化が課題となっています。

大府商工会議所では、従来から、大府市、愛知県、国及び日本商工会議所を始めとする関係機関と連携して、会員事業所の持続的事業活動の相談・サポートを始め、人手不足、販路の拡大、生産性の向上などに取り組んでいます。刻一刻と変化する社会経済情勢や現場の声に応えつつ、事業者の皆様の事業継続と地域経済社会への影響の最小化に向けて、今後も努力してまいります。

以下、令和5年度の主な事業について、その概要を記述します。

1 企業の経営基盤安定化と地域経済の元気回復

物価上昇に苦しむ中小企業・小規模事業者への伴走支援により、経営基盤の安定化と地域経済の元気回復に取り組みました。

(1) 相談・指導の状況

項 目	内 容
経営計画等作成個別相談	回数 49 回、件数延 173 件
経営計画等作成セミナー	回数 1 回、参加者数延 10 名
小規模事業者持続化補助金支援	申請 37 件(内 6 件は結果待ち) 採択 20 件(採択率 64.5%)
大府市がんばる事業者応援補助金支援	申請 4 件 採択 4 件

(2) プレミアム商品券発行事業

物価高の影響を受ける市内事業者や市民を経済的に支援するためプレミアム商品券「おぶちゃん商品券」を昨年度比 1.4 倍に増額し、地域経済の活性化を図りました。

販売額：2 億 1 千万円(1 冊 5 千円×4.2 万シート完売)

発行総額：2 億 5 千 2 百万円(プレミアム率 20%)

使用期間：令和 5 年 9 月 2 日～令和 6 年 1 月 31 日

参加店：343 店舗

経済波及効果：4 億 4,655 万円(1.78 倍)

(3) 商業部会等による地域応援事業

ア 「大府駅西金曜マルシェ」「大府みどり公園キッチンカー出店支援」
参加社数 27 社

イ 「おおぶ駅前夜市」来場者数約 1,500 人 参加社数 12 社
 ウ 「きょうわバイオリン夜市」来場者数約 900 人 参加社数 13 社
 エ PR 動画作成 YouTube「オオブーム」26 件、
 Instagram での情報発信 投稿数 76 件、フォロワー数 228 人
 オ 大府市観光協会と連携したクーポン券「おぶポン」の発行
 参加社数 37 社、利用総数約 1,000 枚
 カ 移動販売車貸出支援 利用社数 延 9 件、利用期間 延 145 日

2 「持続可能なものづくり集積地」の形成

大府の強みである「ものづくり」の集積を高め繁栄させることにより、地域経済の持続的発展を実現するとともに、地域の社会課題の解決を目指しました。

(1) 補助金等の支援状況

項 目	内 容
小規模事業者持続化補助金支援	申請 37 件(内 6 件は結果待ち) 採択 20 件(採択率 64.5%)
経営革新計画承認支援	申請 1 件、認定 1 件
先端設備導入計画申請支援	申請 2 件、採択 2 件
ものづくり補助金申請支援	申請 2 件、採択 0 件
大府市省エネルギー設備導入支援 事業費補助金支援	申請 3 件、採択 3 件

(2) 生産性向上に繋げる生産現場の IT・IoT 化支援

「生産性向上(技術開発)のためのニーズ・シーズ調査」
 訪問企業 33 社(内、ビジネス成立企業 5 社)

(3) 人材育成支援

ア 「大府ビジネスカレッジ」
 テーマ「原価管理とコストダウン」「インターネットマーケティングの活用」
 回数 2 コース 4 回、参加者延 59 名
 イ 「橋本実践塾」職場の改善
 参加企業 8 社、前年度参加企業の活動フォロー 8 社
 ウ オンデマンド配信セミナー
 講座数約 1,000、アクセス数 1,694 件

(4) 販路開拓支援

ア アライアンスパートナー発掘市(主催：名古屋商工会議所)
 参加企業 10 社
 イ 地域商談会(三河・知多会場)参加企業 5 社
 ウ 逸品展示会(東浦町商工会と共催)
 会場イオンモール東浦、参加企業 18 社(大府 14、東浦 4) 来場者約 1,000 名

3 「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現

重要な経営資源である優秀な人材を確保し続けることができる、労働環境・職場づくり等を通して、収益性が高く健全で持続可能な企業の育成に取り組みました。

(1) 健康経営の推進

ア 健康経営優良法人認定祝賀フォーラムの実施

「健康経営優良法人 2023」の認定を受けた市内事業所をお祝いするため、アクサ生命保険(株)との共催により、認定証の授与を行いました。参加事業所 2 社による事例発表とあわせて、大府市・全国健康保険協会愛知支部・アクサ生命保険(株)がそれぞれ支援内容を紹介しました。参加企業 21 社(26 名)

イ 健康経営実践企業交流会の実施

大府市・大府商工会議所・全国健康保険協会愛知支部との連携により開催。大塚製薬による「熱中症対策セミナー」で熱中症の発症要因や対策について学んだ後、4 グループに分かれ各社の取組内容やその効果、また取り組む上での課題などについて情報交換会を行いました。参加企業 15 社(16 名)

ウ 健康経営の啓発や情報発信を目的としたセミナーの実施

東京海上日動火災保険(株)中小企業支援室から講師を招き、従業員への健康投資について学びました。また「運動」「食事」といった課題に対し、あいち健康プラザ・WARRIOR'S REST. が、具体的な取組方法の提案を行いました。参加企業 13 社

エ 大府商工会議所「健康経営優良法人 2024 中小規模法人部門」認定取得 5 回目

(2) 人材不足の解消

人材確保支援のため国の助成金を活用し、求人ポータルサイト「インディード」活用勉強会、求人ポータルサイトの開設、専門家による巡回個別支援を実施した結果、11 社中 6 社に求職者から応募があり 8 名の採用が決定しました。

(3) 事業者に寄り添った経営支援

事業者の経営ステージに応じたきめ細やかな支援により、事業所の持続的発展を目指しました。

巡回・窓口指導実企業 1,316 (昨年 1,111)、指導延件数 3,094 件(昨年 2,657 件)

ア 創業期 指導実人数 164 名、開業人数 25 名

主な相談内容：経営全般 208 件、事業計画 26 件、資金 109 件
セミナー実施回数 4 回(平均参加者 16 名)

新創業融資斡旋 9 件、6,310 万円、決定 5 件、4,160 万円

イ 確立期 記帳指導 92 事業所、確定申告指導実施回数 4 回(延相談者 73 名)

金融斡旋 12 件 11,900 万円、決定 9 件 6,500 万円

労働保険受託 317 事業所、一人親方保険受託 80 事業所

ウ 成長期 販路開拓 展示会実施回数 1 回、18 社

展示会出展回数 2 回、15 社

生産性向上(技術開発)調査及び支援 33 社

経営革新計画申請 1 件、認定 1 件(再掲)

事業承継に関する相談・支援 16 件

(4) 簿記・珠算検定試験

人材確保、定着、育成を目指し実施

- ア 簿記検定 3 回、受験者数 207 名
- イ 珠算・暗算検定 9 回、受験者数 186 名
- ウ 市内小学校への珠算ボランティア講師派遣 9 校

4 「持続可能なまちづくり」の推進

生産性を向上させると共に、優秀な人材を呼び込み、定住させることのできる質の高いインフラ整備により、持続可能な経済成長と健康、衛生、防災・減災、環境などの社会課題の解決にもつながる取り組みを行いました。

(1) 経済界や地域の声を的確に反映した行政への提言・要請

地域経済の持続的発展には、都市の基盤整備、ソフト事業全般に亘り、行政の役割が極めて大きいことから、部会、委員会、支部等からの意見を集約し、大府市及び愛知県に対して大府市の街づくりについて具体的内容を提示の上、提言・要請を実施しました。

また、今年度は、市議会議員・県議会議員と各支部、親和クラブ・市民クラブと正副会頭が要請に関する意見交換会を実施しました。

なお、大府市内の道路整備促進のため、通勤や仕事で自動車を利用するドライバーの視点で道路の渋滞や危険な箇所を把握するため、道路事業調査を実施しました。調査結果：市内事業所 38 社、182 名から延 646 件の指摘

(2) 賑わいづくり

魅力あるまちづくりによる地域活性化を図るため、各種事業を実施してまちの賑わい創出に努めました。

ア 「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」事業

花ロードを設定。石ヶ瀬川左岸の桜並木と鞍流瀬川右岸の桜並木をライトアップ。また、あいち健康の森公園内「生き物達の谷」周囲のハナモモ並木にペットボトルや LED ソーラーライトを敷設し、夜の花回廊の景観を演出しました。また、花めぐりフォトコンテストも実施。

「花めぐりウォークラリー」令和 6 年 3 月 30 日(土)、参加者 489 名

イ おおぶ逸品運動(げんき商店街)をベースにした商品づくりと人づくり

「一店逸品運動」東浦町商工会と合同実施

参加店 30 店舗(大府 21・東浦 9)、研究会 2 回

展示会 1 回、於：イオンモール東浦、来場者約 1,000 名(再掲)

「ふれあいゼミナール」69 講座、各店舗で実施

ウ 「大府駅西金曜マルシェ」「大府みどり公園キッチンカー出店支援」参加社数 27 社(再掲)

エ 「おおぶ駅前夜市」(再掲)

大府駅東にてバイオリン演奏及びキッチンカー、テント出店を実施
来場者数約 1,500 人 参加社数 12 社

「きょうわバイオリン夜市」(再掲)

共和駅西にてバイオリン演奏及びキッチンカー、テント出店を実施
来場者数約 900 人 参加社数 13 社

オ 「バイオリンの街大府」

「バイオリン／フィドル音楽の休日」を大府市及び大府市観光協会と連携して実施し、新たな観光資源の磨き上げに努めました。

5 商工会議所基盤強化

(1) 事業・サービスの満足度向上

物価高騰や人手不足に苦しむ会員に寄り添うため、国、県、市の各種施策を一早く情報収集してスピード感を持って伝達するとともに、経営指導員・専門家による相談窓口を開設して対応しました。

(2) 会議所自体の生産性向上と活動の見える化

ア 大府商工会議所「健康経営優良法人 2024 中小規模法人部門」認定取得 5 回目(再掲)

イ 情報発信 ホームページアクセス件数 106,240 件

まっちふる大府アクセス件数 PC51,049 件、スマートフォン 50,020 件

会報発行回数 12 回 24,000 部

Facebook ページによる情報発信

プレスリリース・新聞掲載 29 件

ウ 正副会頭会議の運営改善

正副会頭会議の運営については、資料をスクリーン投影し、ペーパーレスで実施しました。

以上、令和5年度も、物価高騰、人手不足に苦しむ、事業者の事業継続を最優先に取り組んで参りました。

令和6年度は会員ニーズが高い人材育成、原材料価格・電気代高騰への対応、人材不足の解消、生産性の向上、販路開拓について事業所に伴走し、大府商工会議所を挙げて、決意を新たに参ります。

Ⅱ 定款及び規約の改正等

1 定款

該当なし

2 規約

(1) 令和5年9月14日開催の第14回臨時通常議員総会において

諸証明等手数料徴収規約の一部改正

従来の諸証明等発給は窓口対応のみだったが、日本商工会議所が管轄するシステムを導入してオンライン発給の対応を追加する。

なお、オンライン発給システム上、証明書の種類による価格設定ができないため、諸証明等手数料の一律化を併せて行う。

条文の改正

第4条（手数料の納付等）

別表（第3条関係）の改正

3 規則

(1) 令和5年5月17日開催の第1回定例常議員会において

事務決裁規則の一部改正

事務事業を効率的に進めるため、一部の決裁権限を下位の職制へ委譲

別表の改正

第5条(専決事項)別表

決裁区分に所長・課長、所長補佐・課長補佐の決裁者を追加

(2) 令和5年11月15日開催の第3回定例常議員会において

優良従業員表彰規則の一部改正

表彰対象者の明確化と、推薦の基準を現代の働き方に適応させるために改正

条文の改正

第1条（目的）

第2条（表彰の種類並びに推薦の基準）

（様式1）

（様式2）の改正

(3) 令和6年3月19日開催の第4回定例常議員会において

職員給与規則の一部改正

公務員（愛知県）の給与改定に準拠して改正

また、管理職手当の支給率を職務の級及び職務の地位に対応した支給率から、職務の地位のみに対応した支給率に改正

別表の改正

第 5 条 別表 1（給料表）

第11条 別表12（昇格時号給対応表）

第14条 別表5（管理職手当の支給率）

第 24 条 別表 9－1（期末手当および勤勉手当の支給率）

定年年齢の引上げに伴う各規則の一部改正

地方公務員法の一部改正による愛知県職員の定年引上げに伴い、当所の定年も
60 歳から 65 歳へ段階的に引上げ

職員就業規則の一部改正

条文の改正

第 2 条（職員の定義）

第 18 条（定年および再雇用）

臨時職員就業規則の一部改正

条文の改正

第 9 条（定年）

職員給与規則の一部改正

条文の改正

第 3 条（給料）

第 14 条（管理職手当）

職員退職金管理及び支給規則の一部改正

第 6 条（退職金の額） 第 7 条（勤続期間の計算）

60 歳定年後の嘱託職員就業規則の一部改正

規則名称の改正 （新）定年後の嘱託職員就業規則の一部改正

条文の改正

第 1 条（趣旨）

第 4 条（再雇用および再雇用契約

第 10 条（休暇）

再雇用に関する調査書

様式 1

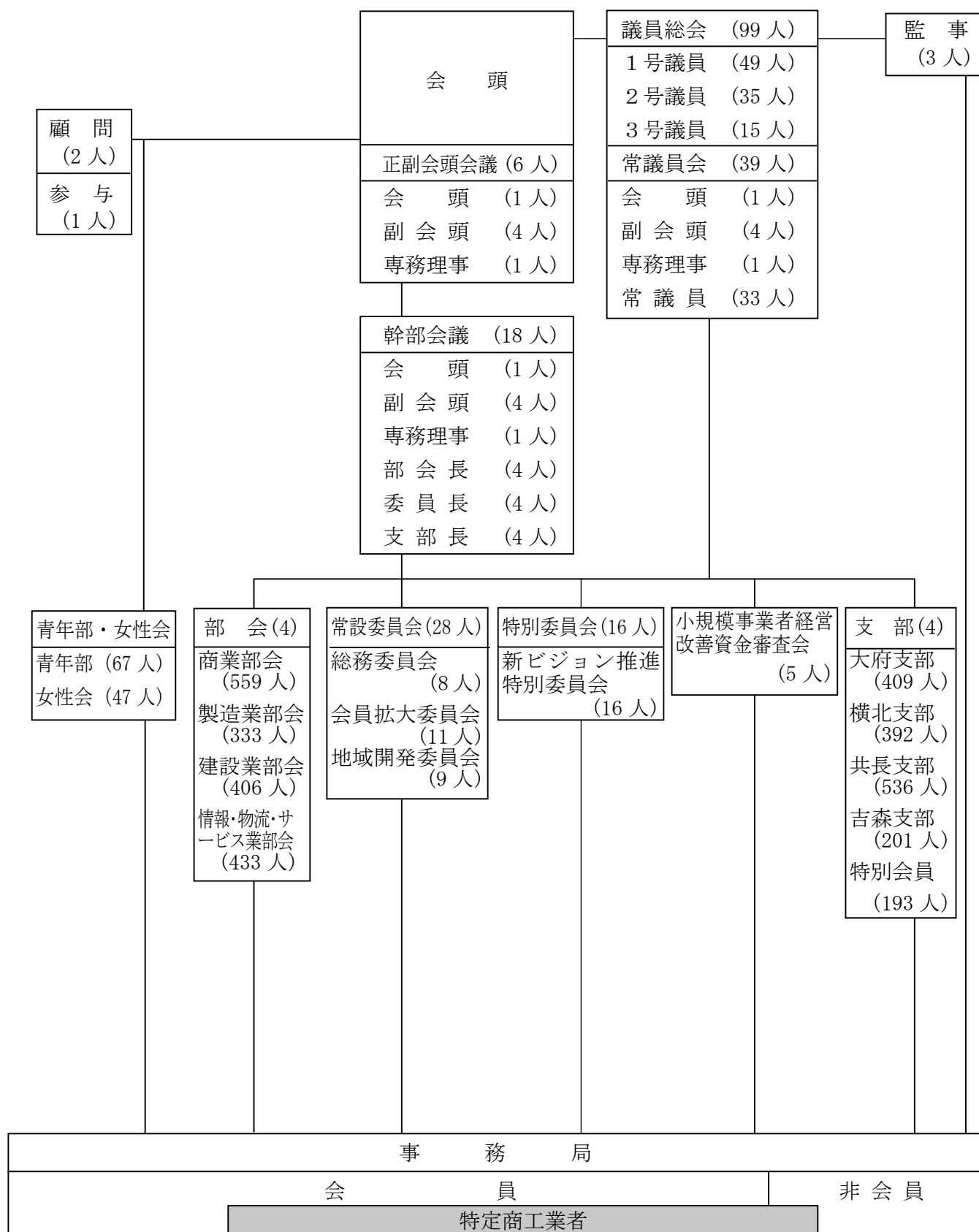
定年退職後の再雇用に関する協定書 の改正

4 規程

該当なし

Ⅲ 組織の状況

1 運営組織



2 会 員

(1) 会員数

事業所区分別会員数

令和 6 年 3 月 31 日現在

区 分	加入者 数	脱 退 者 数			区分 変更	5 年度末	4 年度末	対前年比 (%)
			廃業	転出等				
個 人	53	45	22	23	△ 4	727	723	100.6
法 人	30	29	9	20	4	1,004	999	100.5
計	83	74	31	43	0	1,731	1,722	100.5

地域別・業種別会員数

部 会 \ 地 域	大府	横北	共長	吉森	特別 会員	計	4 年 度末	対前年比 (%)
商 業	168	63	219	65	44	559	537	104.1
製 造 業	45	181	68	20	19	333	342	97.4
建 設 業	81	83	118	70	54	406	414	98.1
情報・物流・ サービス業	115	65	131	46	76	433	429	100.9
計	409	392	536	201	193	1,731	1,722	100.5
4 年 度 末	398	394	535	207	188	1,722		
対前年比(%)	102.8	99.5	100.2	97.1	102.7	100.5		

(2) 組織率

商工業者数	組織率	※商工業者数は平成 28 年経済センサス活動調査数
2,867	53.6%	

注) 組織率には特別会員 193 事業所を含まない。

3 特定商工業者

令和 5 年度の特定商工業者該当基準は、資本金 3,000,000 円以上

又は、従業員数が 20 人（商業・サービス業は 5 人）以上の商工業者

区 分	特定商工業者数
個 人	6 (7)
法 人	1,104 (1,023)
計	1,110 (1,030)

注) () 内は前年度の特定商工業者数

4 部会・委員会

(1) 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所属会員数
商業部会	・各種材料卸売業、飲食料品卸売業、一般機械器具卸売業 ・繊維・衣料品小売業、飲食料品小売業、家庭用電気機械器具・家具小売業、自動車・自転車小売業、時計・メガネ・宝石・タバコ・薬等小売業、本・文具・写真・スポーツ・楽器等小売業、ガソリンスタンド ・一般飲食店（食堂、そば・うどん店、すし店、喫茶店、その他） ・その他飲食店（料亭、バー、その他） ・理容・美容、旅館	559 名 (537 名)
製造業部会	・食料品製造業、繊維・衣服製造業、木材・木製品・家具製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、金属製品（塗装、熱処理等含む）製造業、一般機械器具（金型製造含む）製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械・その他製造業	333 名 (342 名)
建設業部会	・総合工事業 ・職別工事業 ・設備工事業 ・不動産業	406 名 (414 名)
情報・物流・サービス部会	・運輸業、通信業 ・娯楽業、専門サービス（会計・税務・塾）業、物品賃貸（リース）業、自動車・機械修理業、事業サービス（メンテナンス・警備）業、医療（歯科技工所・マッサージ）、その他 ・銀行、信用金庫、生命保険業、損害保険業	433 名 (429 名)

注) () 内は前年度の所属会員数

(2) 委員会

常設委員会

委 員 会 名	委 員 数	所 管 事 項
総 務 委 員 会	8 名	・定款、規約、規則等の制定又は改廃に関する事 ・事業計画及び収支予算、事業報告及び収支決算に関する事 ・財政基盤・組織基盤に関する事 ・意見の公表・具申・建議活動に関する事 ・会館の管理運営に関する事 ・表彰事業の審査に関する事 ・会費の賦課基準に関する事 ・会費の額の適正化に関する事 ・会費の収納に関する事 ・各種負担金・手数料の適正化に関する事 ・その他、他の委員会に属さない事項

委 員 会 名	委 員 数	所 管 事 項
会員拡大委員会	11 名	・会員の拡大（加入促進）に関する事 ・会員のサービス事業に関する事 ・各種共済事業に関する事 ・支部の運営・連携強化に関する事
地域開発委員会	9 名	・都市基盤の整備に関する事 ・中心市街地の活性化・まちづくりに関する ・地域環境対策に関する事 ・道路交通問題に関する事 ・行政・関係団体との連携に関する事

特別委員会

委 員 会 名	委 員 数	所 管 事 項
新ビジョン推進 特別委員会	16 名	・新ビジョン推進に関する事 （支部の運営・連携強化等組織に関する事を含む）

5 役 員

区 分	定 数	実 数
会 頭	1	1
副 会 頭	4	4
専務理事	1	1
常 議 員	33	33
監 事	3	3
計	42	42

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企業の業種
会 頭	鬼 頭 佑 治	協和工業(株)代表取締役社長	輸送用機械器具製造
副 会 頭	安 井 伸 友	イズミ工業(株)代表取締役社長	自動車部品製造
副 会 頭	深 谷 洋 二	(有)ステーション・イン・大府取締役会長	旅館
副 会 頭	花 井 宏 基	(株)花井組代表取締役社長	総合土木建設
副 会 頭	鷺 見 成 起	愛協産業(株)取締役社長	総合サービス
専務理事	下 畑 昌 史	大府商工会議所専務理事	
常 議 員	甲 斐 聖 三	愛三工業(株)人財基盤本部本部長	自動車部品製造
常 議 員	成 田 浩 章	(株)愛知工務店代表取締役	建築・土木工事
常 議 員	星 河 年 男	アルメック(株)取締役相談役	鉄スクラップ加工処理
常 議 員	伊 藤 友 子	(税)伊藤会計事務所代表社員	税理士・行政書士
常 議 員	大和田 宏 之	大府造園土木(有)代表取締役	造園土木工事
常 議 員	相 木 徹	オオブユニティ(株)代表取締役	廃棄物処理清掃
常 議 員	加 藤 久 徳	(株)加藤建築事務所大府事務所専務取締役	建築設計
常 議 員	伊 東 真 志	KeePer 技研(株)総務部次長	カーコーティング
常 議 員	佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売・修理
常 議 員	久 野 耕 嗣	久野耕嗣税理士事務所代表者	税理士

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企業の業種
常 議 員	新 美 善 民	(株)げんきの郷代表取締役社長	農畜産物販売飲食施設
常 議 員	成 戸 繁 之	(株)三恵シーアンドシー代表取締役社長	工作機械製造
常 議 員	山 田 恵 子	(有)サンタ代表取締役	食料品製造販売
常 議 員	深 谷 啓 治	シンセイ建設(株)取締役会長	建築工事
常 議 員	望 月 直 人	(株)スギ薬局行政連携推進課課長	医薬品・化粧品販売
常 議 員	出 口 弘 親	スチールテック(株)代表取締役	鋼材加工販売
常 議 員	祐 村 真 人	住友重機械工業(株)名古屋製造所環境課課長	産業用機器製造
常 議 員	野 村 隆	千代田工業(株)代表取締役会長	自動車部品製造
常 議 員	喜 多 光 範	デンソーテクノ(株)総務部部長	ソフトウェア・電子機器の開発及び設計
常 議 員	中 村 有 孝	東海興業(株)取締役・上席執行役員	自動車用ゴム製品製造
常 議 員	水 野 正 士	(株)東海塗装工業所代表取締役	金属製品塗装
常 議 員	西 保 幸	(株)東海理機代表取締役社長	自動車部品製造
常 議 員	佐 藤 光 彦	(株)東洋発酵経営企画室理事	発酵品製造
常 議 員	中 岡 健太郎	(株)豊田自動織機共和工場安全・総務室室長	輸送用機械器具製造
常 議 員	中 島 伸 夫	中島特殊鋼(株)代表取締役	特殊鋼加工販売
常 議 員	西 條 隆 志	(株)名張製作所常務執行役員	自動車部品組立
常 議 員	神 谷 恵美子	(株)八神取締役	宝石貴金属販売
常 議 員	半 谷 眞一郎	(株)半谷製作所代表取締役社長	自動車部品製造
常 議 員	日 高 章	日多加産業(株)代表取締役	プラスチック製品製造
常 議 員	古 市 晃 久	ブリックイン福岡(株)アズイン大府専務取締役	旅館
常 議 員	水 庭 佐枝子	(株)三菱 UFJ 銀行大府支店支店長	金融
常 議 員	永 田 司	(有)三吉金属工業所代表取締役	自動車部品試作加工
常 議 員	中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
監 事	大 嶋 久 邦	(株)尾三熔材代表取締役	高圧ガス類販売
監 事	村 瀬 泰 弘	(株)松尾製作所総務人事部渉外役	自動車部品製造
監 事	竹 内 良 礼	半田信用金庫大府支店支店長	金融

6 議 員

区 分	定 数	実 数
1 号議員	50	49
2 号議員	35	35
3 号議員	15	15
計	100	99

(1) 1号議員

氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
甲 斐 聖 三	愛三工業(株)人財基盤本部本部長	自動車部品製造
鈴 木 耕 治	アイサンコンピュータサービス(株)取締役	情報処理サービス
江 藤 進 一	アクサ生命保険(株)知多営業所所長	生命保険
長 谷 秀 俊	いずみサポート(株)名古屋支社支社長	建物警備サービス
伊 藤 友 子	(税)伊藤会計事務所代表社員	税理士・行政書士
竹 田 隆 憲	engawa 代表者	広告デザイン
近 藤 匡 則	(株)ONS コンドー代表取締役	新聞小売業
加 古 丞 二	大府修景建設(株)代表取締役	造園土木工事
大和田 宏 之	大府造園土木(有)代表取締役	造園土木工事
相 木 徹	オオブユニティ(株)代表取締役	廃棄物処理清掃
鬼 丸 正 之	(株)鬼丸代表取締役	工業用ゴム製品、樹脂加工
加 藤 久 徳	(株)加藤建築事務所大府事務所専務取締役	建築設計
門 脇 昭 三	(株)門脇商店代表取締役	総合土木建設
里 山 剛 史	希光建設(株)代表取締役	土木・建築基礎工事
内 藤 政 利	共栄不動産代表者	不動産取引
富 田 毅	(株)共和熱処理代表取締役社長	金属熱処理
坂 口 美 穂	公認会計士・税理士坂口美穂事務所代表者	会計士・税理士
成 戸 繁 之	(株)三恵シーアンドシー代表取締役社長	工作機械製造
山 田 恵 子	(有)サンタ代表取締役	食料品製造販売
樋 口 智 朗	(株)昭栄精機代表取締役社長	回転機部品製造
山 田 敏 二	(有)寝具の山田屋取締役会長	寝具衣料販売
柿 原 誠太郎	寿司割烹なだか料理長	すし店
出 口 弘 親	スチールテック(株)代表取締役	鋼材加工販売
祐 村 真 人	住友重機械工業(株)名古屋製造所環境課課長	産業用機器製造
富 田 虎 夫	染と呉服とみたや代表者	呉服店
坂 野 俊 直	大東興産(株) (名南カントリークラブ) 代表取締役会長	ショートコースゴルフ場
小森谷 尚 久	大和機工(株)代表取締役	建設機械リース販売
山 崎 宏 文	タツミ化成(株)代表取締役	プラスチック製品製造
喜 多 光 範	デンソーテクノ(株)総務部部長	ソフトウェア・電子機器の開発及び設計
中 村 有 孝	東海興業(株)取締役・上席執行役員	自動車用ゴム製品製造
水 野 正 士	(株)東海塗装工業所代表取締役	金属製品塗装
佐 藤 光 彦	(株)東洋発酵経営企画室理事	発酵品製造

氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
中 岡 健太郎	(株)豊田自動織機共和工場安全・総務室室長	輸送用機械器具製造
中 島 伸 夫	中島特殊鋼(株)代表取締役	特殊鋼加工販売
西 條 隆 志	(株)名張製作所常務執行役員	自動車部品組立
坂 康 臣	(株)ニホンディスプレイ代表取締役	内外展示企画デザイン試工
林 田 秀 治	(有)林田電気システム取締役	一般電気工事
半 谷 眞一郎	(株)半谷製作所代表取締役社長	自動車部品製造
平 下 学	平下塗装(株)代表取締役	金属塗装
座 間 裕 史	(株)ファンファーレ代表取締役	中小企業診断士
深 見 貴 英	(株)フカミ役員	インソール・ウォーキングシューズ販売
深 谷 孝 利	深谷設計室代表者	建築設計監理
木 下 裕 樹	福富金属(株)代表取締役	自動車部品製造
田 中 隆	(株)不二塚工業代表取締役	自動車部品製造
島 岡 亮 司	(同)フロイント代表社員	酒類販売製造 (クラフトビール)
松 葉 正 歩	(株)マツバエンジニアリング代表取締役	電気通信工事
篠 田 耕 一	三力工業(株)代表取締役社長	鋳金・製缶加工
中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
岡 田 和 宏	(株)吉田屋常務取締役	総合食品卸

(2) 2号議員

氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
遠 藤 範 裕	(株)愛知銀行大府支店支店長	金融
成 田 浩 章	(株)愛知工務店代表取締役	建築・土木工事
近 藤 健 一	(有)あいちリネン代表取締役	洗濯業
相 羽 英 人	(株)相羽製作所代表取締役会長	特殊印刷
三 品 富 康	(株)浅井歯科技研相談役	歯科技工物製造
星 野 晃	(株)アペックス企画本部長	自動販売機飲食品販売
星 河 年 男	アルメック(株)取締役相談役	鉄スクラップ加工処理
植 村 竜 也	(有)植村モータース代表取締役	自動車販売・修理
伊 藤 健太郎	(株)大垣共立銀行大府支店支店長	金融
川 口 弘 晃	(株)カワグチ代表取締役	電気配線器具製造販売
佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売・修理
久 野 耕 嗣	久野耕嗣税理士事務所代表者	税理士
新 美 善 民	(株)げんきの郷代表取締役社長	農畜産物販売飲食施設
松 田 真 和	(株)十六銀行リソラ大府出張所所長	金融
都 築 弘 充	昭和プロダクト(株)理事・名古屋事業所長	各種巻取用紙管及びプラスチック製品
深 谷 啓 治	シンセイ建設(株)取締役会長	建築工事
杉 浦 俊 道	公認会計士税理士杉浦俊道事務所代表者	会計士・税理士
望 月 直 人	(株)スギ薬局行政連携推進課課長	医薬品・化粧品販売
溝 口 稔 啓	知多信用金庫大府支店支店長	金融
近 藤 まゆみ	(株)知多不動産代表取締役	不動産取引

氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
木 村 祐 之	(株)中京銀行大府中央支店支店長	金融
野 村 隆	千代田工業(株)代表取締役会長	自動車部品製造
弓 場 忠 道	東海ホイスト工業(株)代表取締役	動力伝導装置製造
西 保 幸	(株)東海理機代表取締役社長	自動車部品製造
富 田 初 志	(株)富新住宅設備代表取締役	住宅設備工事業
猿 田 治 久	(株)名古屋銀行大府支店支店長	金融
杉 浦 友 朗	西尾信用金庫大府共和支店支店長	金融
神 谷 恵美子	(株)八神取締役	宝石貴金属販売
古 市 晃 久	フリックイン福井(株)(アズイン大府)専務取締役	旅館
武 田 義 明	碧海信用金庫大府支店支店長	金融
川 口 満 人	豊和住建(有)取締役会長	建築工事
永 田 司	(有)三吉金属工業所代表取締役	自動車部品試作加工
河 合 和 哉	(株)名南製作所取締役	木工機械製造
笹 田 栄 治	(有)山本鋳金代表取締役	自動車部品試作鋳金加工
渡 辺 淳 一	(株)渡辺製作所代表取締役	輸送用機器部品製造

(3) 3号議員

氏 名	企業の名称及び企業における地位	企業の業種
大 島 嘉 夫	愛知精工(株)管理部部長	輸送用機械器具製造
谷 昌 洋	(株)アンセイ管理部部長	自動車部品製造
酒 井 克 人	岡崎信用金庫大府支店支店長	金融
石 黒 啓 介	化成工業(株)取締役	自動車用ゴム製品製造
伊 東 真 志	KeePer 技研(株)総務部次長	カーコーティング
青 本 多嘉裕	大天工業(株)代表取締役	土木・解体工事
森 實 建 介	(株)新居浜鐵工所代表取締役	産業用機械製造
立 木 正 志	日本高圧電気(株)総務部グループマネージャー	配電用機器製造販売
日 高 章	日多加産業(株)代表取締役	プラスチック製品製造
深 谷 光 俊	(株)フカヤプレス代表取締役	金属プレス加工
川 地 伸 治	(有)物流センター取締役	配送センター運営管理
水 庭 佐枝子	(株)三菱 UFJ 銀行大府支店支店長	金融
吉 田 正 弘	(株)吉田金型工業取締役会長	金型設計製作
星 野 勝 之	リネットジャパングループ(株)常務取締役・リユース事業本部長	書籍・雑誌小売業（古本を除く）
石 田 恭一郎	(株)竜製作所代表取締役	専用機設計製作

7 顧 問

氏 名	企業の名称及び企業における地位
磯 谷 智 生	元(株)豊田自動織機取締役会長・取締役社長、大府商工会議所 元会頭
木 村 勝 昭	東海興業ホールディングス(株)取締役名誉会長、大府商工会議所 前会頭

8 参 与

氏 名	企業の名称及び企業における地位
井 上 雅	大府商工会議所 前専務理事

9 部会役員

部 会 区 分	部 会 長	副部会長	幹 事	顧 問	計
商 業	1	3	18	1	23
製 造 業	1	3	11	1	16
建 設 業	1	4	14	1	20
情報・物流・サービス業	1	3	19	1	24

(1) 商業部会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧 問	深 谷 洋 二	(有)ステーション・イン・大府取締役会長	旅館
部 会 長	古 市 晃 久	フリックイン福井(株)(アズイン大府)専務取締役	旅館
副部会長	加 藤 大 雅	(株)みかど代表取締役	飲食・料亭
副部会長	深 見 貴 英	(株)フカミ役員	インソール・ウォーキングシューズ販売
副部会長	牧之瀬 昭	(株)共和カメラ代表取締役	写真機・写真材料小売
幹 事 (相談役)	富 田 虎 夫	染と呉服とみたや代表者	呉服店
幹 事 (相談役)	山 田 敏 二	(有)寝具の山田屋取締役会長	寝具衣料販売
幹 事	伊 藤 頼 一	イトープロパン(株)取締役	L P ガス燃料小売
幹 事	柿 原 誠太郎	寿司割烹なだか料理長	飲食・料亭
幹 事	神 谷 恵美子	(株)八神取締役員	宝石貴金属販売
幹 事	佐々木 次 郎	佐々木理容館元代表者	理容院
幹 事	佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売・修理
幹 事	鷹 羽 文 男	(有)桃山ツーリスト代表取締役	一般旅行業
幹 事	中 村 直 也	(有)中村広報代表取締役	野立看板、広告塔等
幹 事	新 美 善 民	(株)げんきの郷代表取締役社長	農畜産物販売飲食施設
幹 事	服 部 啓 子	(有)ふじや酒店取締役	酒類小売
幹 事	早 川 秀 吉	中華料理秀苑代表者	中国料理
幹 事	望 月 直 人	(株)スギ薬局行政連携推進課課長	医薬品・化粧品販売
幹 事	横 井 充 成	東鮓共和店社員	すし店
幹 事	阿嘉嶺 真 也	てとてキッチン代表者	飲食(キッチンカー)
幹 事	安 部 可南子	ひこ屋代表者	イラストレーター
幹 事	近 藤 匡 則	(株)ONS コンドー代表取締役	新聞小売業
幹 事	島 岡 亮 司	(同)フロイント代表社員	酒類販売製造 (クラフトビール)

(2) 製造業部会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	安 井 伸 友	イヅミ工業㈱代表取締役社長	自動車部品製造
部 会 長	水 野 正 士	㈱東海塗装工業所代表取締役	金属製品塗装
副部会長	笹 田 栄 治	(有)山本鋳金代表取締役	自動車部品試作板金加工
副部会長	中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
副部会長	篠 田 耕 一	三力工業㈱代表取締役社長	鋳金・製缶加工
幹 事	野 村 隆	千代田工業㈱代表取締役会長	自動車部品製造
幹 事	日 高 章	日多加産業㈱代表取締役	プラスチック製品製造
幹 事	祐 村 真 人	住友重機械工業㈱名古屋製造所環境課課長	産業用機器製造
幹 事	中 島 伸 夫	中島特殊鋼㈱代表取締役	特殊鋼加工販売
幹 事	永 田 司	(有)三吉金属工業所代表取締役	自動車部品試作加工
幹 事	中 岡 健太郎	㈱豊田自動織機共和工場安全・総務室室長	輸送用機械器具製造
幹 事	成 戸 繁 之	㈱三恵シーアンドシー代表取締役社長	工作機械製造
幹 事	西 條 隆 志	㈱名張製作所常務執行役員	自動車部品組立
幹 事	伊 藤 保 之	㈱東海理機生産技術部部长	自動車部品製造
幹 事	渡 辺 淳 一	㈱渡辺製作所代表取締役	輸送用機器部品製造
幹 事	鬼 丸 正 之	㈱鬼丸代表取締役	工業用ゴム製品・樹脂加工

(3) 建設業部会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	花 井 宏 基	㈱花井組代表取締役社長	総合土木建設
部 会 長	深 谷 啓 治	シンセイ建設㈱取締役会長	建築工事
副部会長	伴 美 史	愛協産業㈱取締役	総合サービス
副部会長	成 田 浩 章	㈱愛知工務店代表取締役	建築土木工事
副部会長	加 古 丞 二	大府修景建設㈱代表取締役	造園工事
副部会長	斉 藤 淳	斉藤建築代表者	建築工事
幹 事	門 脇 昭 三	㈱門脇商店代表取締役	総合土木建設
幹 事	里 山 剛 史	希光建設㈱代表取締役	土木、建築基礎工事
幹 事	内 藤 政 利	共栄不動産代表者	不動産取引
幹 事	深 谷 和 政	共和エステート(有)代表取締役	不動産取引
幹 事	成 田 典 靖	成田左官代表者	左官
幹 事	間 瀬 健 一	センスイ設備㈱代表取締役	一般管工事
幹 事	青 本 多嘉裕	大天工業㈱代表取締役	土木・解体工事
幹 事	近 藤 まゆみ	㈱知多不動産代表取締役	不動産取引
幹 事	富 田 初 志	㈱富新住宅設備代表取締役	住宅設備工事
幹 事	早 川 高 光	早川塗装店代表者	塗装、防水工事
幹 事	林 田 秀 治	(有)林田電気システム取締役	各種電気工事
幹 事	川 口 満 人	豊和住建(有)取締役会長	建築工事
幹 事	酒 井 真 二	マーシフルアクト㈱代表取締役	不動産取引
幹 事	三 苫 雅 彦	(有)三苫業務店代表取締役	左官

(4) 情報・物流・サービス業部会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	鷲見成起	愛協産業(株)取締役社長	総合サービス
部会長	竹田隆憲	engawa 代表者	広告デザイン
副部会長	水庭佐枝子	(株)三菱 UFJ 銀行大府支店支店長	金融
副部会長	杉浦俊道	公認会計士税理士杉浦俊道事務所代表者	会計士・税理士
副部会長	喜多光範	デンソーテクノ(株)総務部部長	ソフトウェア・電子機器の開発及び設計
幹事	鈴木耕治	アイサンコンピュータサービス(株)取締役	情報処理サービス
幹事	遠藤範裕	(株)愛知銀行大府支店支店長	金融
幹事	江藤進一	アクサ生命保険(株)知多営業所所長	生命保険
幹事	澤田晃	いずみサポート(株)名古屋支社保険部長	建物警備サービス
幹事	伊藤友子	(税)伊藤会計事務所代表社員	税理士・行政書士
幹事	伊藤健太郎	(株)大垣共立銀行大府支店支店長	金融
幹事	酒井克人	岡崎信用金庫大府支店支店長	金融
幹事	加藤久徳	(株)加藤建築事務所大府事務所専務取締役	建築設計
幹事	伊東真志	KeePer 技研(株)総務部次長	カーコーティング
幹事	久野耕嗣	久野耕嗣税理士事務所代表者	税理士
幹事	坂口美穂	公認会計士・税理士坂口美穂事務所代表者	会計士・税理士
幹事	坂野俊直	大東興産(株)名古屋カントリークラブ代表取締役会長	ショートコースゴルフ場
幹事	溝口稔啓	知多信用金庫大府支店支店長	金融
幹事	山本隆明	知多メディアスネットワーク(株)取締役	有線テレビジョン放送事業
幹事	木村祐之	(株)中京銀行大府中央支店支店長	金融
幹事	猿田治久	(株)名古屋銀行大府支店支店長	金融
幹事	杉浦友朗	西尾信用金庫大府共和支店支店長	金融
幹事	座間裕史	(株)ファンファーレ代表取締役	中小企業診断士
幹事	武田義明	碧海信用金庫大府支店支店長	金融

10 委員会委員

(1) 常設委員会

ア 総務委員会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	安井伸友	イゾミ工業(株)代表取締役社長	自動車部品製造
委員長	成戸繁之	(株)三恵シーアンドシー代表取締役社長	工作機械製造
副委員長	半谷眞一郎	(株)半谷製作所代表取締役社長	自動車部品製造
副委員長	喜多光範	デンソーテクノ(株)総務部部長	ソフトウェア・電子機器の開発及び設計
委員	甲斐聖三	愛三工業(株)人財基盤本部本部長	自動車部品製造
委員	伊藤友子	(税)伊藤会計事務所代表社員	税理士・行政書士
委員	新美善民	(株)げんきの郷代表取締役社長	農畜産物販売飲食施設
委員	中村有孝	東海興業(株)取締役・上席執行役員	自動車用ゴム製品製造
委員	中岡健太郎	(株)豊田自動織機共和工場安全・総務室室長	輸送用機械器具製造

イ 会員拡大委員会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	深 谷 洋 二	(有)ステーション・イン・大府取締役会長	旅館
委員長	西 條 隆 志	(株)名張製作所常務執行役員	自動車部品製造
副委員長	水 庭 佐枝子	(株)三菱 UFJ 銀行大府支店支店長	金融
副委員長	野 村 隆	千代田工業(株)代表取締役会長	自動車部品製造
委員	出 口 弘 親	スチールテック(株)代表取締役	鋼材加工販売
委員	伊 東 真 志	KeePer 技研(株)総務部次長	カーコーティング
委員	加 古 丞 二	大府修景建設(株)代表取締役	造園土木工事
委員	中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
委員	佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売・修理
委員	大和田 宏 之	大府造園土木(有)代表取締役	造園土木工事
委員	近 藤 匡 則	(株)ONS コンドー代表取締役	新聞小売業
委員	花 井 由美子	(株)花井組監査役	総合土木建設

ウ 地域開発委員会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	花 井 宏 基	(株)花井組代表取締役社長	総合土木建設
委員長	深 谷 啓 治	シンセイ建設(株)取締役会長	建築工事
副委員長	成 田 浩 章	(株)愛知工務店代表取締役	建築・土木工事
委員	相 木 徹	オオブユニティ(株)代表取締役	廃棄物処理清掃
委員	神 谷 恵美子	(株)八神取締役	宝石貴金属販売
委員	星 河 年 男	アルメック(株)取締役相談役	鉄スクラップ加工処理
委員	祐 村 真 人	住友重機械工業(株)名古屋製造所環境課課長	産業用機器製造
委員	日 高 章	日多加産業(株)代表取締役	プラスチック製品製造
委員	古 市 晃 久	フリックイン福井(株)(アズイン大府)専務取締役	旅館
委員	山 田 恵 子	(有)サンタ代表取締役	食料品製造販売

(2) 特別委員会

ア 新ビジョン推進特別委員会

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
顧問	鷺 見 成 起	愛協産業(株)取締役社長	総合サービス
顧問	花 井 宏 基	(株)花井組代表取締役社長	総合土木建設
委員長	三 品 富 康	(株)浅井歯科技研相談役	歯科技工物製造
副委員長	佐 藤 光 彦	(株)東洋発酵経営企画室理事	発酵品製造
副委員長	西 保 幸	(株)東海理機代表取締役社長	自動車部品製造
委員	望 月 直 人	(株)スギ薬局行政連携推進課課長	医薬品・化粧品販売
委員	成 戸 繁 之	(株)三恵シーアンドシー代表取締役社長	工作機械製造
委員	西 條 隆 志	(株)名張製作所常務執行役員	自動車部品組立
委員	古 市 晃 久	フリックイン福井(株)(アズイン大府)専務取締役	旅館
委員	水 野 正 士	(株)東海塗装工業所代表取締役	金属製品塗装
委員	深 谷 啓 治	シンセイ建設(株)取締役会長	建築工事
委員	竹 田 隆 憲	engawa 代表者	広告デザイン

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
委 員	加 古 丞 二	大府修景建設(株)代表取締役	造園土木工事
委 員	中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
委 員	佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売、整備
委 員	大和田 宏 之	大府造園土木(有)代表取締役	造園土木工事
委 員	近 藤 匡 則	(株)ONS コンドー代表取締役	新聞小売業
委 員	花 井 由美子	(株)花井組監査役	総合土木建設

11 支部役員

(1) 大府支部

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
支 部 長	加 古 丞 二	大府修景建設(株)代表取締役	造園土木工事
副支部長	鷹 羽 文 男	(有)桃山ツーリスト代表取締役	一般旅行業
副支部長	榊 原 知 宏	(株)花井組総務課課長	総合土木建設
副支部長	成 田 浩 章	(株)愛知工務店代表取締役	建設・土木工事
会計理事	中 島 崇	行政書士中島たかし事務所代表	税理士・行政書士
理 事	山 田 恵 子	(有)サンタ代表取締役	食料品製造販売
理 事	山 下 康 二	(株)くるみ代表取締役	高齢者介護
理 事	祐 村 真 人	住友重機械工業(株)名古屋製造所環境課課長	産業用機器製造
理 事	喜 多 光 範	デンソーテクノ(株)総務部部長	ソフトウェア・電子機器の開発及び設計
理 事	古 市 晃 久	フリックイン福井(株)アズイン大府専務取締役	旅館
理 事	小 島 覚	(株)小島洋品店代表取締役	衣料品小売業
理 事	榊 原 肇	愛恵(株)	不動産取引
理 事	鈴 木 善 広	(有)まるひろ	金物小売業
理 事	近 藤 辰 憲	(株)オニックス・コンドー代表取締役	新聞小売業
理 事	山 崎 一 雄	山崎写真館代表者	写真機・写真材料小売業
理 事	櫻 井 義 道	桜井指圧治療院代表者	指圧治療院
理 事	伊 藤 良 久	(有)伊藤モータース代表取締役	自動車整備業
理 事	高 井 隆 一	高井不動産事務所代表者	不動産取引
理 事	加 藤 大 雅	(株)みかど代表取締役	飲食・料亭
理 事	太 田 和 利	司法書士おおた事務所代表者	税理士・行政書士
監 事	伊 藤 頼 一	イトープロパン(株)取締役	L P ガス燃料小売
監 事	伊 藤 啓 信	はんの伊藤代表者	印鑑ゴム印販売
相 談 役	深 谷 洋 二	(有)ステーション・イン・大府取締役会長	旅館

(2) 横北支部

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
支 部 長	中 本 和 則	(有)矢田化学工業代表取締役会長	金属部品表面処理
副支部長	笹 田 栄 治	(有)山本鋳金代表取締役	自動車部品試作鋳金加工
副支部長	平 下 洋 子	平下塗装(株)総務取締役	金属塗装
副支部長 (会計)	中 島 伸 夫	中島特殊鋼(株)代表取締役	特殊鋼加工販売
監 事	大 嶋 久 邦	(株)尾三熔材代表取締役	高圧ガス類販売
監 事	野 村 隆	千代田工業(株)代表取締役会長	自動車部品製造
理 事	井戸田 理	日活合成工業(株)代表取締役	化学工業製品製造
理 事	青 本 多嘉裕	大天工業(株)代表取締役社長	土木・解体工事
理 事	大 嶋 淑 範	(有)愛和金型製作所代表取締役	金型・同部分品製造業
理 事	森 實 建 介	(株)新居浜鐵工所代表取締役	産業用機械製造
理 事	大 谷 善 郎	大和機工(株)グループ長	建設機械リース販売
理 事	酒 井 基 之	(株)トラスト・ワン代表取締役	保険業
理 事	永 田 司	(有)三吉金属工業所代表取締役	自動車部品試作加工
理 事	渡 辺 淳 一	(株)渡辺製作所代表取締役	輸送用機器部品製造
理 事	小 崎 義 弘	(有)大府プラスチック工業専務取締役	プラスチック製品製造
理 事	角 野 淳 二	角野自動車整備工場代表	自動車整備
理 事	水 野 正 士	(株)東海塗装工業所代表取締役	金属製品塗装
理 事	徳 永 武 之	(有)トーエイテクノ代表取締役	ステンレス加工
理 事	日 高 章	日多加産業(株)代表取締役	プラスチック製品製造
理 事	平 下 茂 男	(有)平下商会代表取締役	特定貨物自動車運送
書 記	柿 原 誠太郎	寿司割烹なだか料理長	すし店
相 談 役	相 羽 英 人	(株)相羽製作所代表取締役会長	特殊印刷
相 談 役	藤 本 正 明	藤本加工所代表者	ゴム製品製造業

(3) 共長支部

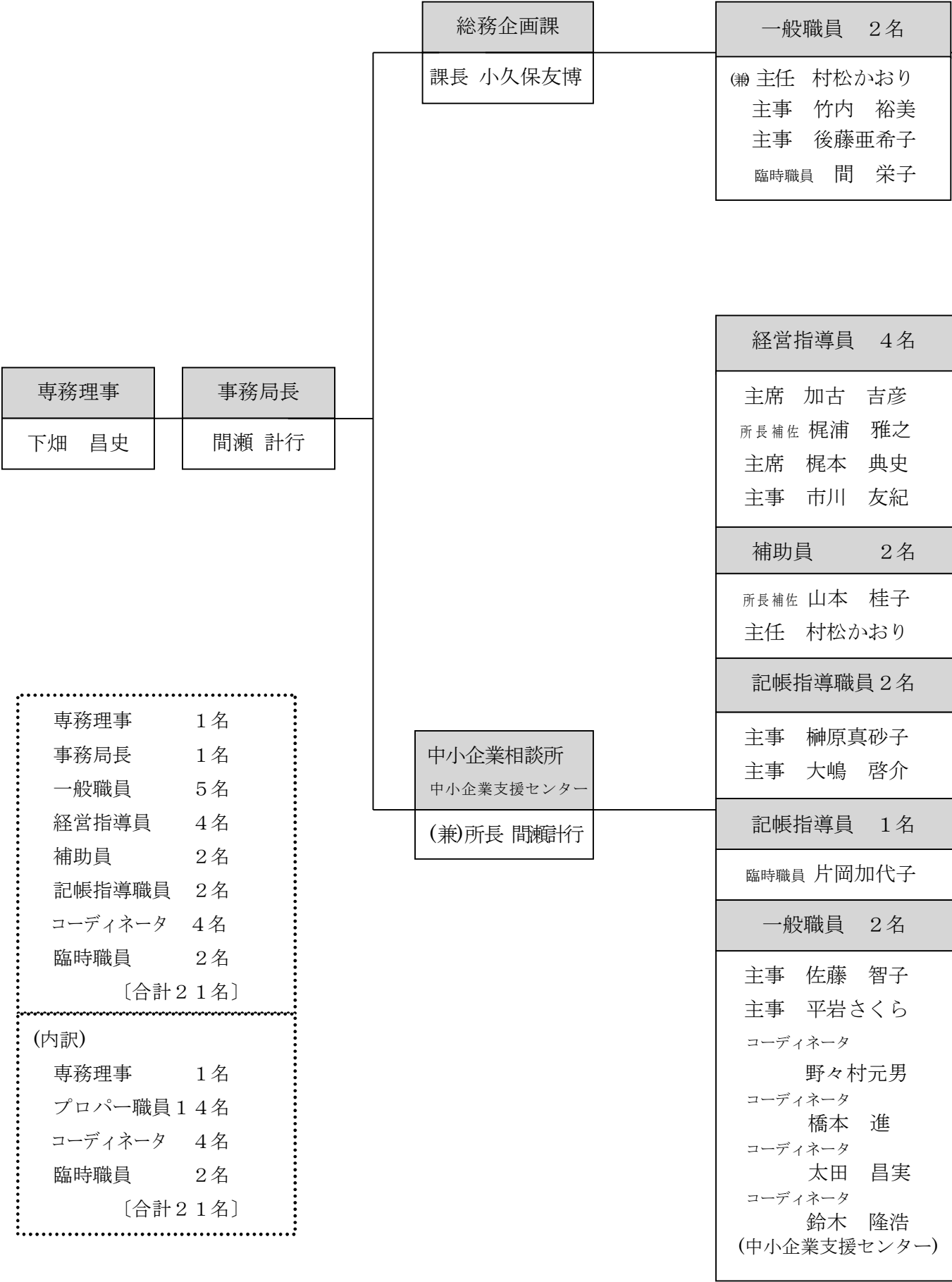
役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
支 部 長	佐 治 秀 樹	(株)共和モータース代表取締役社長	自動車販売、整備
副支部長	富 田 虎 夫	染と呉服とみたや代表者	呉服店
副支部長	丹 下 朝 則	(株)八神常務取締役	宝石貴金属販売
理 事	深 谷 剛 寿	共和石油(株)代表取締役	石油製品小売業
理 事	坂 野 忠 興	(有)興和建築設計事務所代表取締役	建築設計管理
理 事	中 岡 健太郎	(株)豊田自動織機共和工場安全・総務室室長	輸送用機械器具製
理 事	山 田 敏 二	(有)寝具の山田屋取締役会長	寝具衣料販売
理 事	甲 斐 聖 三	愛三工業(株)人財基盤本部本部長	自動車部品製造
理 事	早 川 邦 夫	愛協産業(株)ライフサービス係	総合サービス
理 事	川 口 満 人	豊和住建(有)取締役会長	建築工事
理 事	猿 田 治 久	(株)名古屋銀行大府支店支店長	金融
理 事	武 田 義 明	碧海信用金庫大府支店支店長	金融
理 事	鈴 木 耕 治	アイサンコンピュータサービス(株)取締役	情報処理サービス

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
理 事	富 田 伸 樹	富田造園(株)代表取締役	造園土木工事
理 事	富 田 初 志	(株)富新住宅設備代表取締役	住宅設備工事業
理 事	長 谷 伸 一	(株)Beans あずき薬局代表取締役	医療品小売業
理 事	牧之瀬 昭	(株)共和カメラ代表取締役	写真材料小売・撮影業
理 事	水 流 隆 志	日本郵便(株)大府長草郵便局局長	郵便業・保険代理業
理 事	横 井 充 成	東鯨共和店社員	すし店
理 事	富 田 幹 雄	富藤不動産代表者	不動産取引
書 記	兼 松 邦 人	カネマツ機工(株)代表取締役	工作機械販売
会 計	佐々木 慎 二	ササキ不動産販売(有)代表取締役	不動産取引
監 事	内 藤 政 利	共栄不動産代表者	不動産取引
監 事	浅 見 邦 治	(株)名張製作所顧問	自動車附属品製造
相 談 役	深 谷 啓 治	シンセイ建設(株)取締役会長	建築工事
相 談 役	深 谷 孝 利	深谷設計室代表者	建築設計管理監理

(４) 吉森支部

役職名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
支 部 長	大和田 宏 之	大府造園土木(有)代表取締役	造園土木工事
副支部長	平 岩 幹 広	(株)プエオ代表取締役	人材派遣
副支部長	坂 野 国 誉	神池自動車社員	自動車販売、整備
副支部長	深 谷 正 之	(有)吉田石油店代表取締役	燃料小売業
理 事	細 田 正 明	(株)げんきの郷総務部部長	農畜産物販売飲食施設
理 事	佐 藤 光 彦	(株)東洋発酵経営企画室理事	発酵品製造
理 事	林 田 秀 治	(有)林田電気システム取締役	各種電気工事
理 事	三 苫 雅 彦	(有)三苫業務店代表取締役	左官
理 事	永 田 久	中日新聞大府森岡専売所永田新聞店代表者	新聞販売業
会 計	村 井 裕 一	行政書士村井法務事務所代表者	行政書士
書 記	家 田 宏	ひとまち応援隊代表者	広告デザイン
監 事	岩 瀬 高 弘	碧海信用金庫大府西支店支店長	金融
監 事	伴 野 敏 幸	ヘアースalonばんの代表者	理容
相 談 役	外 山 郁 朗	理容大徳代表者	理容

12 組織図及び事務分掌



(1) 総務企画課 ・会議所全般に関連する事業・事項の調整により円滑な会議所の運営を図る。 ・広報に関する総合的な企画調整を行なう。 ・会議所の IT 化や働き方改革などの推進を図る。 ア 定款、規約、規則、規程等に関すること イ 認可届出、申請、登記・登録等に関すること ウ 役員及び議員並びに 議員総会及び常議員会その他会議に関すること エ 公印の管守に関すること オ 文書の收受、発送、整備、保管に関すること カ 職員の人事、給与、労務及び服務に関すること キ 事業計画の立案、調整及び事業報告の作成並びに商工業活性化ビジョンの統括に関すること ク 予算経理及び決算の調整に関すること ケ 財産の取得、管理及び処分に関すること	- コ 物品の出納及び保管に関すること - サ 会費、手数料及び使用料等に関すること - シ 会員の加入・脱退に関すること - ス 会員台帳及び会費台帳の整備に関すること - セ 特定商工業者及び法定台帳に関すること - ソ 地区内事業者台帳（非会員）の整備に関すること - タ 意見具申、建議、陳情、請願等に関すること - チ 危機管理に関すること - ツ 総務委員会に関すること - テ 会員拡大委員会に関すること - ト 新ビジョン推進特別委員会に関すること - ナ ゴルフ委員会に関すること - ニ 風車共済、特定退職金共済、中小企業共済等独自共済制度の普及推進に関すること - ヌ 広報活動及び会報発刊に関すること - ネ その他他の分掌に属しない事項。
(2) 中小企業相談所 ・小規模事業者が、日常の企業活動の中で直面する経営、労務、金融、税務等の問題について経営指導員等による相談指導や事務代行、斡旋等の事業及び創業に関する支援を推進するため、次に掲げる事業を行う。 ア 巡回・窓口相談事業に関すること（金融、税務、経営、経理、労務、取引、その他） イ 小企業等経営改善資金融資制度等金融の円滑化に関すること ウ 金融・定例税務相談事業に関すること エ 商工業に関する講演会・講習会に関すること（個別・集団） オ 記帳機械化・記帳継続指導業務に関すること カ 施策普及事業の推進に関すること キ 情報資料の収集、整理、提供に関すること ク 小規模事業にかかる調査研究に関すること ケ 経営及び技術の情報並びに資料の収集及び提供に関すること コ 中小企業退職金共済、小規模企業共済、倒産防止共済その他中小企業などにかかる共済制度の普及促進に関すること サ 小規模事業者支援法に基づく小規模事業者の活性化に関すること シ 各種団体からの事務受託に関すること（法人会） ス 地域中小企業支援センターに関すること セ 消費税円滑化対策に関すること ソ 事業承継・創業に関すること タ クラウド会計に関すること チ その他小規模事業者の育成と振興安定に関すること 「産業振興」 ・会員の事業基盤の底上げを図ると共に、環境変化に対応した事業展開への支援を推進し、産業振興を図る。 ・会員の福祉と労務対策の推進を図る。 ア 雇用に関すること イ 働き方改革、健康経営に関すること ウ 人材育成、確保に関すること エ 展示会、展覧会、見本市等の販路に関すること オ 異業種交流、産学官金連携等の新分野・新産業進出に関すること カ 公的支援事業（ものづくり補助金等）に関すること キ 取引の照会及び斡旋並びに紛争の調停に関すること ク 各種調査研究及び統計等に関すること ケ 海外展開支援（海外視察研修事業含む）等に関すること	- コ 原産地証明等に関すること - サ 防災、減災に関すること - シ ウェルネスバレーブランドに関すること - ス 労働保険事務組合に関すること - セ 建設業一人親方労災保険に関すること - ソ 各種技術及び技能の普及並びに検定に関すること - タ 企業誘致に関すること - チ 製造業部会に関すること - ツ 建設業部会に関すること - テ その他産業の振興に関すること 「情報推進」 ・会員事業所の IT 化を支援する。 ア 情報化対策の推進に関すること イ 情報・物流・サービス業部会に関すること ウ その他情報化推進に関すること 「まちづくり推進」 ・行政、地域、関連機関、団体等と連携して、まちづくりを推進する。 ・商業、サービス業などの振興を図り商店街の活性化を推進する。 ア 地域活性化とまちづくりに関すること イ ウェルネスバレー構想に関すること ウ 商店街活性化に関すること エ 観光振興に関すること オ 社会一般の福祉の増進に関すること カ 関係機関、大府市との連携に関すること（日本珠算連盟大府支部、大府市観光協会、大府市商工業振興に関する懇談会、大府市雇用対策協議会、大府市国際交流協会、大府市民会議推進協議会、ユーザ協会等） キ 街路灯の建設及び維持管理に関すること ク 青年部・女性会に関すること ケ 商業部会に関すること コ 地域開発委員会に関すること サ 支部に関すること シ 広域行政、広域連携活動の推進に関すること（知多地域観光圏協議会等） ス 国際会議・イベント等の誘致及び開催に関すること セ その他地域振興発展に関すること

Ⅳ 会議の状況

1 議員総会

(1) 通常議員総会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 42 回	5. 5. 23	99 名 (55 名)	大府商工会議所 3 階ホール	1. 副会頭の交代について 2. 第 9 期常議員の補欠選任（案）について 3. 令和 4 年度事業報告書について 4. 令和 4 年度一般会計及び特別会計収支決算書について 5. 令和 5 年度一般会計補正予算（案）について
第 43 回	6. 3. 27	94 名 (64 名)	大府商工会議所 3 階ホール	1. 令和 6 年度事業計画書（案）について 2. 令和 6 年度一般会計及び特別会計収支予算書（案）について

注)出席数欄 () 内は委任状行使数で内数 以下同じ

(2) 臨時議員総会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 15 回	5. 9. 14	93 名 (64 名)	大府商工会議所 3 階ホール	1. 監事の交代について 2. 諸証明等手数料徴収規約の一部改正（案）について

2 常議員会

(1) 定例常議員会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 1 回	5. 5. 17	27 名 (内 3 名 オンライン)	大府商工会議所 3 階ホール	1. 会員の加入について 2. 副会頭の交代について 3. 第 9 期常議員の補欠選任（案）について 4. 令和 4 年度事業報告書について 5. 令和 4 年度一般会計及び特別会計収支決算書について 6. 令和 5 年度優良従業員被表彰者（案）について 7. 事務決裁規則の一部改正（案）について 8. 令和 5 年度一般会計補正予算（案）について

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 2 回	5. 9. 14	26 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 会員の加入について 2. 第 9 期常議員の補欠選任（案）について 3. 諸証明等手数料徴収規約の一部改正（案）について 4. 大府市・議会への要請（案）について
第 3 回	5. 11. 15	27 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 会員の加入について 2. 優良従業員表彰規則の一部改正（案）について
第 4 回	6. 3. 19	25 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 会員の加入について 2. 定年年齢の引上げ（案）について 職員就業規則の一部改正（案） 臨時職員就業規則の一部改正（案） 職員給与規則の一部改正（案） 職員退職金管理及び支給規則の一部改正（案） 60 歳定年後の嘱託職員就業規則の一部改正（案） 3. 給与改定（案）について 職員給与規則の一部改正（案） 4. 令和 6 年度事業計画書（案）について 5. 令和 6 年度一般会計及び特別会計収支予算書（案）について

（２）臨時常議員会 （開催なし）

３ 正副会頭会議

回 次	年 月 日	開 催 場 所	協 議 事 項
第 1 回	5. 4. 13	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 第 9 期常議員の補欠選任（案）について 3. 令和 5 年度優良従業員被表彰者の選考（案）について 4. 第 42 回通常議員総会（5/23）の来賓について
第 2 回	5. 5. 9	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 副会頭の交代について 3. 事務決裁規則の一部改正（案）について 4. 令和 5 年度一般会計補正予算（案）について 5. 第 42 回通常議員総会について 6. 令和 5 年度の要請について
第 3 回	5. 6. 8	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 役員・議員視察研修（案）について 3. 令和 5 年度の要請について

回 次	年 月 日	開 催 場 所	協 議 事 項
第 4 回	5. 7. 10	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 監事の交代について 3. 愛知県商工会議所連合会会頭会議における要望項目 (案) について
第 5 回	5. 8. 1	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 大府市・議会への要請に係る幹部会議について
第 6 回	5. 9. 6	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 大府市の事業・取組に対する要請 (案) について 3. 諸証明等手数料徴収規約の一部改正 (案) について 4. 役員・議員懇談会について 5. 新年賀詞交歓会について 6. 愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体の募集について
第 7 回	5. 10. 13	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 優良従業員表彰規則の一部改正 (案) について
第 8 回	5. 11. 9	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 知多地域経済会議から愛知県への要望 (案) について
第 9 回	5. 12. 14	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について
第 10 回	6. 1. 10	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 職員給与規則の一部改正 (案) について 3. 令和 5 年度おおぶ桜ハナモモ花めぐり事業 (案) について
第 11 回	6. 2. 8	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 令和 6 年度事業計画書 (案) について 3. 名古屋三河道路推進協議会への入会について
第 12 回	6. 3. 14	大府商工会議所 2 階会議室	1. 会員の加入について 2. 定年年齢の引上げ (案) について 職員就業規則の一部改正 (案) 臨時職員就業規則の一部改正 (案) 職員給与規則の一部改正 (案) 職員退職金管理及び支給規則の一部改正 (案) 60 歳定年後の嘱託職員就業規則の一部改正 (案) 3. 令和 6 年度事業計画書及び収支予算書 (案) について

4 監事会

年月日	出席数	開催場所	内 容
5. 4. 25	10 名	大府商工会議所 2 階会議室	1. 令和 4 年度事業報告書 2. 令和 4 年度一般会計収支決算書 同 中小企業相談所特別会計収支決算書 同 共済事業特別会計収支決算書 同 労働保険事務組合一般会計収支決算書 同 特定退職金共済特別会計収支決算書 同 街路灯特別会計収支決算書 同 商品券事業特別会計収支決算書 同 財政調整資金積立金特別会計収支決算書 同 退職給与資金積立金特別会計収支決算書 同 労働保険事務組合労働保険料特別会計 収支決算書 3. 令和 4 年度個人情報保護コンプライアンス 個人情報保護方針、個人情報管理体制 個人情報保護規程（運用方針含む） 外部委託管理規程、研修計画 個人情報保護監査計画、秘密保持契約書類 についての監査

5 幹部会議

回 次	年 月 日	出席数	開催場所	議 題 ・ 摘 要
第 1 回	5. 8. 4	21 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 大府市への要請事項（案）について

6 委員会

（1）常設委員会

ア 総務委員会

回 次	年 月 日	出席数	開催場所	協 議 事 項
第 1 回	5. 4. 28	11 名 (内 3 名 オンライン)	大府商工会議所 2 階会議室	1. 令和 4 年度事業報告書について 2. 令和 4 年度一般会計及び特別会計収支 決算書について 3. 令和 5 年度優良従業員被表彰者選考 (案) について 4. 事務決裁規則の一部改正 (案) について 5. 令和 5 年度一般会計補正予算 (案) に ついて
第 2 回	書面決裁 5. 7. 12	—	—	1. 諸証明等手数料徴収規約の一部改正 (案) について
第 3 回	書面決裁 5. 10. 24	—	—	1. 優良従業員表彰規則の一部改正 (案) に ついて

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	協 議 事 項
第 4 回	6. 2. 26	10 名	大府商工会議所 2 階会議室	1. 職員就業規則の一部改正（案）について 2. 臨時職員就業規則の一部改正（案）について 3. 職員就業規則の一部改正（案）について 4. 職員退職金管理及び支給規則の一部改正（案）について 5. 定年後の嘱託職員就業規則の一部改正（案）について 6. 令和 6 年度事業計画書（案）について 7. 令和 6 年度一般会計及び特別会計収支予算書（案）について

イ 会員拡大委員会 （開催なし）

ウ 地域開発委員会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	協 議 事 項
第 1 回	5. 10. 24	13 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 大府市の道路事情調査について ・ 調査の趣旨説明 ・ 大府市内道路の現状・改善(案)について ・ アンケート調査方法・依頼先（案）について
第 2 回	6. 3. 27	11 名	大府商工会議所 2 階会議室	1. 大府市の道路事情調査の概要・結果の報告について 2. 調査の活用方途について

（２）特別委員会

新ビジョン推進特別委員会

年 月 日	出席数	開催場所	協 議 事 項
5. 11. 17	16 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 大府市の地域経済分析について 日本商工会議所 地域振興部 主席調査役 足立 正和氏 2. 新商工業活性化ビジョンの進捗状況について

7 知多地域広域連合会議

(1) 知多地域経済会議

ア 組織の概要

構 成 員	知多地域 5 市 5 町の商工会議所会頭及び商工会会長
会 長	橋山和生 東海商工会議所会頭（事務局 東海商工会議所）
目 的	知多地域の振興と産業経済の発展に寄与

イ 会議等の開催

回 次	年 月 日	開 催 場 所	協 議 事 項
第 1 回	5. 6. 19	東海市立商工センター	幹事会 1. 令和 4 年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和 5 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 令和 5 年度顧問・参与の委嘱（案）について 4. 令和 5 年度構成員の変更について 5. 令和 5 年度総会の開催について 6. 愛知県知事への要望の回答について
第 2 回	5. 7. 4	東海市立商工センター	総会 1. 令和 4 年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和 5 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 令和 5 年度顧問・参与の委嘱（案）について 4. 令和 5 年度構成員の変更について
第 3 回	5. 10. 25	東海市立商工センター	幹事会 1. 愛知県への要望書(案)について 2. 会頭・会長会議の開催及び令和 5 年度愛知県への要望書提出について
第 4 回	5. 11. 29	書面審議	会頭・会長会議 1. 愛知県知事への要望書(案)について
第 5 回	6. 1. 26	愛知県公館	愛知県知事へ要望書提出

(2) 知多地区商工会議所会議

ア 組織の概要

構 成 員	知多地域 4 市の商工会議所正副会頭
会 長	橋山 和生 東海商工会議所会頭 (事務局 東海商工会議所)
目 的	地域の課題に関して、情報交換・連携を行い、当該地域の振興と産業経済の発展に寄与

イ 会議等の開催

回 次	年 月 日	開 催 場 所	協 議 事 項
第 1 回	5. 5. 31	札幌かに本家 太田川駅前店	幹事会 1. 正副会頭会議について(要望書の取り纏め) 2. 製造・工業部会ビジネス交流事業について
第 2 回	5. 8. 17	東海市立商工セ ンター	幹事会 1. 県連会頭会議での知多ブロック要望事項とりま とめについて 2. 知多地区商工会議所正副会頭会議について
第 3 回	5. 8. 31	旬彩 ふき島 (東海市)	正副会頭会議 1. 県連会頭会議での知多ブロック要望事項とりま とめについて 2. 知多地区商工会議所製造・工業部会ビジネス交流 会について
第 4 回	5. 9. 26	東海市立商工セ ンター	知多地区商工会議所製造・工業部会ビジネス交流会 1. 基調講演 協和工業(株) 代表取締役社長 鬼頭 佑治氏 「あるモノづくり中小企業の挑戦」 ～自立企業の道～ 2. 事例発表 (1) 半田商工会議所 筒井工業(株)代表取締役社長 前島 靖浩氏 (2) 常滑商工会議所 (株)テルミック代表取締役社長執行役員田中 秀範氏 (3) 大府商工会議所 トライボテックス(株) 代表取締役社長 川畑 雅彦氏 (4) 東海商工会議所 ブリット(株) 代表取締役社長 高瀬 嶺生氏 3. 交流会
第 5 回	5. 11. 1	名鉄グランドホ テル	愛知県知事への要望 1. 各地域の抱える重要課題について

V 事業の状況

1 部会活動

(1) 商業部会

ア 部会役員会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 1 回	5. 6. 14	17 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 行政への要請について 2. 分科会の中間報告と今後の事業予定
第 2 回	6. 3. 21	12 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 令和 5 年度商業部会事業実績報告 2. 令和 6 年度商業部会事業計画(案)について

イ 合同分科会

原則毎月第 3 木曜日の 14 時 30 分より正副部会長及び分科会長が事業の進捗確認と方針について協議。令和 5 年度は 11 回開催。

ウ げんき商店街補助金事業

(ア) おおぶ・がんばる商店街運動(逸品運動)事業(げんき商店街推進事業)

令和 5 年度の キーワード	個性・魅力の創出 (交流・連携・情報発信「おおぶ・がんばる商店街運動事業(逸品運動)」)
期 間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
参 加 店	30 店舗(大府 21 店舗、東浦 9 店舗) (内訳) グルメ 10 件、グッズ: 8 件、サービス: 9 件、習い事: 3 件
活動内容	逸品専門講師: 余合 正司 氏 1. 逸品研究会の実施 参加店同士が逸品について意見交換を実施した。(計 2 回) 個別指導 (2 回) 2. PR 事業 大府市産業文化まつり、東浦町産業まつりでの周知 ・大府: 10/28. 29(1 店)、東浦: 11/11. 12(2 店) おおぶ・東浦逸品展示会 2023 の開催 ・日時: 令和 6 年 1 月 27 日(土)、28 日(日) 10:00～16:00 ・場所: イオンモール東浦 1 階 セントラルコート ・来場数: 1,000 名 アンケート回答数: 163 件
広報活動	1. 特設 HP の開設 2. パンフレット(A3 版)作成(発行部数: 56,000 部) 小冊子(A5 版)作製 3. パンフレット配布方法 ・令和 6 年 1 月 1 日号大府市広報、東浦町報に折込み ・逸品展示会にて配布 ・商工会議所会報折込
今後の展開・改善点	冊子を 10 月に展開したことで、在庫がほぼなくなってしまった。 次年度は企画にて店舗への誘客につなげる仕組みを検討したい。

(イ) おおぶふれあいゼミナール

目 的	体験を通して来店のきっかけを作り、新規顧客の獲得を目指す。
期 間	夏講座：令和5年7月19日～8月31日 冬講座：令和5年11月4日～12月16日
講座内容及び数	合計：69 講座 (内訳) たべる：3 講座、つくる：3 講座、けんこう：4 講座 まなぶ：43 講座、スポーツ：4 講座、美容：12 講座
広 報 活 動	チラシ折込（広報おおぶ、大府商工会議所会報、主要新聞） 大府商工会議所 HP での PR など
今後の展開・改善点	昨年に引き続き、飲食店の参加が少ない現状にある。ふれゼミを通じた顧客の獲得等、効果を感じている店舗もある。PR 効果を高める為に、他地域の情報収集や講座制作の勉強会等を計画しつつ発展させる。

(ウ) 大府あきんど塾

年 月 日	出席数	開 催 場 所	研修内容
5. 5. 11	6 名	大府商工会議所	テーマ：成果をあげるための HP 改善勉強会
5. 7. 20	13 名	3 階ホール	講 師：楽しいメディアカンパニーOKINAWA (同) 代表 かわさき 力哉 氏
5. 9. 19	11 名	東浦町商工会	(東浦町商工会共催)
5. 9. 26	13 名	研修室	テーマ：DX セミナー Google ビジネスプロフィール(導入編、実践編) 講 師：中小企業診断士 宿澤直正 氏
5. 9. 22	11 名	大府商工会議所	テーマ：成果をあげるための SNS 活用勉強会
5. 11. 22	9 名	3 階ホール	講 師：楽しいメディアカンパニーOKINAWA (同) 代表 かわさき 力哉 氏
5. 10. 12	7 名	東浦町商工会	(東浦町商工会共催)
5. 10. 26	7 名	研修室	テーマ：ブランディングセミナー(導入編、実践編) 講 師：中小企業診断士 関口 光雄 氏
5. 10. 16	27 名	大府商工会議所	テーマ：伝わりやすいチラシ作成セミナー
		3 階ホール	講 師：中小企業診断士 山口 仁美 氏
6. 1. 18	6 名	大府商工会議所	テーマ：Google ビジネスプロフィール活用勉強会
6. 3. 21	3 名	3 階ホール	講 師：楽しいメディアカンパニーOKINAWA (同) 代表 かわさき 力哉 氏

(エ) イベント企画・出店

年月日	事業名	参加数	実 施 内 容
5. 4. 1 ～ 6. 3. 31	大府駅西金曜マルシェ みどり公園	27 店	キッチンカー及び飲食事業所支援のため、 大府駅西口で毎週金曜日にマルシェを開催 (9/22：2 周年記念特別イベント) (3/22：おぶちゃん誕生月特別イベント)
5. 9. 9	おおぶ駅前夜市	12 店	大府駅前ファミリーマート駐車場を利用し、 夜市を開催。バイオリン演奏と飲食・物販 来場者：1,500 名

5.10.28 ～10.29	大府市産業文化 まつり	1 店	逸品参加店の商品を PR する為、1 テントを用意して実施。
5.11.11 ～11.12	東浦町産業まつり	2 店	逸品参加店の商品 P R の為、1 テントを用意して実施。
5.11. 3	きょうわバイオリン 夜市	13 店	ハツ屋会館横を活用し、夜市を開催。 バイオリン演奏を中心に飲食・物販 来場者：900 名

(オ) 動画で PR 大作戦！YouTube チャンネル「オオブーム」

事業内容	お店や事業所の魅力を約 1 分動画で発信する事業を実施。専用の YouTube チャンネルを開設し PR に努めた。 新たに Instagram での PR を開始し、発信力を強化した。
制作実績	・ 26 動画(有料版 20 本、無料版 6 本) ・ Instagram での広報事業(令和 5 年 8 月～令和 6 年 3 月) 投稿数：76 件 フォロワー数：228 人

(カ) 販促、連携事業

年月日	事業名	参加数	実 施 内 容
5.12.1 ～ 6.5.31	大府市観光協会 クーポン事業 「おぶポン」	37 店	観光協会と連携し、市内の店舗を回遊して もらうお得なクーポン事業 制作部数：50,000 枚 令和 5 年 12 月～2 月利用総数：約 1,000 枚

エ 地域の魅力創出事業

(ア) おおぶ桜ハナモモ花めぐり事業（あいち森と緑づくり都市緑化推進事業）

実施期間	令和6年3月16日（土）～令和6年4月9日（火） ※花の開花期に合わせるため年度をまたぐ
連携団体	おおぶ桜ハナモモ花めぐり実行委員会
活動内容	1. 事業概要 平成26年から大府ウェルネスバレーロード周辺（あいち健康の森公園周辺）に県民参加でハナモモの木の植樹を約1,000本行ってきた。その木々も成長し景観を形成するようになったことから、既植のサクラ120本とハナモモを結んだ昼夜歩ける“花めぐりコース”を設定しライトアップを行なった。 令和6年3月16日（土）～4月9日（火）をこの“花めぐりコース”ライトアップ期間とし、花と緑に触れる機会を創出し都市緑化への関心を高めた。同時に大府市内の桜・ハナモモを被写体としたフォトコンテストを実施し、緑化事業を周知した。 2. 組織体制・活動 大府商工会議所の支部や地域、緑化推進団体の代表者15名で構成する「おおぶ桜ハナモモ花めぐり実行委員会」を組織。あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金の交付を受け実施した。 3. 具体的内容 ・花めぐりフォトコンテストを実施し、優秀作品に景品を進呈。（期間3/16～4/9） ・花ロード整備として、石ヶ瀬川左岸の桜並木、鞍流瀬川右岸の桜並木をライトアップ。また、あいち健康の森公園内「生きもの達の谷」周囲のハナモモ並木にペットホテルやLEDソーラーライトを敷設し、夜の花回廊の景観を演出（期間3/16～4/9）。 ・3月30日（土）、向畑公園（大府市役所隣）にてウォークラリー出発式を開催。バイオリン演奏によるラジオ体操を行った後、スタート。大府駅前東口に新たにできた多目的スペースでは、キッチンカー等市内事業所の出店でイベントを盛り上げた。その後、鞍流瀬川、石ヶ瀬川、あいち健康の森公園ハナモモロードの桜やハナモモなどを巡り、緑化と健康づくりへの関心を深めた。途中、大府商工会議所吉森支部による“お菓子の振る舞い”、ふるさとガイドおおぶによる“森岡八幡社”の解説、あいち健康の森薬草園では“薬草茶振る舞い”などを実施し、楽しくウォーキングできるしかけ作りを行った。抽選会場の「げんきの郷」で抽選会・景品応募の受付をし、当選者に協賛店の食事券等をプレゼント。489名の参加があった。
今後の展開・改善点等	お天気に恵まれ、年々、当事業の認知度も上がり参加者数141名増になった。桜の開花が遅れ、残念ながらウォークラリー当日の3/30には桜は咲いていない状態だったが、あいち健康の森公園のハナモモは見頃を迎えており、参加者に満足していただけた。石ヶ瀬川と鞍流瀬川については、ソメイヨシノの開花に合わせ、2日間ライトアップを延長した。次年度は余裕をもってライトアップ期間を検討したい。

(イ) まちづくり事業

「ふるさとガイドおおぶ」の活動支援

目 的	大府の観光資源づくりと共に市内外から大府観光の誘客を増やす有力な手段となるガイド団体の活動支援を行う。
活 動 期 間	令和5年4月～令和6年3月
構成と人数	ガイド会員 37 名
活 動 内 容	1. ガイドの実施 34 回 2. 毎月の定例会の開催 3. 大府市内観光資源の充実（観光掲示板等） 4. ガイド力向上のためのスキルアップ勉強会・研修会の開催及び参加
今後の展開・改善点等	KURUTO おおぶ・大府市健康にぎわいステーション内に拠点を置き、団体による自主運営にて事業を展開。今後も引き続き、大府市観光協会始め関係団体と連携して活動の支援を行う。

(2) 製造業部会
ア 部会役員会

No.	実施事項	実施内容	令和5年4月～令和6年3月	
1	部会役員会	活動内容の審議と進捗確認	●7/12 ・行政への提言/要望集約 ・分科会活動の中間報告	●3/14 ・R5 年度実績報告 ・R6 年度活動計画
2	正副部会長 会議	活動方針の決定と進捗確認	●1/30 ・令和5年度事業進捗 ・令和6年度事業立案	
部会役員会-達成状況と今後の展開				
	実施事項	計画	実績	評価
	部会役員会	2回	2回	○
	正副部会長会議	1回	1回	○

計画通り開催する事ができた。
次年度からは、情報交換・意見交換の場を増やし、部会活動の活性化に繋げるよう役員会の回数を増やす。

イ 分科会活動

(ア) 第1分科会 ー橋本実践塾の実施

No.	実施内容	R5/4～5	6～7	8～9	10～11	12～R6/1	2～3
1	橋本実践塾						
	修了式	●5/16					
	第15期生その後の フォロー活動	●8/23 ●9/27 ●10/25 ●11/22 フォロー 2社 2社 2社 2社					
	塾長による現場点検の実施						
	第16期生橋本実践 塾活動	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧					
	開講式	●6/6					
	【参加企業】						
	「チームマッチョ」 会社名	「クールチャレンジャー」 会社名					
	① (株)FAST	② 日本高圧電気(株)					
	③ 福富金属(株)	④ (有)堀川製作所					
	⑤ (株)島岡製作所	⑥ (株)首藤鐵工所					
	⑦ (株)東海理機	⑧ 三力工業(株)					
	「橋本実践塾」の活動内容 2週間に1回で、1回につき3時間活動。 1社当たり5回(計15時間)活動した。 〈期間：R5/6月～R6/4月〉						
	回数	活 動 内 容					
	1回	主催事業所の塾生がリーダーとなり実施したい2Sと省エネテーマ、改善案を塾生に説明後、塾生全員で決定し活動計画書を作る。					
	2回 3回 4回	活動計画書に従い、3テーマを全員で協力しながら自ら手を汚し改善を実施する。					
	5回	リーダーが活動報告書案を考え、塾生全員で活動報告書を作成し、リーダーが現場で成果発表を行い塾生全員で振り返りを行う。					

第 16 期生の橋本実践塾 活動成果	
事業所名	改 善 実 績
① (株)F A S T	1. 歩行帯とトラック停止位置を明示するため、歩行帯を緑色、トラック停車位置をオレンジ色にして区画線引きを実施した。 2. 工場西側窓ガラスに断熱シートを貼り工場内温度を下げて空調設備の省エネを図った。 3. 部品箱と棚に部品情報を明示して部品を探す時間を短縮した。
② 日本高圧電気(株)	1. 組付工程の工具類を集約・2 Sを実施し作業者近くに取り出しやすい工具置場を造った。 2. 試作室の窓ガラスに断熱フィルムを貼り室内の温度上昇を抑え空調機の省エネを図った。 3. 工具置場に棚を設け工具を分類・明示して取出し時間を短縮した。
③ 福富金属(株)	1. プレス工程のエア漏れ箇所を総点検して修理した。 2. 生管が現場に配布する一塊の生産指示書を各プレス作業者が探すムダを省くため事前に仕分け、差立てる道具を設けた。 3. 乱雑に置場に置かれたロボットハンドの2 Sを実施した。
④ (有)堀川製作所	1. 本社工場1階の照明を蛍光灯からLEDに変更し消費電力を低減した。 2. 工具置場の2 Sを実施し必要工具が取り出しやすい置場にした。 3. プレス金型に名札を付け、探す時間を低減した。
⑤ (株)島岡製作所	1. 工場内のエア漏れを全員で調査・修理してエアコンプレッサの省エネを図った。 2. 工具が乱雑に置かれた仕上台の2 Sを実施し作業を効率化した。 3. 材料置場は在庫品が溢れて収納できないため2 Sを実施した。
⑥ (株)首藤鐵工所	1. 工場エアコンの内部フィルター清掃と外部フィルター取付けにより防汚、冷暖房の効率アップによる省エネを図った。 2. NC旋盤の工具を整理し不要な工具類を廃棄した。 3. 工具棚レイアウトを変更し置場の整頓を実施してムダ歩行短縮と工具取り出し時間短縮を図った。
⑦ (株)東海理機	1. 組付ラインエリアの照明の間引きにより省エネを図った。 2. 梱包材組立工程のレイアウト変更によりムダ歩行を低減した。 3. 組付ラインの部品運搬量を増やした台車製作により運搬作業効率アップを図った。
⑧ 三力工業(株)	1. 工場内エア漏れを調査・修理しエネルギーコストを低減した。 2. 穴明工程の部品棚の整理・整頓により部品を探すムダを省いた。 3. 作業台上の工具類の整理・整頓により作業スペースを確保し工具類を適正配置して作業効率を上げた。

達成状況と今後の展開				
実施事項	計画	実績	評価	活動事業所を8社、1グループ4名の2つのグループで改善活動を展開してきました。 来年度もグループ活動を展開して「職場が良くなった」「参加した塾生本人の意識が変わった」と喜んでもらえる取り組みを展開していきます。
第15期生修了式	1回	1回	○	
第15期生その後の活動フォロー	8社	8社	○	
第16期生の橋本実践塾活動	8社	8社	○	
第16期生の成果発表会	8回	8回	○	
橋本実践塾活動の会報掲載	5回	5回	○	

(イ) 第2分科会 ー生産性向上への取り組み

No.	実施事項	内 容 説 明
1	市内先進企業視察	視察先: イヅミ工業(株) 日時: 令和5年5月30日 内容: 同社では、職場の人材育成にチカラを注いでおり、①訓練 ②人材育成 ③安全教育を3本柱とする「モノづくり・安全道場」を昨年立ち上げました。 本道場では、自社の問題・課題の解決を図るために、従業員がカリキュラムの作成・講師を務め、従業員に教育を図る仕組みとなっており、参加した企業各社において、とても参考になるものとなっていた。
2	人材確保・人材育成に資する支援事業(豊橋技術科学大学との連携)	内容: 豊橋技術科学大学の学生4年生を対象に1月～2月の約2ヶ月間、企業での実務経験を積む場として「実務訓練＝インターンシップ」をエントリーのあった市内企業等で実施。 企業数: エントリー6社、うちマッチング4社 期間: 令和6年1月5日～2月22日 効果: ①大学との連携強化、②社内教育への還元、③業務遂行への還元、④業種・仕事理解の促進と認知度向上の4点を期待する。
3	生産性向上に資する支援事業(スタートアップとの連携)	ウェルネスバレー推進協議会が令和5年9月に愛知県STATION Ai パートナー拠点に位置付けられた。当部会でも市・協議会と連携を図り、企業や地域の課題解決を目的とし、市内企業とスタートアップの連携を図り実証・取り組みを行った。 連携先は、企業、福祉施設、会議所、市民モニター等

達成状況と今後の展開				
実施事項	計画	実績	評価	市内視察研修では、イヅミ工業の「モノづくり・安全道場」を視察し、安全への意識をより高める事ができた。次年度、イヅミ工業と連携し、市内事業所従業員向け「安全研修会」を開催予定。
市内先進企業視察	1回	1回	○	

人材確保・人材育成に資する支援事業（豊橋技術科学大学との連携）	1 回	1 回	○	また、将来の技術職人材採用に繋げる取り組みとして、学生インターンシップ受入れを豊橋技術科学大学と連携を図り市内企業にて行った。生産性向上を図る取り組みとしては、スタートアップと連携を図り、企業及び地域の課題解決を図る実証などを行った。
生産性向上に資する支援事業（スタートアップとの連携）	1 回	1 回	○	

(ウ) 第3分科会 ー講演会、研修会の企画及び展示会出展支援実施
各事業の基本テーマ

①産業構造の変化への対応事業 ②中小企業が元気になる事業 ③安全に関する事業
④その他

No.	テーマ	実施日	実施事項	備考	参加社数
1	① ②	7/3～7/7	ビジネスマッチング アライアンスパートナー発掘市	愛知県内 22 商工会議所と他県の浜松、岐阜、四日市商工会議所が参加した事前エントリー制の商談会。	11 社
2	①	7/27	CN への取り組み「省エネ対策セミナー」～市内企業から学ぶ手法と技術、各種施策～	講師：愛三工業(株) 北村達哉氏 大府市役所 戸田稔彦氏	18 社 (35 名)
3	④	9/26	知多地区 4 商工会議所「製造・工業部会」ビジネス交流会 (東海商工会議所)	知多地区にある半田・常滑・東海・大府商工会議所の製造業に的を絞った初となる交流会。	20 社 (22 名)
4	①	11/27	DX 化への取り組み市外先進企業視察研修	(株)テルミック・常滑工場	12 社 (23 名)
5	①	2/15	三河知多地域商談会 (刈谷市産業振興センター)	発注企業・受注企業の事前エントリー制による商談会。別日には、オンライン商談も設定。	5 社
6	③	2/22	安全体感道場	講師：TABMEC(株)	5 社 (16 名)
7	① ②	3/14	経営の持続的発展に活用できる補助金等説明会 (4 商工会議所連携事業)	講師：中小企業診断士 八田 信正 氏	8 社 (9 名)
達成状況と今後の展開					
実施事項			計画	実績	評価
視察・安全研修			2 回	2 回	○
セミナー、勉強会等			1 回	2 回	◎
商談会・展示会出展支援			2 回	3 回	◎
時流にあった事業を実施できた。 次年度も「産業構造の変化への対応」、「中小企業の活力に繋がる」に資する事業、他社の参考となる先導的取り組みを行う市内企業視察などを企画していく。					

(3) 建設業部会

ア 部会役員会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 1 回	5. 7. 3	11 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 行政への要請について 2. 令和 5 年度部会事業計画について
第 2 回	6. 3. 6	11 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 令和 5 年度部会事業報告について 2. 令和 6 年度部会事業計画（案）について

イ 住宅修繕相談事業分科会

当商工会議所の地域貢献の一環として進めている事業で、市民からの住宅修繕に関する相談に対して、(公財) 住宅リフォーム・紛争処理支援センター増改築相談員の資格を有する地元建設業者が相談コーナーを開設して、市民のニーズに応えた。

開 催 日 時	開 催 場 所	実 施 母 体
毎月第 2・4 水曜日 午後 1 時～4 時	大府商工会議所 1 階相談室	大府商工会議所 住宅修繕相談事業専門部会

相談実施状況

期 間	回 数	相談件数	幹 旋 件 数	相 談 内 容
5 年 4 月 ～ 6 年 3 月	20 回	87 件	79 件	外壁、屋根雨漏り、しっくい・雨樋・床・水回り等の修繕、耐震改修等

住宅用火災警報器及び家具転倒防止金具取り付け事業

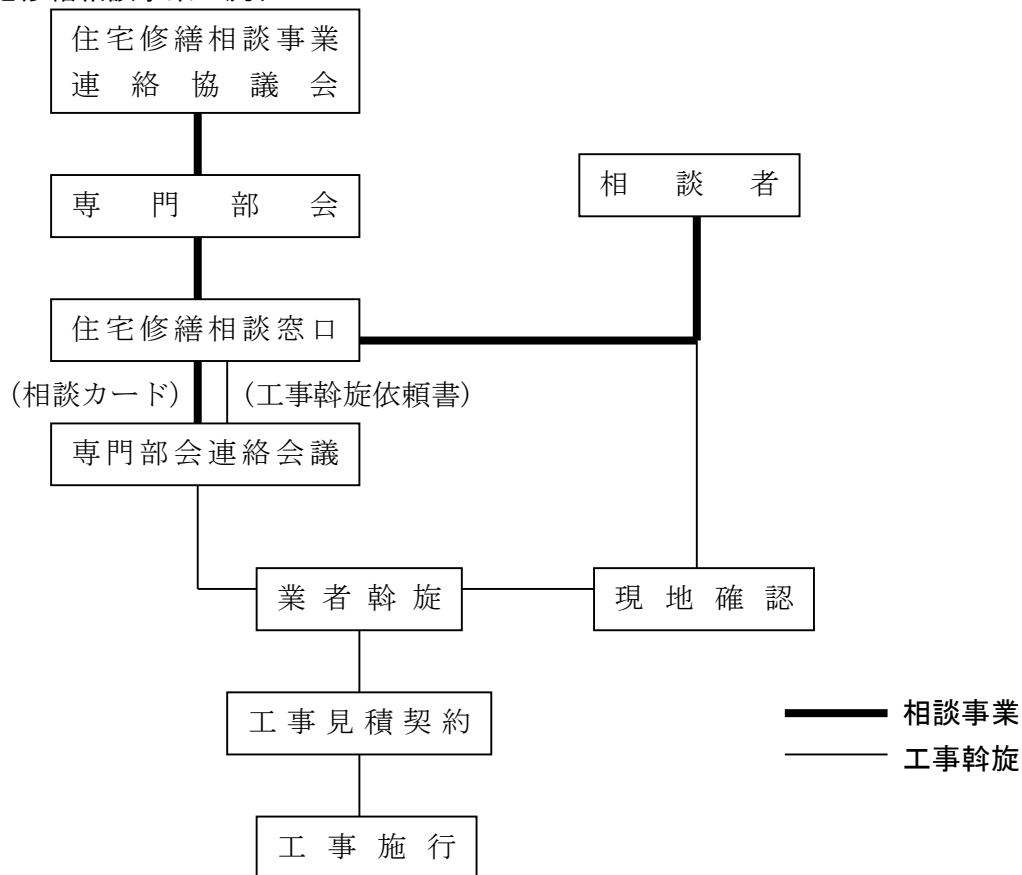
住宅用火災警報器及び家具転倒防止金具取り付けについて周知したが、実績 0 件だった。
--

今後の展開・改善点等	施工事例の写真を入れたチラシを作成し、年 2 回おおぶ広報と一緒に市民へ配布した。相談件数は前年度より回復し、ほぼ例年並みの水準となった。住宅用火災警報器及び家具転倒防止金具の取付については、実績が 0 件の結果になった。防災・減災対策の啓蒙として、来年度は通年で受け付ける形に変更する。
------------	--

大府商工会議所住宅修繕相談事業専門部会員名簿（12 名）

No.	役 職	氏 名	事 業 所 名	No.	役 職	氏 名	事 業 所 名
1	部 会 長	斉 藤 淳	斉藤建築	7	会 員	可 部 幸 一	可部建築
2	副部会長	成 田 典 靖	成田左官	8	会 員	濱 島 秀 男	濱島業務店
3	会 計	新 美 進	(株)真栄建装	9	会 員	早 川 達 也	(株)早川建築
4	相 談 役	舩 田 利 廣	(有)ますだ建築	10	会 員	山 本 康 仁	山本建築
5	会 員	川 口 幸 治	ジェイホーム(株)	11	会 員	小 山 祐 一 郎	(株)サケハウジング
6	会 員	中 村 文 生	大賢建築	12	会 員	深 谷 友 造	ライフサービス深谷

住宅修繕相談事業の流れ



ウ 奉仕活動

年 月 日	参加数	開催場所	事業内容
5.12. 2	26 名	J R 大府駅周辺	「住みよい大府市」を目指し、市役所周辺及び J R 大府駅周辺の幹線道路沿いの清掃活動に取り組んだ。

エ 調査研究事業

年 月 日	出席数	開催場所	内 容
5.10.17	14 名	稲葉製作所犬山工場	「100 人乗っても大丈夫！」でお馴染みのイナバ物置を製造している（株）稲葉製作所の犬山工場を見学した。同社は「独自性のある高品質な製品をお客様にお届けすること」という企業理念のもと、オフィス家具・物置の分野で多彩な製品を提供している。創業間もない頃から専用機を自社製作し、細部にいたるまで内製化しており、内製比率は約 90% のこと。「できることは自社で」「ないものは開発を試みる」そんなモノづくりスピリットに溢れた工場と常に改善を続ける姿勢に感服した。昼食後、国宝の犬山城と城下町を散策した。お城を中心に古い街

年 月 日	出席数	開催場所	内 容
			並みが保存されており、電線も地中化された風情ある雰囲気を満喫することができた。

今後の展開・改善点等	視察先等要望調査を行い、より多くの会員に参加してもらえるよう早めに企画する。講習会は必要性が生じた都度実施することとし、基本的には、現場視察を2回実施する方向で検討する。建設業のニーズや資源を活かした積極的な活動に努める。
------------	---

(4) 情報・物流・サービス業部会

ア 部会役員会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第1回	5. 7. 19	15 名	大府商工会議所 3 階ホール	1. 行政への要請について 2. 求人支援事業について 3. 講習会事業について
第2回	6. 3. 26	9 名	大府商工会議所 2 階会議室	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和6年度事業計画（案）について

イ 求人支援事業 ※働き方改革推進助成金（団体推進コース）を活用し下記事業を実施

年 月 日	内 容
5. 8. 5	インディード記事からリンク可能な求人ポータルサイトを開設。 通常インディードではテキストベースの記事のみ掲載となるが、インディード連動型ポータルサイトに掲載する事により、写真付きで求職者に訴求効果の高い求人記事を掲載する事が可能となる。また、インディードに上位表示する為に、必須となる更新作業が容易となる。現在 12 事業所が登録されている。
5. 9. 5	「求人募集テクニックインディード活用勉強会」 講師：株式会社 LETO たけだ しのぶ氏 日時：9 月 5 日 セミナー14 時～15 時 個別相談 15 時～16 時 会場：大府商工会議所 3 階ホール ・ 求人の現状と将来の予測について ・ 主要求人媒体の特徴と効果的な活用方法について ・ 低コストで効果的にインディードを活用する方法について 参加者数：17 名(15 事業所)
5. 10. 10 ～ 5. 12. 19	「インディード専門家による巡回個別支援」 専門家：株式会社 LETO たけだ しのぶ氏、森山貴史氏 インディードに掲載する求人広告の添削、効果的な魅せ方などのテクニックを求人担当者に学んでいただく為、専門家の個別巡回を実施。2 回目のフォローアップ支援では、大府商工会議所の求人ポータルサイトに掲載する文章やインディードに上位表示されるための更新作業などをお伝えした。 参加事業所 11 社中、6 社に求職者からの応募があり、8 名の採用が決定。

ウ 講習会事業

年 月 日	内 容
5. 8. 24	「めざせ EXCEL マスター 会社を強くする仕事術」 講師：株式会社マルタ 金山 雅嗣 氏 会場：大府商工会議所 3 階ホール 9 時 30 分～16 時 30 分 ・ EXCEL 基本操作 ・ 便利なショートカットの解説 ・ 数式と関数の説明と演習 参加者数：11 名 (7 事業所)
5. 10. 5	「武器としての ChatGPT」 講師：ビジネスファ이터ズ合同会社 飯田 剛弘 氏 会場：大府商工会議所 3 階ホール 15 時～17 時 ・ AI とは何か？ ・ ChatGPT を業務へ活かす効果的な使い方について ・ スマホを使った ChatGPT の操作体験 参加者数：27 名 (24 事業所)

エ ウェブセミナー事業

年 月 日	アクセス数	内 容
5. 4. 1 ～ 6. 3. 31	1,694 件	セミナー・オンデマンド(SOD)を活用。各種セミナーをネット配信用に加工・ライブラリ化し、各種セミナーを提供する会員向けのウェブ講習会サービス。スマートフォンやパソコンを用い、24 時間いつでもどこでも手軽に受講が可能。 「経営」「研修・人材育成」「IT・テクノロジー」「労務・人事」「税務・財務・経理・法律」「政治・経済」「健康・ライフスタイル」「環境・社会問題・医療・福祉、スポーツ・歴史・文化」等のカテゴリーがあり、約 1,000 タイトルから選択できる。 配信元：(株)ブレーン（東京都千代田区）

今後の展開・改善点等	令和 5 年度は、「求人支援」を部会の新事業として立ち上げ、初年度から実績を上げることが出来た。満足度が非常に高い事業である為、次年度も継続して実施していく。また、セミナー事業に関しては、部会内で要望が多いテーマを取り上げて実施していく方針である。
------------	---

2 経営改善支援

(1) 小規模事業経営改善普及事業

経営改善普及事業は、地域内小規模事業者の経営または技術の改善、発達を図るため、経営指導員等補助対象職員を中心に、経営に関する様々な相談・指導及び斡旋を行う事業である。小規模事業者が日常の事業活動の中で直面する金融・税務・経理記帳・経営・労務・取引等の諸問題について巡回指導を中心に、窓口指導や講習会等を通じて、経営の改善に資するよう普及に努めた。

講習会事業実績書兼事業評価書

背景・目的	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努めた。具体的には月 1 回の税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、並びに経営に関する講習会を開催した。				
事業実績	集団指導 6 回 延べ 98 件 個別指導 30 回 延べ 153 件				
主たる対象者	小規模事業者				
事業評価					
目標	指標① (算出方法を含む)	年度	令和 5 年度 (補助金交付年度)	令和 4 年度 (前年度)	令和 3 年度 (前々年度)
	集団指導参加者数 (達成度：81.7%)	目標数値	120	120	120
		実績数値	98	43	16
	指標② (算出方法を含む)	年度	令和 5 年度 (補助金交付年度)	令和 4 年度 (前年度)	令和 3 年度 (前々年度)
	個別指導参加者数 (達成度：57.7%)	目標数値	265	265	265
		実績数値	153	189	179
得られた効果	定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。				
A B C D 評価	総合評価	実施側の事業評価		事業者への調査結果	
		自己評価	目標達成度	満足度	必要性
	B	A	C	A	A
		満足	目標達成度が 40%以上	満足	高い
(補足) ⅴ					

ア 講習会・講演会

(ア) 集団指導

区 分	実施回数	事業所数	内小規模事業所数	出席数	内小規模事業者数
経営革新	1	7	7	7	7
経 営	3	41	41	52	52
税 務	2	37	37	39	39
合 計	6	85	85	98	98

() 内は小規模事業者数

開催日	区分	講習会名	講師名	事業所数	出席数
5. 7. 11	経営	業種別講習会(美容業)※	SantaHair 代表 林 伸久 氏	12(12)	15(15)
5. 7. 14	税務	消費税のインボイス制度 セミナー	税理士 細田章洋 氏	24(24)	26(26)
5. 8. 9	経営 革新	経営計画作成セミナー	中小企業診断士 座間裕史 氏	7(7)	7(7)
5. 11. 14	経営	業種別講習会(美容業)※	アトランティスジャパン 会長 田原博次 氏 副会長 濱崎 綾 氏	17(17)	21(21)
5. 12. 11	経営	業種別講習会(理容業)※	RelaxationBarbe 髪飛 飯田広美 氏	12(12)	16(16)
6. 2. 5	税務	令和 5 年分「決算確定申告・消費税確定申告」勉強会及び個別相談会	税理士 細田章洋 氏	13(13)	13(13)
合 計				85(85)	98(98)

※広域連携開催

(イ) 個別指導

区 分	実施回数	出席数	内小規模事業者数
金 融	10	15	15
税 務	15	133	133
労 働	2	2	2
法 律	3	3	3
合 計	30	153	153

① 定例相談

金融 9回 12事業所(12事業所)

(定例日：国民生活事業・毎月18日、中小企業事業・随時

愛知県信用保証協会・毎月第4火曜日)

() 内は小規模事業者数

開催日	講習会名	講師名	出席事業所数
5. 4. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)
5. 5. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)
5. 7. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	2(2)
5. 8. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)
5. 9. 19	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	2(2)
5. 10. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)

開催日	講習会名	講師名	出席事業所数
6. 1. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	2(2)
6. 2. 19	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)
6. 3. 18	定例金融相談	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	1(1)
合 計			12(12)

税務・経理 8回 16名 (16名)

() 内は小規模事業者数

開催日	講習会名	講師名	出席数
5. 4. 10	税務経理相談	税理士 鈴置和美 氏	1(1)
5. 6. 9	税務経理相談	公認会計士 坂口美穂 氏	2(2)
5. 7. 11	税務経理相談	税理士 鈴置和美 氏	2(2)
5. 8. 10	税務経理相談	公認会計士 坂口美穂 氏	3(3)
5. 9. 11	税務経理相談	税理士 鈴置和美 氏	2(2)
5. 10. 12	税務経理相談	公認会計士 坂口美穂 氏	1(1)
6. 1. 12	税務経理相談	公認会計士 坂口美穂 氏	3(3)
6. 2. 9	税務経理相談	税理士 鈴置和美 氏	2(2)
合 計			16(16)

② 定例以外 13回 125名 (125名)

経営 0回 0名 (0名) 金融 1回 3名 (3名) 税務 7回 117名 (117名)
労働 2回 2名 (2名) 法律 3回 3名 (3名) 知財 0回 0名 (0名)

() 内は小規模事業者数

開催日	指導区分	講習会名	講師名	出席数
5. 6. 15	法律	法律相談 (第1回)	弁護士 榊原雅文 氏	1(1)
5. 6. 19	金融	金融相談 (一日公庫)	(株)日本政策金融公庫熱田支店 国民生活事業 芝田卓征 氏	3(3)
5. 7. 4	税務	源泉所得税前期分納付作成指導	経営指導員等	13(13)
5. 8. 8	労働	社会保険相談 (第1回)	社会保険労務士 熊谷由佳 氏	1(1)
5. 8. 24	労働	社会保険相談 (第2回)	社会保険労務士 磯部法子 氏	1(1)
5. 9. 8	法律	法律相談 (第2回)	弁護士 榊原雅文 氏	1(1)
5. 9. 13	法律	法律相談 (第3回)	弁護士 柴田将人 氏	1(1)
6. 1. 9	税務	年末調整・償却資産税作成指導 (第1回)	経営指導員等	21(21)
6. 1. 12	税務	年末調整・償却資産税作成指導 (第2回)	経営指導員等	10(10)
6. 2. 27	税務	決算・確定申告作成個別指導 (第1回)	税理士 伊藤友子 氏 税理士 岸本勝康 氏 税理士 大城浩子 氏 経営指導員等	30(30)
6. 2. 28	税務	決算・確定申告作成個別指導 (第2回)	税理士 薮島 誠 氏 税理士 内田広幸 氏 税理士 細田章洋 氏 経営指導員等	17(17)

開催日	指導区分	講習会名	講師名	出席数
6. 3. 4	税務	決算・確定申告作成個別指導 (第3回)	税理士 早川 仁 氏 公認会計士 坂口美穂 氏 経営指導員等	18(18)
6. 3. 5	税務	決算・確定申告作成個別指導 (第4回)	公認会計士 濱島広明 氏 税理士 鈴置和美 氏 経営指導員等	8(8)
合 計				125(125)

今後の展開・改善点等	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でもその時、必要とされている「消費税インボイス制度対策セミナー」を開催するなど有益性の高い相談・指導に努めた。引き続き、その時にあった相談事業を開催する。
------------	--

(ウ) 小規模事業者持続化補助金申請支援

事業の概要 及び実績	小規模事業者と商工会議所が一体となって経営計画書の作成を行い、販路開拓などに取り組む費用の国への補助申請支援を行った。 支援状況は以下の通り。			
	申請種別	申請件数	採択件数	採択率
	一般型（第12回 6/1 締切）	8 件	3 件	37.5%
	一般型（第13回 9/7 締切）	12 件	7 件	58.3%
	一般型（第14回 12/12 締切）	11 件	10 件	90.9%
	一般型（第15回 3/14 締切）	6 件	-件	-%
	合 計	37 件	20 件	

(エ) 生産性向上・販路開拓等に向けた支援制度にかかる申請支援

事業の概要 及び実績	経営革新計画の承認 申請支援件数：1 件 承認件数：1 件
	ものづくり補助金 申請支援件数：2 件 採択件数：0 件
	先端設備等導入計画 申請支援件数：2 件 承認件数：2 件

巡回指導・窓口指導事業実績書兼事業評価書

背景・目的	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努めた。また、創業・経営革新への積極的な支援を実施した。				
事業実績	多忙な小規模事業者にとって巡回指導は時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談も可能であることから、きめ細やかな支援・指導に努めた。 ・巡回 実企業数 375 件 相談指導延件数 637 件 ・窓口 実企業数 777 件 相談指導延件数 1,868 件				
主たる対象者	小規模事業者				
事業評価					
目標	指標① (算出方法を含む)	年度	令和 5 年度 (補助金交付年度)	令和 4 年度 (前年度)	令和 3 年度 (前々年度)
	巡回相談指導延件数 (達成度：139.1%)	目標数値	1,800	1,800	1,652
		実績数値	2,505	1,947	1,440
	指標② (算出方法を含む)	年度	令和 5 年度 (補助金交付年度)	令和 4 年度 (前年度)	令和 3 年度 (前々年度)
	課題解決提案件数 (達成度：115%)	目標数値	40	40	40
		実績数値	46	30	28
得られた効果	補助金申請のノウハウ伝授など支援を効果的に行う事ができた。 (小規模事業者持続化補助金の申請件数 37 件、確定分採択件数 20 件、採択率 64.5%)				
ABCD 評価	総合評価	実施側の事業評価		事業者への調査結果	
		自己評価	目標達成度	満足度	必要性
	A	A	A	A	A
		満足	目標達成度が 75%以上	満足	高い
	(補足)	⋮			

イ 経営指導員による相談および指導 (計 2,505 回)

項目 業種		実企業数	指導実績								計	
			経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策		その他
巡回指導	製造業	106	0	177	1	0	1	3	0	0	1	183
	建設業	54	0	63	0	8	1	5	0	0	0	77
	小売業	69	0	142	1	2	4	0	0	0	2	151
	卸売業	19	0	39	3	1	0	1	0	0	1	45
	サービス業	124	0	155	1	2	14	5	0	0	1	178
	その他	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	小計	375 (309)	0 (5)	579 (493)	6 (5)	13 (2)	20 (13)	14 (14)	0 (1)	0 (1)	5 (5)	637 (539)

注) () 内は前年度の実績

業種 項目		実企業数	指導実績								計	
			経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策		その他
窓口指導	製造業	153	1	222	9	3	19	74	3	1	6	338
	建設業	167	0	136	8	18	112	126	1	0	17	418
	小売業	121	0	210	8	5	41	20	1	0	7	292
	卸売業	22	0	63	3	5	3	11	0	1	1	87
	サービス業	301	0	347	39	13	204	68	0	0	42	713
	その他	13	0	17	0	1	1	0	0	0	1	20
	小計	777 (621)	1 (6)	995 (988)	67 (14)	45 (22)	380 (254)	299 (43)	5 (13)	2 (4)	74 (67)	1,868 (1,408)
合 計		1,152 (930)	1 (11)	1,574 (1,481)	73 (19)	58 (24)	400 (267)	313 (57)	5 (11)	2 (5)	79 (72)	2,505 (1,947)

注) () 内は前年度の実績

ウ 金融幹旋

(単位：千円)

機関名	制 度 名	幹 旋		決 定	
		件数	金 額	件数	金 額
(株)日本政策金融公庫	小規模事業者経営改善資金貸付	6 (1)	38,000 (3,000)	6 (1)	38,000 (3,000)
	普通貸付	6 (2)	71,000 (8,000)	3 (2)	20,000 (5,000)
	特別貸付 (新型コロナウイルス)	1 (2)	10,000 (32,500)	1 (2)	7,000 (12,500)
合 計		12 (5)	119,000 (43,500)	9 (5)	65,000 (20,500)

注) () 内は前年度の実績

小規模事業者経営改善資金審査会

(単位：千円)

回 次	年 月 日	出席者数	開 催 場 所	推薦件数	推薦金額
第1回	5. 6. 7	4名	大府商工会議所1階会議室	1	6,000
第2回	5. 7. 20	3名	大府商工会議所1階会議室	2	19,000
第3回	5. 9. 25	4名	大府商工会議所1階会議室	2	6,000
第4回	6. 3. 19	3名	大府商工会議所1階会議室	1	7,000
合 計				6	38,000

小規模事業者経営改善資金審査会委員

役 職 名	氏 名	企業の名称及び企業における地位	企 業 の 業 種
委員長	加 藤 久 徳	(株)加藤建築事務所専務取締役	建築設計
委員	久 野 耕 嗣	久野耕嗣税理士事務所代表者	税理士
委員	中 島 伸 夫	中島特殊鋼(株)代表取締役	特殊鋼加工販売
委員	永 田 司	(有)三吉金属工業所代表取締役	自動車部品試作加工
委員	下 畑 昌 史	大府商工会議所専務理事	

記帳機械化指導事業実績書兼事業評価書

背景・目的	正しい経理と記帳慣行の指導により、経理管理や納税の適正化を促した。				
事業実績	・指導対象企業数 92 件 ・指導日数 531 日 ・指導延回数 1,204 回				
主たる対象者	小規模事業者				
事業評価					
目標	指標① (算出方法を含む)	年度	令和 5 年度 (補助金交付年度)	令和 4 年度 (前年度)	令和 3 年度 (前々年度)
	指導対象企業数 (達成度：102.2%)	目標数値	90	90	90
		実績数値	92	91	92
得られた効果	小規模事業者の記帳意識が向上した。また、適正な税務申告指導により、経営改善がなされた。また、インボイス登録制度により初めて消費税申告する事業者への支援も出来た。				
A B C D 評価	総合評価	実施側の事業評価		事業者への調査結果	
		自己評価	目標達成度	満足度	必要性
	A	A 満足	A 満足	A 満足	A 高い
	(補足)				
今後の展開 ・改善点等	目標	窓口や HP にて記帳機械化事業の PR をし、指導対象企業数の増加に努める。また、会計ソフトの進化に伴い事業者に合った提案型指導を心掛ける。インボイス制度により会計処理の複雑化の影響を受けた事業所の相談が増えたことから、記帳機械化の受け入れ体制を考慮するとともに、職員の知識向上にも努める。			
	2 現行どおり				
	実施方法				
	2 現行どおり				

エ 記帳機械化指導

業務概要	小規模事業者に対する記帳機械化指導は、正しい経理と記帳慣行の実践により、経営管理や納税の適正化を促すため、経営改善普及事業の重点施策の一つとして位置付けして、その一層の普及浸透に努めてきた。当商工会議所では、7割以上が電子申告を行い、また時代の影響か、事業所自身が会計ソフトへ直接入力する事業所が増えたことから、事業の効率化と電子帳簿保存制度に対応してきた。インボイス登録制度や電子帳簿保存制度、また税制改正については個別相談を開設したり市内税理士との連携を密にして対応している。
指導方法	記帳指導職員、記帳指導員による記帳指導並びにコンピュータ処理及び専門指導員による個別指導
対象者数	92 事業所（うち記帳機械化 80 事業所）
専門指導員	公認会計士 坂口美穂 氏 税理士 鈴置和美 氏

（２）「経営発達支援計画」による事業

経営発達支援計画は、小規模事業支援法に基づき商工会議所・商工会が、小規模事業者による事業計画の作成及びその実施の支援や、地域活性化にもつながる展示会の開催等の面的な取組を促進するため、経済産業大臣の認定を受けて作成するもの。小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に資する内容となっている。

令和元年 11 月、大府商工会議所と東浦町商工会が連携して申請し、経済産業大臣から認定された計画に基づき事業を実施した。

伴走型小規模事業者支援推進事業

事業の概要 及 び 実 績	「経営発達支援計画」の認定を受けた商工会議所等が、認定された計画に基づいて実施する小規模事業者支援に関する補助事業を実施した。 <セミナー・個別相談・改善活動> （１）経営・事業計画作成セミナー 小規模事業経営改善普及事業・講習会に記載（P. 48） （２）創業セミナー、創業個別相談会 創業支援に記載（P. 56 - 58） （３）２Ｓ＋省エネによる改善活動 製造業部会に記載（P. 39 - 41） <展示会・商談会> （１）おおぶ・東浦逸品展示会 2023 商業部会に記載（P. 34）
------------------	---

(3) 創業支援

ア 大府中小企業支援センター設置事業

事業目的	専属相談員（コーディネーター）を配置し、創業予定者及び小規模事業者の経営上の様々な課題について十分な指導時間を取り、中小企業相談所や関係支援機関と連携を図りながら相談指導を行った。
業務内容	新規創業予定者に対して ・創業準備段階での計画書の作成指導・新創業融資の斡旋による資金調達 ・新規創業者の成功事例の紹介等による指導 ・創業促進補助金申請に係る認定支援機関としての相談指導 ・「創業個別相談会」の開催（10月から12月の間3回、休日の午前開催） ・「創業塾」の開催（9月から10月の間4回、休日の午前開催） 小規模事業者に対して ・経営上の問題解決への道筋の策定、相談、助言、指導及び関係支援機関と連携した情報の収集と提供
設置期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
設置時間	9時00分～12時00分 13時00分～17時00分
設置場所	大府商工会議所会館 1階事務室

イ 窓口相談等の実績

業種別

内容 業種	相談 延件数	対象 企業 個人数	相談内容											
			経営 全般	会社 設立	事業 計画	資金	法律	税務	労務	取引	技術	IT	その他	計
製造業	30	9	25	4	3	17	1	3	2	1	0	0	21	77
卸売業	4	3	4	0	0	4	0	1	0	0	0	0	2	11
建設業	20	4	19	1	5	11	0	2	1	0	0	0	15	54
小売業	34	26	33	0	5	23	3	10	0	0	0	0	24	98
サービス業	122	104	106	0	12	51	1	18	2	1	0	0	108	299
その他	25	18	21	0	1	3	0	2	0	0	0	0	23	50
計	235 (261)	164 (181)	208 (218)	5 (10)	26 (29)	109 (183)	5 (1)	36 (56)	5 (8)	2 (3)	0 (3)	0 (1)	193 (198)	589 (710)

注) () 内は前年度の実績

目的別

内容 目的	相談 延件数	対象 企業 個人数	相談内容											
			経営 全般	会社 設立	事業 計画	資金	法律	税務	労務	取引	技術	IT	その他	計
創業	186	154	163	5	25	82	3	35	5	2	0	0	158	478
経営革新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	49	10	45	0	1	27	2	1	0	0	0	0	35	111
計	235 (261)	164 (181)	208 (218)	5 (10)	26 (29)	109 (183)	5 (1)	36 (56)	5 (8)	2 (3)	0 (3)	0 (1)	193 (198)	589 (710)

注) () 内は前年度の実績

ウ 開業に至った事業者数及び業種

製造業	建設業	小売業	サービス業	教育 学習支援業	その他	計
2 (0)	1 (2)	5 (2)	10 (7)	6 (6)	1 (3)	25 (20)

注) () 内は前年度の実績

エ 新創業融資斡旋状況

(単位：千円)

斡旋件数	斡旋金額	決定件数	決定金額
9	63,100	5	41,600

オ 創業融資斡旋状況

(単位：千円)

斡旋件数	斡旋金額	決定件数	決定金額
4	53,000	1	10,000

カ 実践創業塾の実施

市内金融機関、近隣市町の商工会議所・商工会へチラシを配布した他、巡回、ホームページによる情報発信等を実施しPRに努めた。

事業の概要 及び実績	実践創業塾は、平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、大府市と東浦町が創業支援事業者（大府商工会議所・東浦町商工会）と連携して策定した「創業支援等事業計画」により実施した。特に创业者の経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得を目的として継続的に行っている。創業支援を受けた创业者は、会社設立時の登録免許税の軽減措置や金融支援等の特典を受けることができる証明書が発行されます。令和5年度受講者は、募集20名に対し、大府市の他、東浦町・名古屋市・東海市・碧南市等から、21名の申込があるも直前2名の辞退者があり、19名で開催した。受講者の内6名が女性。また、8名が创业者で、近々創業予定者は1名であった。				
講師	・(株) 経営支援パートナー代表 佐原 啓泰 氏 ・(一社) 全国労働保険事務組合連合会 愛知支部 委託社労士 小藤省吾 氏 ・日本政策金融公庫 熱田支店 融資第三課長 河原田敏文 氏 ・愛知県信用保証協会 経営支援部 地域連携課 大野耕嗣 氏				
講習会名	始めよう！本気のチャレンジ！ 実践創業塾				
開催場所	大府商工会議所3階ホール				
カリキュラム	回次	日時	時間	テーマ	参加人数
	第1回	5. 9. 30 (土)	9:30 ～ 12:45	・創業の心構え 起業の喜びとやりがい ・創業の基礎知識 開業に必要な知識（各種届出、財務、雇用など）を学ぶ ・労働保険について 労働保険事務組合連合会 愛知支部 ・借入について金融機関からの メッセージ 日本政策金融公庫金融 熱田支店	

	回 次	日 時	時 間	テ ー マ	参加人数
	第 2 回	5. 10. 7 (土)	9:30 ～ 12:45	・ 財務管理と資金調達 会社経営の基本、経営とは何か? 財務管理の必要性 ・ 販路開拓 売上の作り方 売上はこうしてつくる! 自社商品・サービスの強み 販売促進の手法を学ぶ ・ 借入について金融機関からのメッ セージ 愛知県信用保証協会	18 名
	第 3 回	5. 10. 14 (土)	9:30 ～ 12:45	・ ビジネスアイデア創出のポイント ビジネスプラン作成のポイント アイデアの出し方のポイントと 事業化の手法 計画を作るメリット ・ ビジネスプラン作成演習① ～夢は実現する～ 夢をかなえる経営計画づくり	16 名
	第 4 回	5. 10. 21 (土)	9:30 ～ 12:45	・ ビジネスプラン作成演習② ～夢は実現する～ 夢をかなえる経営計画づくり	13 名
	受講状況	・ 応募者数 21 名 ・ 受講者数 (1 回以上の出席者) 19 名 ・ 全講座出席者 11 名			
P R 方法	大府商工会議所と東浦町商工会の会員へチラシを配布 8 月 1 日 広報おおぶ・広報ひがしうらへ募集記事掲載 (9 月 1 日号) 報道 3 社 (中日新聞、中部経済新聞社、知多メディアネットワーク) に掲載 依頼する。 大府市内、東浦町内の金融機関各支店窓口にチラシ配布と設置 JR 大府駅・共和駅のスタンドにチラシ設置 東海商工会議所・半田商工会議所・知多市商工会・日本政策金融公庫・愛知県 信用保証協会・わーくりい知多・至学館大学・人間環境大学・星城大学・日本 福祉大学・ハローワーク半田及び刈谷・シルバー人材センター大府及び東浦・ アローブ・コラビアにおいてチラシの配布と設置 巡回・窓口にてチラシ配布・ホームページおよび web 広告にて周知				
週 末 創 業 個 別 相 談 会					
年 月 日	参加人数	開 催 場 所	講 師	相 談 内 容	
5. 10. 28 (土)	2 名	大府商工会議所 1 階相談室	中小企業診断士 座間裕史 氏	①開業に向けての計画策定の アドバイスを受けたい ・マーケティング戦略・集客に ついて ②資金繰りについて ・補助金活用について	
5. 11. 11 (土)	2 名	大府商工会議所 1 階相談室	中小企業診断士 座間裕史 氏	①テナント (開業場所) の探し 方, 内装工事のスケジュール ・創業計画、収支計画作成知識 ②計画する創業内容が商売に なるか確認したい ・集客についてアドバイス	

5.12.2(土)	2名	大府商工会議所 1階相談室	中小企業診断士 座間裕史氏	①開業計画の作り方 ②単価設定・収支計画策定について ・販路拡大について
今後の展開・改善点等		次年度以降も「特定創業支援等事業」として開催予定		

キ 事業承継に関する相談・支援

愛知県事業承継ネットワーク構成機関として、親族内・従業員承継や後継者不在によるM&Aなどの相談に対応し、愛知県事業承継・引継ぎ支援センター等の支援策を紹介した。

(相談件数8件)

事業承継相談窓口を大府市、刈谷市、大府商工会議所、刈谷商工会議所、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターの5者で連携し、令和5年2月に設置した。

毎月1回、会場は大府市・刈谷市役所内にて輪番制で個別相談を開始する。

(相談者16事業所うち大府市内6事業所、刈谷市内10事業所)

(4) 人材育成支援

ア 大府ビジネスカレッジ

概 要	中小企業の経営者や後継者及び中核人材育成のため、ポリテクセンター中部と連携して全業種を対象にした業務改善セミナーを開催した。当セミナーは、2つの異なる内容のコースからなり、座学と共に理解を深めるための演習を取り入れた実践的なものとした。各コース修了後の受講者アンケートでは、具体的な事例説明があり、業務に役立つと回答した方が多く、直ぐに取り組むことができる手法・考え方を得られるセミナーとなった。
-----	--

実施状況

コースタイトル	講 座 内 容	開催日	出席者数
原価管理とコストダウン	原価管理とは ・原価計算の基礎知識 ・製品別利益の管理方法 ・原価管理を改善活動につなげる方法とは？ コスト削減、価格交渉におけるポイント	9/19	19
	講師 あこう管理会計コンサルティング LLP 代表、 名古屋工業大学客員教授 足立直樹氏	10/3	19
インターネットマーケティングの活用	・心理学から考える営業活動 ・販売戦略はシナリオが9割！ ・WEB・SNSの基本知識 ・購買意欲を喚起する方法とは？ ・ネット上でお客様を行動させる方法とは？	11/28	10
	講師 株式会社浅野屋 代表取締役 岸 正龍氏 (ビジネス心理コンサルタント)	12/12	11

今後の展開・改善点等	主なターゲット業種を製造業向け、商業・サービス業向けに分け、2種類のコース設定をすることで満足度・理解度共に高い評価を得ることが出来た。次年度以降もターゲット業種を想定したテーマでの企画を検討する。
------------	---

(5) 販路開拓支援

ア アライアンス・パートナー発掘市2023

年 月 日	事業所数	開 催 場 所	内 容
5. 7. 3 ～ 5. 7. 7	10 社	名古屋商工会議所 5 階ホール	商工会議所の会員同士で行う、事前予約型の商談会。ビジネスマッチング支援サービス事業として愛知県を中心とした県内 22 商工会議所と浜松、岐阜、四日市商工会議所が一体となり実施した。

イ 三河・知多地域商談会

年 月 日	事業所数	開 催 場 所	内 容
6. 2. 15	5 社	刈谷市産業振興センター	企業の新規取引先の開拓、情報収集、新たなビジネスパートナーの発掘の場として発注企業と受注企業が一堂に会し商談会を実施。令和4年度に引き続き、オンラインと対面の両方に対応。

今後の展開・改善点等	会員事業所の商談の機会をつくり、販路拡大支援に努める。
------------	-----------------------------

ウ 移動販売車貸出事業

市内での創業や飲食店事業者等の新商品開発・販売促進、並びに災害時の有効活用を目的に愛知県の支援を受け、令和4年度に移動販売車を製作した。令和5年度から会員事業所への貸出を開始したところ、自社販促催事・近隣のイベント出店などに活用され、販路拡大に貢献した。

移動販売車 貸出事業概要	貸出対象者 ・当所会員事業所および創業を志す者。 貸出期間 ・原則3週間以内 ・年度内3回を上限 主な装備品 コールドテーブル（天板付冷蔵庫）、シンク、給排水タンク（各80L）、電子レンジ 利用料金 ・車両・付属設備については無料（ただし、燃料費等は実費負担） ・出店に関する諸経費（営業許可申請手数料、食品衛生責任者講習料、出店料、電気料金等）は利用者負担 貸出条件 ・普通自動車免許 ・販売目的利用の場合、食品営業賠償保険等の生産物賠償責任保険（PL保険）への加入が必要 ・食品製造・調理・販売等を行う際、食品衛生責任者が常駐
-----------------	--

移動販売車貸出実績

- ・利用事業所数 延9件（145日間使用）

エ 取引紛争の調停・仲裁

該当事項なし

(6) 生産性向上支援

産産、産学マッチングによる支援活動 ―シーズ・ニーズの情報収集―

ア 生産性向上（技術開発）の為にニーズ調査とシーズの情報収集によるマッチング

年 月 日	場 所	企業・機関数 /活動件数	内 容
5.4.1 ～ 6.3.31	ニーズ (企業) シーズ (大学等)	ニーズ企業 24 社/60 件 シーズ 9 機関/54 件 への展開	本年度の活動は企業のニーズ調査と大学や研究機関の産学連携によるマッチングを展開した。 ニーズ調査は企業のヒアリングや Web による活動と展示会等による情報収集により展開した。 マッチングの目的は「産学連携」による「技術開発」であり、ニーズ側・シーズ側双方の情報収集の上でマッチングを推進した。 具体的には日本福祉大学が保有する作業療法のノウハウを装置化するための産学連携やロボットメーカーとの産産連携による既存設備のデジタル化による生産性の向上や新商品開発を目指した。 結果は、 ・ヒアリング企業(機関)数 33 社 (機関) /60 件 ・マッチング企業(機関)件数 45 件 ・ビジネス成立(製品販売)件数 5 件 であった。

今後の展開・改善点等	コロナ禍の企業訪問調査が憚られる状況で、IT 提供者との連携には限界がある。商工会議所として、新たに介護現場のニーズに大学の在宅用リハビリ装置の開発シーズの産学連携を進める。 「健康都市」大府市近郊には医療・介護施設や研究機関の集積があり、モノづくり企業とのマッチングによる介護現場の効率化を目指す。 なお、介護用品は保険制度に依存した構造にあり、その普及には行政との協働が必要である。
------------	--

イ ニーズ調査・マッチング（技術開発、ビジネスマッチング）

年 月 日	訪問件数	活動内容区分	販路拡大レベル区分
5. 4. 1 ～ 6. 3. 31	45 件 (R4 年度 50 件)	ニーズ調査外活動 7 件 ニーズ調査 10 件(18) 技術開発マッチング 25 件(8) ビジネスマッチング 5 件(5) 生産性向上事例 0 件(1) 補助金申請・認定制度 申請・その他 21 件(18) 合計 68 件(50)	構想・検討段階～拡販段階の 8 区分の評価を 設定した。 R6.3 末現在 (前年度) 1 構想・検討段階 45 件 (25) 2 技術・市場調査段階 1 件 (4) 3 連携先模索確定段階 11 件 (9) 4 設計・試作開発段階 9 件 (1) 5 実証・市場テスト段階 12 件 (5) 6 製品製造段階 0 件 (1) 7 普及段階 4 件 (5) 8 拡販段階(外部認定含む) 1 件 (0) 合計 83 件 (50)
		支援企業数 24 社 内大府市内企業 11 社 事業化件数 5 件 (2 社)	
コロナ禍後の Web による活動が常態化している。しかし、経営の戦略的な聞き取りは面談による必要があり、関心事の情報収集活動には交換要件となる提供できる情報の収集に注力した。そのデータベース化を目指したが未完のままとなった。 ・ 日本福祉大学の「在宅用リハビリ装置の開発」シーズに対して(株)松尾製作所の経営ニーズにマッチングが叶い共同研究～事業化開発の PJ を創成し具体化支援を行った。(継続) ・ 2 年目となる IT 高度人材の獲得の期待から、豊橋技術科学大学の実務訓練生の受け入れ企業の紹介をした。5 社の内 4 社に申し込みがあり、人材獲得にはつながらなかったが、次年度に向けて、受け入れ企業のミスマッチを無くすための方策を大学と協議した。			
今後の展開・改善点等		個別企業の課題・ニーズ調査と具体化支援活動は今後も定常的に行う必要がある。その為には、会議所の情報収集力や実践的な指導ができる態勢が不可欠である。専門家への取次活動のみでは、仲介費用が重複することになる。年齢や予算の一元的な制約を乗り越えなければ、真に先導できる態勢は出来ない。 高度人材獲得に向けた豊橋技術科学大学からの実務訓練生の受入活動を実施した。学生サイドが求める企業情報や訓練内容の提供方法について再検討して、大学とも協議する必要がある。	

(7) 健康経営

従業員の「健康管理」を経営的視点で考え、戦略的に実施し、企業価値や業績の向上を目指す「健康経営」が広まりを見せている。大府商工会議所では、健康経営の視点で企業支援を行うため、以下の取組みを行った。

ア 大府商工会議所の健康経営優良法人 2024(中小規模法人部門) 認定

経済産業省が主導する「健康経営優良法人認定制度」に申請し認定を得た。

認 定 日	令和 6 年 3 月 13 日(水)
取 組 内 容	1) 職員のメンタルヘルス対策及びストレス関連疾患の発生予防を目的としたストレスチェックを実施。産業医に分析を依頼し、指導を受けた。 2) 職員を対象に産業医との面談を実施。 3) 健康イベントへの参加費を商工会議所負担とし、職員が参加し易い体制を整えた。また、コミュニケーションの強化を図るため、グループ対抗戦を企画するなど、全員参加の取組みを実施した。
今後の展開・改善点等	認定 5 年目となった。PDCA を意識した分析を行いつつ、生活習慣アンケートの結果から問題点を見つけ出し、セミナー産業医等専門家からのアドバイスを参考に、効果的な取組みを継続、実施していく。同時に、事業所支援をする立場から情報収集・発信を積極的に行い、関係機関と連携を深めていく。

イ 大府市等関連機関との連携事業

健康経営を推進するにあたり、大府市・協会けんぽとの連携を始め、様々な支援機関と共に下記の事業を実施した。

・健康経営実践企業交流会

昨年度大変好評だった交流会を開催。健康経営に取り組む事業所の経営者・担当者を対象にミニセミナー、グループディスカッションなどの情報交換を行った。

実 施 日	令和 5 年 6 月 12 日(月) 14 時 00 分～15 時 30 分
場 所	大府市役所 2 階会議室
参加事業所	15 事業所(16 名)
内 容	第 1 部 大塚製薬による「熱中症対策セミナー」 第 2 部 事前アンケートをもとに、4 グループに分けて実施。 ① 自己紹介 → ② 参加者 4 名+ファシリテータを交えたグループでの意見交換 → ③ メンバーを入れ替え、再度グループでの意見交換 → ④ 交流タイム
今後の展開・改善点等	同じ立場の担当者と悩みを共有できたことで、参加者の満足度は昨年同様 100%を得ることが出来た。今後は、グルーピングの際に業種独自の問題を意識した組合せにしたり、支援機関による取組み体験会を実施するなど、より実務的で有意義な交流の場を企画したい。

・大府市健康経営セミナー

健康経営の啓発や情報提供を目的に、下記の通りセミナーを実施した。

実 施 日	令和 5 年 7 月 25 日(火) 14 時～15 時 30 分
場 所	大府商工会議所 3 階ホール
参加事業所	13 事業所(13 名)
内 容	1. 「今こそ、健康経営に挑戦！～従業員への健康投資のすすめ～」 東京海上日動火災保険(株)営業推進部中小企業支援室 2. 支援メニューのご紹介 あいち健康プラザ、WARRIOR'S REST.、大府市 3. 交流タイム
今後の展開・改善点等	全体として、満足度 100%を達成。講義については、数値を示しながら、簡潔にわかりやすく説明されており、参加者からの評価もよかった。今回初めて行った会員事業所等による支援メニュー紹介についても、様々な視点から紹介することができ、事業所へ気づきを与えることができた。特に、食・運動分野での具体的な支援メニューが好評だった。今後も、実務に役立つ内容を検討しつつ、啓発につなげていきたい。

ウ 健康経営優良法人認定祝賀フォーラム

実 施 日	令和 5 年 4 月 12 日(水) 13 時 30 分～15 時 15 分
場 所	大府商工会議所 3 階ホール
参加事業所	21 事業所(27 名)
内 容	初めての試みとして、アクサ生命保険(株)との共催で、「健康経営優良法人 2023」の認定を受けた市内事業所を集め、祝賀フォーラムを開催した。当日参加の全事業所に認定記念の盾を贈ると共に、中小規模法人部門・ブライツ 500 認定企業それぞれから 1 社ずつが登壇し、今後の取り組みの参考となる事例を発表。さらに、アクサ生命保険(株)から 2024 年度認定に向けての情報提供、大府市からは新設された「健康経営優良法人認定取得支援補助金」について説明が行われた。
今後の展開・改善点等	健康経営優良法人の認定事業所は年々増加しており、関心の高まりが感じられる。それに伴い、国でも様々なインセンティブが設けられているが、現段階では広く知られていない。会員事業所への周知を進めると共に、大府市・協会けんぽと協力し、健康経営の個社支援のさらなる拡充を図る。

(8) 労務対策等支援

令和 5 年優良従業員表彰事業

開催日時・場所	令和 5 年 5 月 23 日(火)10:30～11:30 大府商工会議所 3 階ホール
功 労 者 表 彰	大府市長表彰 1 名 大府商工会議所会頭表彰 15 名
永年勤続者表彰	大府市長表彰 1 名 大府商工会議所会頭表彰 31 名
今後の展開・改善点等	今後も、事業所や地域社会の発展に貢献された方々を表彰し、本人のモチベーションを高め、社員の励みや後進の育成にも繋がる事業として継続する。また、小規模・零細事業者の表彰にも積極的に取り組む。

(9) 福利厚生事業

事業所定期健康診断

年 月 日	受診者数	健診場所	健診機関	健 診 項 目
5. 10. 10 (1 回目)	90 事業所 382 名 (合計)	大府商工会議所 3 階ホール	(医) 九愛会 中京サテライ トクリニック	労働安全衛生法に基づく定期健康診断及び生活習慣病予防検診を実施。一般健康診断（一般・胸部レントゲン・尿・血液・聴力・心電図検査）の他、希望者には、胃がん検査・子宮頸がん検査・眼底検査・大腸がん検査・前立腺がん検査・特殊健診（有機溶剤）を実施。
5. 11. 30 (2 回目)				
今後の展開・改善点等		時間を要する胃がんレントゲン検査を希望する方が年々多くなっているため、日程や検診車輛の増設を検討する。事業者の利便性に応え、健康経営に資するよう継続していく。		

(10) 労働保険事務組合

ア 労働保険事務組合による事務代行

年 度	5 年度	4 年度	3 年度
委 託 事 業 場 数	317	307	309
雇 用 保 険 取 得 手 続	183	186	166
雇 用 保 険 喪 失 手 続	161	162	188

イ 一人親方保険建設会による労災保険（平成 24 年 10 月 1 日設立）

建設業部会員からの要望を受け、一人親方等の不慮の災害による生活不安の除去と社会的地位の向上を図ることを目的に、平成 24 年 10 月に大府商工会議所一人親方保険建設会を設立。

年 度	5 年度	4 年度	3 年度
委 託 事 業 者 数	80	79	80
加 入 者 数	13	9	8
退 会 者 数	12	10	9
支 払 保 険 料(円)	3,524,526	3,539,304	3,283,902

今後の展開・改善点等	今後も労働保険未加入事業所へ積極的に制度の周知を行い、委託事業場数を増やすよう活動を行う。
------------	---

3 賑わい創出

(1) 支部活動

大府支部

年 月 日	出席数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 6. 22	18 名	大府商工会議所	第 21 回通常総代会
5. 8. 28	32 名	名古屋グランドボウル	親睦ボウリング大会
5. 11. 28	20 名	氣比神宮、明石旅館、日本海さかな街	支部視察研修
6. 1. 9	21 名	豊川稲荷、砥鹿神社、鳳来山東照宮	豊川講

横北支部

年 月 日	出席数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 6. 16	17 名	ヨコマチテラス	第 21 回通常総代会
5. 10. 16	27 名	静岡県島田市	視察研修
6. 3. 9	310 名	山銀のいちご（半月町）	いちご狩り

共長支部

年 月 日	出席数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 5. 23	17 名	大府商工会議所	第 4 回（21 回）通常支部総代会
6. 2. 13	63 名	名古屋グランドボウル	第 4 回 親睦ボウリング大会

※R5. 11. 28 社会見学旅行（京都 東山）を募集したが、条件人数に達しなかったため開催中止。

吉森支部

年 月 日	出席数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 6. 14	15 名	大府商工会議所	令和 5 年度 通常総会
5. 11. 4	9 名	げんきの郷	さわやかウォーキング振舞い
5. 11. 14	18 名	田原市伊良湖町	視察研修
6. 3. 15	8 名	あいち健康の森公園	「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」 ペットボタル設置

本支部連絡会議

年 月 日	出席数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 10. 13	37 名	ふるさと農園 「MINRAKU」	・ MINRAKU の概要視察 ・ 4 支部の事業報告及び予定

（２）逸品運動（再掲）

新型コロナウイルスの五類移行により、人の流れは活発化してきたものの、生活スタイルの変化により、地元事業者のおかれている環境は厳しい状況である。個性ある事業所を一店でも多く支援し、地域商業の魅力の底上げを図ることは商工会議所としての課題である。

そこで、令和５年度も商業振興対策として、各店舗の魅力を発信するため「おおぶ・がんばる商店街運動」や「おおぶふれあいゼミナール」等の事業を展開した。

（３）地域イベントの支援

事業者と市民をつなぐために、市内で開催されたイベントを支援した。

イベント名	開催地区	開催期間	内 容
共長夏まつり	JR 共和駅西 ロータリー周辺	5. 7. 29 ～ 5. 7. 30	盆踊り、キッズダンスなど地域住民とのコミュニケーションを図るイベントの支援を行った。
大府夏まつり	JR 大府駅東ロー タリー周辺	5. 8. 5 ～ 5. 8. 6	盆踊り、夜店など地域住民とのコミュニケーションを図るイベントの支援を行った。
大府駅前イルミネーション 百華繚乱	JR 大府駅前 東西ロータリー	5. 12. 1 ～ 6. 2. 24	地域の大学生と共に大府駅前の東西ロータリーに花をモチーフにしたカラフルな LED で装飾し、大府駅前の賑わい創出を支援した。
共和駅前イルミネーション ライトアップ in 優・YOU 共和	共和地区 JR 共和駅東西 ロータリー	5. 11. 12 ～ 6. 1. 19	金メダルのまちにちなんだ、シャパンゴールドの電飾を継続使用。景観のイメージ向上と明るい商店街作りを支援した。

（４）大府市産業文化まつり（第 54 回）

日 時 令和５年 10 月 28 日（土）～10 月 29 日（日）

場 所 メディアス体育館おおぶ・駐車場・フットサルコート

来場者数 大府市発表 93,000 人（10/28 45,000 人 10/29 48,000 人）

商業部会	青年部 女性会
・逸品事業 PR と参加店舗による店頭販売	・飲食ブース ・キッズワーク
会員出展(店)	会員関係団体他イベント
・商工業振興展（出展数 14 件） ・屋外即売会（飲食ブース 34 件、物販ブース 21 件）	・青年部 OB 会（ふれあいおもちゃ金魚すくい） ・宅建協会知多支部 （不動産無料相談、子供向けイベント） ・愛建連大府支部（包丁研ぎ、輪投げ）
今後の展開・改善点等	昨年度の反省点だったキッチンカーの出店位置を調整し、より会場内に近付けることができた。

(5) プレミアム商品券発行事業

物価高騰による消費低迷の影響を受ける市内事業者を支援するため、商品券の発行による消費喚起で地域経済の活性化を図った。

販 売 額	210,000,000 円 (1 シート 5,000 円×4 万 2 千シート)
発 行 総 額	252,000,000 円 (プレミアム分 4 千 2 百万円・プレミアム率 20%)
購 入 資 格	大府市在住、もしくは大府市在勤・在学者
商品券額面	6,000 円 (販売価格 5,000 円) 1,000 円券×4 枚 (共通券)、1,000 円券×2 枚 (中小店券) ※地元小規模店での利用を促すために、中小店券は、コンビニ、ドラッグストア、大型スーパーや家電量販店等では使用不可
申 込 状 況	広報おおぶ 7 月号に同封のチラシ案内に従い、ハガキまたはインターネットによる事前予約 (受付期間 7 月 1 日～21 日)、12,002 件・46,782 シート (1.11 倍) の応募があった。WEB 申込 10,457 件 (87.1%) ハガキ申込 1,545 件 (12.9%)
抽 選 方 法	多くの方が購入できるよう 3 シートまでの申込者は全員当選とし、4 シート以上の申込者を対象に抽選による減シートを実施。市内在住者 11,852 名 (41,483 シート)、市外で在勤者等 150 名 (517 シート) の計 12,002 名に当選通知書を送付した。
販 売 期 間	令和 5 年 9 月 2 日 (土)～9 月 15 日 (金) にて、平日および期間内の土日の 4 日間、職員が対応。(9:00～12:00・13:00～16:00) 期間中に引換されなかった残シート 1,106 枚は 9 月 17 日に 2 次販売 (市役所地下多目的ホールにて先着順) を実施し、4 万 2 千シート全てを完売。
使 用 期 間	令和 5 年 9 月 2 日～令和 6 年 1 月 31 日 (5 か月間)
換 金 額	250,309,000 円 (換金率 99.3%)
登 録 店 数	343 店
換 金 店 数	298 店 (利用店率 86.9%、未利用 45 店)
商品券事業による経済波及効果	使用された「おぶちゃん商品券」について、経済波及効果を検証したところ、生産・サービス誘発額の推計結果は約 4 億 4,655 万円 (1.784 倍) となった。 ※経済波及効果検証に際しては、産業ごとの生産・販売等の取引額を行列形式にした指標である愛知県産業連関表分析ツール (愛知県ウェブサイト掲載) を使用した。

業種別の使用実績

No.	業 種	使用金額	割合
1	食品スーパー	84,662,000	33.82%
2	飲食店（焼肉・寿司・うなぎ店）	26,462,000	10.57%
3	ショッピングセンター・ホームセンター等	26,424,000	10.56%
4	ドラッグストア	18,486,000	7.39%
5	飲食店（その他の飲食店）	14,163,000	5.66%
6	和菓子・洋菓子販売	11,211,000	4.48%
7	衣料品・洋品店	11,184,000	4.47%
8	理美容店	10,062,000	4.02%
9	飲食店（ラーメン・中華料理店）	8,483,000	3.39%
10	酒類販売	7,046,000	2.81%
11	その他各種小売	4,663,000	1.86%
12	飲食店（居酒屋・スナック・宴会料理等）	4,441,000	1.77%
13	家電量販店	4,064,000	1.62%
14	飲食店（喫茶店）	2,474,000	0.99%
15	自動車・カー用品販売、修理	2,087,000	0.83%
16	弁当販売	2,042,000	0.82%
17	パン・ピザ等販売	1,942,000	0.78%
18	自転車販売、修理	1,877,000	0.75%
19	住宅関連	1,279,000	0.51%
20	新聞販売、配達	1,221,000	0.49%
21	書籍・文具販売	1,139,000	0.46%
22	その他各種サービス	908,000	0.36%
23	食品スーパー以外の食料品販売	895,000	0.36%
24	エステサロン・整体・入浴施設等	735,000	0.29%
25	学習塾・各種教室	657,000	0.26%
26	スポーツ用品販売	551,000	0.22%
27	宝石・メガネ店等	482,000	0.19%
28	飲食店（レストラン）	384,000	0.15%
29	医療機関	201,000	0.08%
30	ドラッグストア以外の医薬品	84,000	0.03%
合 計		250,309,000	100%

（６）商店街街路灯事業

各街路灯管理団体と連携を図り、老朽化した水銀街路灯の LED 化若しくは廃灯・譲渡、また大府市協力による防犯灯への移行を図った。結果、当所が保有・管理する街路灯全ての LED 化が実現した。

街路灯管理本数の経緯

管理団体名	年度当初 設置本数	期中			年度末 設置本数
		防犯灯移行	撤去	譲渡	
市役所前発展会	35	0	0	0	35
大府市共和商業（協）	64	0	1	0	63
大府支部	2	0	0	0	2
大府商工会議所	1	0	0	0	1
合 計	102	0	1	0	101

4 行政への提言・要請

(1) 大府市への要請と回答

大府市の事業・取組に対する要請 —「地域経済の持続的発展」に向けて—

提出日	令和5年9月19日(火)
提出先	大府市長 岡村秀人 大府市議会議員 鷹羽 琴美
提出者	大府商工会議所 会頭 鬼頭 佑治
要請内容	
I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化	
1 道路ネットワークの整備	
【要請】都市計画決定済みの幹線道路の早期開通に向けて事業を加速化するとともに、補助幹線道路等についても地域の実情を踏まえて、その充実を図ること。	
(1) 幹線道路の整備促進(回答：道路整備課) ①、③、④、⑤については令和5年7月20日に知多建設事務所へ、令和5年9月1日に愛知県庁へ要請を行った。 【県決定都市計画道路】 ①衣浦西部線 国道155号の折戸交差点から名古屋刈谷線との交点までの区間の早期整備を要望した。 ②瀬戸大府東海線(二車線化) 愛知県に対し、要望路線の早期着手・完成を強く訴えている。 ③名古屋刈谷線 午池南交差点から惣作交差点までの区間の早期整備を要望した。 ④荒尾大府線 東海市境から県道東海緑線までの区間の早期整備を要望した。 ⑤大府東浦線 事業中の国道155号から市道ウド線までの区間について、早期に完成できるよう要望した。 ⑥東海有松線 7月1日に知多建設事務所へ、9月1日に愛知県庁に対して、事業中の本郷交差点から東海市方面への延長700mの区間について、早期に完成できるよう要望した。 ⑦大府駅前線 愛知県と協議し、本市で歩道整備の事業を進めている。 ⑧健康の森線 現在のところ、本路線を整備する予定はない。 ⑨木の山北崎線(梶田町六丁目交差点以東) 愛知県に対し、要望路線の早期着手・完成を強く訴えている。 【市決定都市計画道路】 ⑩養父森岡線 東浦名古屋線から東海市境までの区間の工事や用地買収を進めており、早期に完成できるよう、引き続き整備を進めている。	

⑪ 柊山大府線

令和元年度に市道大府共和線の柊山町三丁目交差点から市道上原殿田線までの区間を整備し、道路を供用開始した。市道上原殿田線から主要地方道名古屋碧南線までの区間は、歩行者の安全確保を最優先に、待避所の設置や電柱の移設工事を実施した。

（２）補助幹線道路等の整備促進

①大府本町線（歩道整備）、②井田辰池線（歩道整備）、③長根北崎線（歩道整備）、④名高山線（拡幅）、⑤高根川夫婦橋～高根橋間の川沿い道路の拡幅、⑦新市民球場へのアクセス道路の整備、⑪名所ヶ峯～二ツ池南間道路の拡幅

現在のところ、本路線を整備する予定はない。

⑥ 山口半月線代替道路の確保

代替となる大府東浦線について、7月20日に知多建設事務所へ要請し、9月1日に愛知県庁へ対して、事業中の国道155号から市道ウド線までの区間について、早期に完成できるよう要望した。

⑧主要地方道東浦名古屋線狭隘部（豊田自動織機長草工場南西部）の拡幅

⑨県道大府常滑線（歩道整備）

愛知県に対し、要望路線の早期着手・完成を強く訴えている。

⑩ 名和大府線（歩道整備）

田面交差点については平成28年度から愛知県が事業主体で渋滞解消に向けた交差点改良を実施しており、交差点改良事業に合わせて、交差点部の歩道整備を予定している。

（３）主要交差点等の改良

①田面交差点、②本郷交差点、③午池南交差点

①～③については令和5年7月20日に知多建設事務所へ、令和5年9月1日に愛知県庁へ要請した。

④梶田町六丁目、⑤一丁目交差点

愛知県に対し、交差点整備の早期着手・完成を強く訴えている。

⑥中央町一丁目、⑦七丁目交差点、⑨大府東高校北交差点、⑪明成町三丁目交差点、

現在のところ、整備する予定はない。

⑧宮内町三丁目交差点

愛知県に対し、交差点整備の早期着手・完成を強く訴えている。

⑩乙洞の踏切（共栄町三丁目交差点西）、⑫明成町二丁目、⑬追分町三丁目

既に整備が完了しているため、今後の整備予定はない。

⑭名所ヶ峯西五差路交差点、⑮大府高校北交差点

愛知県に対し、交差点整備の早期着手・完成を強く訴えている。

（４）高速道路の利便性向上

① 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置

〔要請〕（都）荒尾大府線との接続を想定しつつ、同PAにスマートICを設置することについて、市として前向きな方針を打ち出すこと。

（回答：都市政策課）

大府PA周辺地域は、第4次大府市都市計画マスタープランにおいて、新たな産業地の形成を図るエリアとして位置づけて開発を検討している。（都）荒尾大府線の整備を含め、交通利便性も考慮した中で産業系土地利用の促進を図っている。

② 知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞解消

[要請] 大府西 IC を降り、国道 302 号線と接続する上入道交差点付近の渋滞が顕著であり慢性化している。当該地周辺は民間による開発が旺盛であり、その進展状況によってはランプ建設が頓挫しかねない。地元自治体として、事業実現に向けた用地対策などに協力すること。

(回答：都市政策課)

上入道交差点付近の渋滞緩和は、知多半島全体の発展及び円滑な道路交通の確保のためにも必要であると認識している。今後も引き続き、愛知県道路公社が進める事業に対し、関係機関とともに連携・協力していくとともに、第 4 次都市計画マスタープランに基づき、当該地周辺において、農地や既存住宅地など周辺環境と調和に配慮しながら、工場や物流施設などの新たな産業地の形成を図っていく。

(5) 新技術への対応

[要請] 自動運転技術の進展とその社会実装に関する実験などが進みつつあり、今後の企業活動や市民生活に大きな変革をもたらすことが予想される。道路ネットワークの整備に当たっては、こうした新たな議論を取り込んで進めること。

(回答：都市政策課)

自動運転に係る全国的な動向について、継続して調査・研究を行っている。自動運転の実装に当たっては、道路ネットワーク、道路の整備形態及び交通状況等と合致することが不可欠。今後も様々な関連情報を収集した上で、慎重に検討する。

2 地域産業の発展と雇用確保

(1) 産業用地の創出

[要請] 「木の山地区」「伊勢湾岸自動車道北崎 IC 周辺地区」「あいち健康の森隣接地区」「大府 PA 周辺地区」については、愛知県企業庁等と連携して早急に着手すること。併せて、「あいち健康の森隣接地区」において県企業庁が検討している新規産業用地開発の進捗状況と今後の見込みについて、如何。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

雇用創出、人口増加、税源確保につながる産業用地の整備は、持続可能なまちづくりを進めるにあたって重要であると考えており、第 4 次大府市都市計画マスタープランに基づき、農地や樹林地の保全、調和に配慮しながら木の山地区、北崎 IC 周辺地区を中心に、工場立地が実現してきたところであり、引き続き、他地区も含め将来の大府市を支える企業の立地をつなげることができるよう産業用地の整備に努める。

また、ウェルネスバレー健康産業ゾーンの開発については、愛知県企業庁及び東浦町と連携して産業用地の開発の実現に向けて取り組んでおり、今年度は地権者説明会の開催、事業に係る地権者の同意収集に努めている。

(2) 戦略的企業誘致に向けた検討

[要請] 当地域の産業力の持続的発展に向けて、国立長寿医療研究センターや大学、商工会議所、行政などが一堂に会し、次世代成長分野での研究開発機能の強化について、協議・検討する場を設けること。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

ウェルネスバレー推進協議会をはじめ、産業振興懇談会、産業振興策検討会など、専門機関、大学、企業、農業団体との意見交換、連携する仕組みを構築しているので、商工会議所においても、次世代成長分野での研究開発機能の強化に向けた提案、協議をお願いする。

3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成

(1) 生産性向上支援

[要請] 原材料やエネルギー価格の高騰に対する支援として、既存の「がんばる事業者応援補助金」のメニュー追加や対象経費の拡大を図ること。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

中小企業等経営強化法に基づく「先端設備導入計画」の認定により、一定の要件を満たす設備について、当該固定資産税の課税標準が1/2又は1/3となる制度を実施している。

「がんばる事業者応援補助金」については、目的が新技術・新事業の創出等による経営基盤の強化を目的としており、生産性向上と目的が異なるため、基本的には先端設備導入計画の認定により生産性の向上を進めながら、必要に応じて追加の支援を検討していく。

また、商工会議所においても、引き続きコーディネーター等を活用し、中小企業の経営の合理化や生産性の向上を進めて欲しい。

(2) 販路開拓支援

[要請] がんばる事業者応援補助金による、販路開拓の支援を、予算枠の拡充により充実すること。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

「がんばる事業者応援補助金」については、昨年度までの商工会議所からの要請を受けて販路開拓のメニューを拡大する等、支援内容の充実を行ったばかりであり、まずはこの拡充した「がんばる事業者応援補助金」で支援を行なっていく。

商工会議所においては、本制度の周知に協力いただいているが、周知とともに補助事業を伴走支援して、補助事業実施後に事業者が自立的に販路開拓・拡大を進められるようにして欲しい。

(3) 将来の地域を支える子供の教育

① 少年少女発明クラブの支援

[要請] 学校教育においても、地域産業への関心や理解を促して、ものづくりを支える人材の育成に努めること。

(回答：学校教育課)

郷土について学習するために副読本を独自で編纂している。この副読本を社会科の授業の中で活用し、地域の工業や農業などについて、児童生徒が自ら調べ学習を行うことで、地域の産業に関心や理解を深める学習活動を行っている。今後も、地域について学ぶ機会を通じて、ものづくりを支える人材の育成に努めていく。

② 健康経営の普及啓発

[要請] 未来の大府市を担う小中学生に対し、教育の中で健康経営を取り上げ、市内の健康経営認定企業で働きたくなるような意識の醸成を図ること。教育委員会と連携した出前授業等の企画が可能であれば商工会議所としても協力する。

(回答：学校教育課)

小中学校では、健康経営について直接学ぶ機会はないが、健康についての学習やキャリア教育の中で興味、関心をもってもらうことは意義があると考えている。児童生徒の主体的な学習の中で、学校が個別に希望する場合は、連携をお願いする。

(回答：健康都市スポーツ推進課)

小中学生を含む一般市民への啓発については、市ウェブサイトや広報等を通じ、健康経営の意義や効果、市内企業の取組状況等の周知を行なっていく。

Ⅱ 持続可能なまちづくりの推進

1 計画的な市街地整備の推進

[要請] 第6次総合計画や第4次都市計画マスタープランに掲げる方針を、具体的なまちづくり施策につなげるため、代表的な事例を挙げて次の通り要請する。

(1) 大府駅周辺の市街地整備

(回答：都市政策課)

大府本町線沿線におけるマンションについては建設計画が判明した段階で、道路整備課と連携して歩行空間の確保について事業者へ依頼し、マンション建設前の歩行空間がない現状に対して、事業者の協力のもと、改善を図っている。今後もこのような取り組みを続けていく。

(2) 公民連携によるまちづくり推進体制の整備

(回答：中心市街地整備室)

既成市街地が形成された駅周辺において、まちづくりを進めていくためには、市有地だけでなく、民有地の活用も必要と考えている。

今後は、市有地を中心とした土地の高度利用化により、駅周辺の利便性や魅力の向上に努め、まちづくりの機運向上や地権者との関係づくりを図りながら、公民が連携した駅周辺のまちづくりに繋がっていききたい。

(3) 明成地区における市街地整備

(回答：都市政策課)

明成地区については、第4次都市計画マスタープランの将来都市構造において、住居系の新たな市街地として位置付けている。これまでも地元説明会を開催したが、地権者の合意が得られていない状況。

第4次都市計画マスタープランに基づき、当該地周辺において、農地や既存住宅地など周辺環境との調和に配慮しながら、土地利用を図っていく。

(4) ウェルネスバレー地区の市街地整備

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

ウェルネスバレー基本計画に定めた土地利用計画に基づき、医療福祉ゾーン、健康交流ゾーン、健康産業ゾーンが見据える事業者の誘致を進めるとともに、開発基準に基づき道路、緑化などの整備を進めている。また、健康産業ゾーンの開発については、愛知県企業庁及び東浦町と連携して産業用地整備の実現に取り組んでいく。

(5) 横根北崎地区の市街地整備

(回答：都市政策課)

横根北崎地区については、市街化区域の線引き及び用途地域の設定により、既成市街地の居住環境の保全に努めている。また、第4次都市計画マスタープランの将来都市構造及び土地利用計画において、工業・物流系の新たな市街地として位置付けている。開発許可制度の運用を含め、立地する建築物について、適切に指導している。

(6) 横根平子地区土地区画整理事業

(回答：都市政策課)

横根平子地区土地区画整理事業施行区域からの接続については、地区周辺の幹線道路へ接続するアクセス道路として、道路幅員を拡げる等の整備を土地区画整理事業の完了までに進める計画としている。

(7) 大手スーパー進出に伴う交通対策

① スーパー「トライアル」周辺道路の混雑対策及び抜け道の安全対策、夜間の治安強化

(回答：道路整備課)

川池南～桃山町二丁目及び心花美容院～桃山町三丁目については、生活道路の歩行者等を守る交通安全対策であるゾーン30プラスの区域に設定し、整備を行う予定で令和6年3月までに整備を完了する予定。

追分町六丁目～長根町六丁目については令和5年3月に安全対策として狭さくを2箇所整備した。

(回答：危機管理課)

夜間時間帯において、市職員の地域安全推進員による青色防犯パトロールを実施するとともに、東海警察署に対して、治安強化の要望があった旨を情報提供する。

② スーパー「マックスバリュ」周辺道路の混雑対策

(回答：道路整備課)

7月20日に知多建設事務所へ要望し、9月1日に愛知県庁に対して、午池南交差点から惣作交差点までの区間の早期整備を要望した。

③ 事業計画の事前調整

[要請]両施設の進出による懸念は何と言っても周辺道路・交差点の交通量増加にある。

工事中はもちろん、施設がオープンした後も、周辺道路・交差点の状況を当局として確実に把握するとともに、交差点改良や道路幅員の拡幅など、抜本的な対策を講じること。

なお、本件に関しては、交通問題の派生が明確でありながら、計画が進んで来たことに不安を覚える。都市基盤となる道路や交差点整備の目途を立ててから、あるいはそれを取り込んだ計画とするよう行政として指導できなかったか。

(回答：道路整備課)

愛知県に対し、要望路線の早期着手・完成を強く訴えている。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

・スーパーセンタートライアル大府店及びマックスバリュ大府店の立地に関しては、関係法令を遵守した上で、地元住民や本市の意見を踏まえた事業計画とするよう申し入れを行っている。なお、市の所有でない土地については土地の所有者が主体となり活用が決定される。

2 災害に対する強靱化

(1) 境川流域の浸水対策

[要請] 100年に1度の降雨を想定して作成された、大府市の洪水ハザードマップによれば、市東部の境川流域では南北にわたり広範な地域で、依然1メートル以上の浸水が残っており、一部では2メートルを超える浸水被害が予想されている。県管理の施設・河川改修も含めて、中長期の改善計画を明確にして対策を進めること。

(回答：水緑公園課)

平成12年の東海豪雨以降、大府市総合排水計画に基づき治水対策に取り組むとともに、特定都市河川流域内の流出抑制対策の強化や流域関係市町との連携のほか、愛知県による境川水系河川整備計画に基づく河川整備を計画的に推進している。

これまでも、愛知県により境川下流域の河床掘削及び横根川排水機場の整備が進められた。また、昨年度には五ヶ村川中堤撤去工事が完了し、境川右岸の護岸拡幅工事が着手された。さらには、五ヶ村川から境川へ排水する新規河川排水機場建設に向け、本市の治水対策と連携して進めている。

(2) 市街地の防災機能強化

[要請] 土地区画整理事業や市街地再開発事業を始めとする、市街地の面的整備・改善事業は、道路・公園などの公共施設が整備されるとともに、建築物の耐震化や不燃化が促進され、まちの防災機能の強化につながる。

特に、大府駅東南部地区などの、老朽化した木造建築物が密集し道路幅員が狭隘な地区は、地震や火災が発生した場合に大きな被害が予想される。一日も早い面的整備を具体化すること。

(回答：都市政策課)

面的な開発を始め、まちづくりを進めるに当たっては、綿密な協議・調整により、権利者との合意形成が不可欠。

本年9月、大府駅及び共和駅周辺のまちづくり計画を策定し、大府駅東南部地区については、権利者の意向や周辺状況、社会情勢を考慮しながら、中・長期的な視点で継続的に検討していくこととした。

3 大府警察署の新設

[要請] 大府警察署の新設に向けた課題や今後のスケジュールはどの様に認識しているのか。

(回答：危機管理課)

愛知県からの調査報告により示された排水方法等の課題に対して、解決策につながる方策等を大府警察署（仮称）建設推進チームで対応している。

愛知県では、一般的な事例として、予定地の確定後、地質調査に1年、基本実施設計に2年、建築工事に3年程度を要するスケジュールを示しているため、今後も愛知県と連携し、警察署建設の早期実現を目指す。

4 地域の賑わい創出と快適なまちづくり

(1) イベント実施に対する支援の拡充

[要請] 夏まつりをはじめとした、地域に根付いたイベントを将来にわたり安定的に継続していくために補助限度額のアップや人的支援の拡充等を図ること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

大府夏まつりについては、今年は新たに県補助金も活用し、備品設営の外部委託など、課題となっていた主催団体の負担軽減を図り実施できた。

なお、本事業は商業まつり実行委員会も構成団体であり、商業活性化の目的もあるため、大府商工会議所におかれても、行事の継続性に向けた取り組みの提案や商業者支援など、今まで以上に主体的に取り組んで欲しい。

（２）大府駅自由通路の機能強化

[要請] 大府駅周辺の東西交流や賑わいの醸成、利用者の利便性向上などを図るため、大府駅自由通路の拡張や有蓋化を検討すること。

（回答：道路整備課）

昨年度までに橋脚の耐震補強、階段や橋面舗装などの補修を実施した。

既存の自由通路への屋根設置は、構造上の問題などから設置することはできないが、大府駅東西の移動については、大変重要な課題として捉えており、自由通路の架け替えが必要となった際には、屋根の設置を検討する。

（３）大府市観光協会の体制強化とKURUTOおおぶの運営

[要請] 観光協会を法人化して独立させるとともに、企画力・調整能力・事業運営能力などに優れた経営感覚溢れる人材を確保して、観光協会事業の充実・強化を図ること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

観光協会については、事務局と会員事業者で日々活発に議論を行い、伴走しながら事業を実施している。KURUTO おおぶについては観光案内書の看板を掲示し、大府駅直結の観光案内所として機能している。引き続き観光協会と KURUTO おおぶで連携し、観光振興につながる取組を進めて行く。大府商工会議所におかれても商業支援策として観光事業や KURUTO おおぶの運営に関して、積極的に取り組んで欲しい。

（４）空き店舗等活用補助金制度の拡充

[要請] 平成 30 年 4 月に施行された本補助制度は利用可能な空き店舗の数が少なく、制度活用の障害となっています。指定区域を拡大する等、より使いやすい制度とすること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

空き店舗利活用補助金については、対象エリアに利用できる物件が少ない状況にあり、抜本的な制度の検討が必要な状況であると認識している。

（５）公共交通サービスの充実

[要請] 高齢化の進展やライフスタイルの変化、技術革新などに対応した公共交通サービスの確保。特に、JR 東海道本線及び名鉄名古屋本線最寄り駅と市内各地を結ぶ二次交通について配慮すること。

①通勤や通学にも利用できるように、大府市循環バス路線の設定と運行ダイヤの改善

（回答：都市政策課）

令和 2 年 10 月に策定した「大府市地域公共交通計画」に基づき、循環バス路線の見直しも含め、更なる交通利便性の向上に繋がる取組の検討を進めている。

②市循環バスを持続可能な公共交通とするための、利用者負担と利便性確保

（回答：都市政策課）

「大府市地域公共交通計画」に基づく取組を進め、地域を支える持続可能な地域公共交通体系の構築を図っている。

③名古屋市始め近隣市町の公共交通機関との、相互乗り入れ等による連携強化

（回答：都市政策課）

循環バスにおいて東海市、豊明市及び東浦町への乗り入れを実施しているとともに、名古屋市及び東浦町の運行バスが本市へ乗り入れている。また、知多乗合俵が運行する路線バスでは、東海市及び東浦町との間を往来する系統がある。更に、近隣市町が開催する地域公共交通会議に参加するとともに、大府市地域公共交通活性化協議会においても、東海市、豊明市、東浦町及び刈谷市に参加してもらい連携して、地域公共交通ネットワークの確保に努めている。

④時間帯や曜日によって利用しにくい状況にあるタクシー運行の改善

（回答：都市政策課）

大府市地域公共交通活性化協議会の委員として、愛知県タクシー協会の知多支部長にご参加いただいております。本市の公共交通施策に関する意見交換を行っている。

⑤公共交通の充実による交通渋滞の緩和と脱炭素化

（回答：都市政策課）

「大府市地域公共交通計画」における基本施策として「地域公共交通ネットワークの見直し」及び「環境に配慮した地域公共交通の利用促進」を掲げている。本年 10 月には、循環バスの車両に EV バス 1 台を追加導入し、運行本数の増加による利便性向上を図ることで、交通渋滞及び環境負荷の更なる軽減に努めている。

5 安心・安全で誰にもやさしい歩行空間の整備

[要請] 子供や高齢者、障がい者など誰もが、安心・安全に外出でき、移動できる歩道の整備をはじめ、無電柱化、側溝の有蓋化、自転車利用の増加に対応した道路や駐輪場の整備など安全対策を進めること。

（回答：道路整備課）

市道の側溝について、平成 29 年 3 月に大府市側溝改良計画を策定し、計画的に側溝の有蓋化を推進している。本年度は、市道共和駅東線の歩道設置などを行っている。

6 路上喫煙対策の推進

[要請] 市では大府駅と共和駅を路上禁煙地区に指定しているが、「健康都市おおぶ」にふさわしい玄関口とするための対策を図ること。

（回答：環境課）

駅の路上禁煙地区については、環境美化専門員によるパトロールをほぼ毎日実施し、月 2 回通勤時間帯（7 時 30 分～）にも実施している。引き続き路上禁煙地区や周辺地区で、看板、のぼり、声掛け等による啓発活動を実施していく。

（回答：健康増進課）

喫煙場所の整備は予定なし。

Ⅲ 健康で働きやすい持続可能な地域の実現

1 健康経営の推進

[要請] 大府市が将来像に掲げる「サステナブル健康都市おおぶ」の実現に向けて、大府市と大府商工会議所、協会けんぽ愛知支部が連携・協力して進めている健康経営の普及・推進の更なる充実を図ること。

(1) 健康経営優良法人認定申請料に対する助成の拡大

[要請] 令和5年度に健康経営優良法人認定取得支援補助金を新設いただいたが、1法人1回限りとなっている。認定申請は毎年行うため回数制限を撤廃し、継続的な認定申請の支援の充実を図ること。

(回答：健康都市スポーツ推進課)

大府市健康経営優良法人認定取得支援補助金は、多数の市内企業に対し、認定ハードルを下げ、メリットを享受し得る認定への機会を幅広く提供するための補助制度である。市内企業に対しては、セミナーや交流会、出前講座の実施等により、引き続き継続的な支援を行っていく。

(2) 健康経営優良法人認定企業へのインセンティブ付与

[要請] 健康経営優良法人の顕彰に加えて、各種補助金・助成金における加点評価、公共調達における加点評価や優先発注など、健康経営に取り組む企業の動機づけや目的意識の向上につながる施策の拡充を図ること。

(回答：健康都市スポーツ推進課)

健康経営に取り組む企業の動機づけや目的意識向上に向け、商工会議所や協会けんぽ愛知支部等と効果的に連携しながら、セミナーや交流会等を実施し、健康経営の意義や効果等を啓発している。また、さらなるインセンティブのあり方については、公共事業の入札時の加点等を含め、検討する。

(3) これから働き手となる学生への啓発

[要請] 健康経営が就活学生へ浸透するよう、「大府市就職ガイド」でもその意義・内容を掲載するなど啓発を進めていただき感謝申し上げます。学生の理解が進めば、健康経営に取り組む企業サイドのメリットにもなり、健康経営の普及につながると考えるので、引き続き支援をお願いいたします。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

健康経営優良法人認定を受けた事業所に認定マークを掲載した「大府市就職ガイド」を高校・大学等へ送付し、学生等への周知を引き続き実施していく。健康経営等の各種制度の普及にあたっては、認定・受賞企業の情報発信を増やすことが最も効果的と考えるので、商工会議所においても認定・受賞企業の情報を継続的に発信し、各企業における情報発信を促して欲しい。

2 脱炭素化の推進

[要請] 温室効果ガス削減の目標や具体的な削減方策などを計画して進捗管理をされるとのことだが、既存建物を含めた建築物の省エネ化や効率照明の導入、企業の省エネ・再エネ化投資の拡充、持続可能なエネルギー利用の推進など、地域の脱炭素化に向けた行動に対する指導・支援と充実を図ること。

（１）省エネルギー設備導入支援事業費補助金の拡充

[要請] 原材料やエネルギー価格の高騰、賃上げにより収益が圧迫されている中小・小規模事業者にとって、脱炭素化に向けた設備投資は、極めて負担が大きいのが実情。

令和４年度には大府市省エネルギー設備導入支援事業費補助金を新設していただいたが、制度の拡充を含めて引き続き、脱炭素に向けた設備投資やエネルギー購入に対する支援を行うこと。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課、環境課）

燃料・原材料の高騰により影響を受ける中小企業者等の光熱費の負担を軽減し「ゼロカーボンシティ」の実現に繋げるため、省エネルギー設備への更新費用を補助してきた。セミナー開催や個別相談等を引き続き実施し、国・県の補助制度等の情報提供を行うとともに、社会情勢の変動を踏まえながら支援のあり方を検討する。

（２）住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金の拡充

[要請] 当補助金は大変好評で、申請件数も順調に推移しているとの事。さらなる脱炭素社会を推進するため、遮熱・断熱塗料を用いた外壁塗装や窓断熱、省エネ家電等へ支援対象の拡充を図ること。

（回答：環境課）

家庭部門の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の一環として、蓄電池及び充給電設備の補助制度を実施している。家庭部門の脱炭素化の実現に向けて、市民向け補助制度を含めたシビック・エコアクション８の普及促進と支援のあり方を検討する。

（３）EV 充電ステーションの設置計画

[要請] 令和５年にテラモーターズとEV 充電インフラの推進等を含めた「持続可能な地域づくりに向けた連携協定」を締結したが、今後どのような展開を予定しているのか。

（回答：環境課）

テラモーターズとの連携協定に基づく公共施設のEV 充電設備の設置、次世代自動車購入費補助金や電気自動車等充給電設備補助金制度により、EV の利便性の向上を図ることによって、環境性能に優れた次世代自動車の普及を図り、家庭から排出される温室効果ガス排出量の排出削減に寄与することに加え、災害時の活動継続性の向上を図ってゼロカーボンシティの実現を目指す。

3 ウェルネスバレー構想の推進

（１）ウェルネスバレー構想実現に向けた企業誘致の推進

[要請] 健康・長寿に係る企業等の誘致を進めて「健康長寿の一大拠点」を目指すウェルネスバレー構想だが、企業が進出意欲を持つためには、事業用地は勿論、道路インフラを始めとする事業環境の整備が不可欠。

養父森岡線の整備や産業用地の開発など、企業を受け入れられる環境整備を推進すること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

ウェルネスバレー健康産業ゾーンについては、現在愛知県企業庁及び東浦町と連携して産業用地の開発の実現に向けて取り組んでいる。開発区域内には養父森岡線及び大府東浦線の都市計画道路があるため、産業用地の開発の中で整備を進めていく。

また、将来の土地利用を見据えた重要なインフラとして、令和４年度に養父森岡線の整備計画を「健康産業ゾーン」まで延長し、計画的な整備を行う予定。

（２）地域資源の活用

[要請] ウェルネスバレー地区には、「あいち健康の森公園」そして「げんきの郷」という多くの人を集める拠点施設が既に立地している。当所では、平成 28 年の「まちづくり構想提言書」で、これらと連携して農業体験や加工・販売、宿泊・レジャーといった機能を付加する構想を、イメージ図も含めて提案済である。げんきの郷の後背地を活用して、これらのアイデアを具体化すること。また、「大府市農業推進施設等立地奨励金」の活用状況は如何。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

ウェルネスバレー地区の健康交流ゾーンでは、市独自の支援制度である「大府市農業推進施設等立地奨励金」を活用して、げんきの郷の後背地に観光農園や直売所の誘致を行っている。観光を手段とした商業振興は今後重要となる認識。商工会議所でも持続可能な経営に向けて今まで以上に観光施策に積極的に取り組んで欲しい。

（３）中小企業の医療機器産業への新規参入支援

[要請] 製販ドリブン事業の活性化に加えて、初期段階での試作・研究開発や実証実験への助成、産学官連携の推進など、事業化を見据えた入口から出口までの支援を充実すること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

令和元年度からスタートした医福工連携マッチング支援事業のアイデアボックス活動では、医療・介護現場と、ヘルスケア産業関連企業、新規参入希望企業とマッチングし、現場と連携した共同研究・実証実験等、事業化に向けた支援を推進している。専門的な知見が必要となるため、医療機器メーカーでの勤務経験があるコーディネーターと連携して、伴走支援を展開している。試作・研究開発、産学官連携の推進では商工会議所の役割が不可欠であり積極的に連携して欲しい。

（４）スタートアップ支援機関のサテライト設置

[要請] ウェルネスバレー推進協議会は、愛知県が進める、スタートアップの中核支援拠点「ステーション A i」のパートナー拠点として認められたところであり、今後のスタートアップ支援の取組に大いに期待するところ。ついては、この取組を更に一歩進めて具体的に後押しする場として、あいち健康の森地区、あるいは大府駅周辺地区にサテライトを設置すること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

ウェルネスバレー推進協議会が愛知県から「STATION Ai パートナー拠点」として位置付けられ、相談窓口の設置や、連携イベントの開催等を行う予定。まずはこれらの事業をしっかりと行っていく必要があるので、ウェルネスバレー推進協議会の構成員として、商工会議所にもスタートアップ支援、医療介護産業振興に取り組んで欲しい。

（５）あいち健康プラザ減築への対応

[要請] あいち健康プラザの減築計画は、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されたが、減築されればプラザの機能はもとより、あいち健康の森公園の集客にも影響が出ると予想される。地元自治体として、その動向に十分留意するとともに、公園の再整備を含めた管理運営について愛知県に対して適時適切に意見・要望すること。

（回答：商工業ウェルネスバレー推進課）

あいち健康プラザの減築計画については、地元団体としてその動向に十分留意する。

(6) 新たなウォーキングコースの設定

[要請] 大府駅西口から健康の森公園へかけてウェルネスバレーロードが整備され、コース各所に案内サインが設置されているが、ウォーキングを楽しむには今一つ魅力に欠ける。

当地区は数多くの水と緑の拠点に加え、神社・仏閣を始めとする史跡も多く存在する。これらを活かしたウォーキングコースの設定により、ウェルネスバレー地区の更なる魅力アップにつなげること。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

市では「おおぶ健康都市ウォーキングマップ」を作成し、その中にはウェルネスバレーロードを含めて全部で 10 のウォーキングコースが掲載されている。掲載されているコースはウェルネスバレーの魅力を感じられるコースとなっているので、引き続きウォーキングマップの活用を進め、ウェルネスバレー地区の魅力を伝えていく。

～ 定期的な経済界との意見交換と財政支援について ～

■ 大府市産業振興懇談会を始めとする意見交換について

[要請] 年 1 回の形式的な懇談会ではなく、開催回数を増やし闊達な意見交換や提案が出来る運営に配慮して、懇談会の活性化を図ること。

(回答：農政課)

大府市産業振興懇談会での闊達な意見交換に繋がるよう、大府市産業振興策検討会の出席者や運営方法について配慮する。

■ 小規模事業補助金等の水準回復

[要請] 大府商工会議所の財源は、会員会費や事業収入の他、多くを愛知県及び大府市の財政支援に負っている。市においては、小規模事業補助金や個別事業の補助金・交付金などの算定に当たり、当所の人的負担も含めた適切な配慮をすること。

(回答：商工業ウェルネスバレー推進課)

当補助金交付は、大府商工会議所の事業活動を財政的に支えることで、市内事業者の間接的支援を行うことを目的としており、事業内容や対象経費、近隣自治体の状況等も踏まえたうえで、実際の活動状況や効果を確認して総合的に判断している。今後とも相互連携の上、補助の目的に則した事業の実施に留意をいただきたい。

（２）大府市議会議員との意見交換会

大府市への要請書提出に向けて大府市議会議員と具体的な内容確認を行い、要請実現のため建設的な意見交換会を実施した。

大府市市議会議員・大府商工会議所各支部との意見交換会

年 月 日	出席者数			開催場所	支 部 名
	会議所	市議会議員	県議会議員		
5. 6. 29	21 名	9 名	-	大府商工会議所 3 階ホール	大府支部 吉森支部
5. 7. 3	20 名	11 名	1 名	大府商工会議所 3 階ホール	共長支部 横北支部

大府市市議会議員親和クラブ・大府商工会議所正副会頭との意見交換会

年 月 日	出席者数	開催場所	実施内容
5. 5. 31	17 名	大府商工会議所 3 階ホール	・ 商工会議所の活動説明 ・ 意見交換

大府市市議会議員市民クラブ・大府商工会議所正副会頭との意見交換会

年 月 日	出席者数	開催場所	実施内容
6. 2. 19	12 名	大府商工会議所 2 階会議室	・ 大府市のまちづくりについて意見交換

（３）愛知県への要望

提 出 日	令和 5 年 11 月 1 日（水）
提 出 先	愛知県知事 大村秀章
提 出 者	愛知県商工会議所連合会会頭会議（知多ブロック）
要 望 内 容	「交流と物流の生産性向上のための交通インフラ整備」 1. 中部国際空港第 2 滑走路の整備促進及び受入体制の強化 2. 幹線道路網の整備促進 ①西知多道路大田インターチェンジ(仮称)及び国道 155 号の完全 4 車線化の早期整備 ②知多半島道路の伊勢湾岸自動車道路への直接乗り入れ及び大府 P A へのスマートインター設置 3. 鉄道高架事業の推進と土地区画整理事業への支援

提 出 日	令和6年1月26日（金）
提 出 先	愛知県知事 大村秀章
提 出 者	知多地域経済会議（知多地域5市5町の商工会議所・商工会）
要 望 内 容 （大府商工会 議所分）	①安定的な輸送と物流生産性の向上 ②知多半島道路と伊勢湾岸自動車道との直接乗り入れ ③「ステーションAi」パートナー拠点の活用 ④大府警察署の新設

（４）その他要望及び陳情

武豊線利用促進に関する要望

提 出 日	令和5年11月17日（金）
提 出 先	国土交通省中部運輸局、東海旅客鉄道（株）
提 出 者	武豊線利用促進協議会
要 望 内 容	①列車運行（ダイヤ等）にかかる利便性の向上 ②駅及び鉄道施設の整備、改善 ③観光の促進

5 親しまれる商工会議所

(1) 主要行事

ア 新旧役員・議員懇談会

年 月 日	参加人数	開催場所	内 容
5. 11. 15	42 名	味三昧みかど	令和 5 年度役員・議員懇談会 出席者 鬼頭会頭 始め役員・議員・事務局

イ 新年賀詞交歓会

年 月 日	参加人数	開催場所	内 容
6. 1. 10	200 名	大府市役所 多目的ホール	会員並びに来賓、関係各位が一堂に会し、心新たに互いの発展を期した。 新型コロナウイルス感染症の第 5 類移行に伴い、立食形式で開催。

ウ 役員・議員視察研修

年 月 日	参加人数	視察先	内 容
5. 11. 6 ～7	17 名	・大阪府茨木市 茨木商工会議所 ・大阪府吹田市 万博記念公園	茨木商工会議所では、まちづくり会社(FIC ベース株)の活動状況の聴取と現地視察。 ・クリエイターズマーケット整備事業 ・商店街内の賑わい空間整備事業 ・立命館大学との連携による取り組み 万博記念公園では、公園内の賑わいづくり、有効活用、地域活性化などについて、公園の指定管理者である万博記念公園マネジメント・パートナーズから聴取した後、太陽の塔の内部等公園内を視察。

「茨木商工会議所（茨木市）」 市、青年会議所、観光協会、会議所、企業、大学、高校などが協力してバルやフェスなどイベントを行っている。商工労政課だけでなく、都市政策課、建設課、文化推進課などとも共同事業を行っている。民間が行うことを、市がバックアップしてくれている。

「F I C ベース株」 2019 年 8 月に設立された、中心市街地に魅力ある商業機能や居心地の良い空間の創出を図るため、茨木商工会議所・市内大学・事業所・茨木市等が出資してできた民間会社。公共（行政）や民間単独では実施が困難なまちづくり事業に取り組んでいる。J R 茨木駅と阪急茨木市駅の二つの駅と、真ん中に位置する市役所、市民ホールをつないでにぎわいを作りだす取り組みを実施。

「万博記念公園マネジメント・パートナーズ」 2018 年より、10 年の指定管理をしている。万博記念公園の活性化、「Wonder Experience ～来るたびに感動体験と出会える公園～」を基本コンセプトに①集客力の向上②ユニバーサルサービスの向上③安全性の担保④収益性向上⑤地域連携に留意して運営している。

「まとめ」 立命館大学構内は、一部を除き市民も自由に出入りでき、「地域とともに未来を生み出す学生を育む」、社会に開かれたキャンパスであった。広大な工場跡地の活用が市長のリーダーシップの下、行政、大学、商工会議所の連携により上手く出来た好事例であった。

(2) 情報発信

ア 調査

ＬＯＢＯ調査（商工会議所早期景気観測システム）

概 要	ＬＯＢＯとは Quick Survey System of Local Business Outlook＝早期景気観測の略称であり、各地域の「肌で感じる足元の景況感」を全国ベース（全国338 商工会議所、2,700 企業等）で毎月調査しているもので、商工会議所としての景気対策等に関する意見活動などの活発化に資することを目的としている。本調査は実質ＧＤＰや日銀短観など政府等の各種経済指標をはじめ、日経平均株価や長期金利等との相関性が極めて高いことから、実体経済の動向を迅速且つ的確に把握できるとして、官公庁や民間シンクタンク等から高い評価を得ている。
調査時期	毎月１回
調査対象	当商工会議所会員の４業界団体・企業
調査方法	調査票によるアンケート方式

イ 広報

大府商工会議所会報 月１回（１日発行） 年１２回 24,000 部

発 刊 号	会報発刊日	内 容
第 253 号 全 12 頁	5. 4. 3	1. 青年部活動報告 2. 第 4 回定例常議員会 3. トライボテックス㈱ものづくり日本大賞優秀賞受賞
第 254 号 全 12 頁	5. 5. 1	1. 移動販売車貸出事業のご案内 2. 第 4 1 回議員総会 3. 健康経営優良法人 2023 認定事業所紹介
第 255 号 全 12 頁	5. 6. 1	1. 実務訓練生受入れ事業の紹介 2. 第 4 2 回通常議員総会 3. 「橋本実践塾」総括発表会および修了式
第 256 号 全 12 頁	5. 7. 3	1. 女性会第 2 1 回通常会員総会 2. 健康経営実践企業交流会 3. 大府市がんばる事業者応援補助金
第 257 号 全 12 頁	5. 8. 1	1. ものづくりを支える、人づくり 2. 大府市議会議員との 懇談会開催 3. 相続登記の申請義務化
第 258 号 全 12 頁	5. 9. 1	1. 風水害から避難するタイミング 2. 労働保険の加入は、 お済ですか？ 3. 「省エネ対策セミナー」を開催しました
第 259 号 全 12 頁	5.10. 2	1. 第 2 回定例常議員会 2. 「おおぶ駅前夜市」を開催しま した 3. 大府スタートアッププロジェクト
第 260 号 全 12 頁	5.11. 1	1. 大府市の事業・取組に対する要請 2. 製造・工業部会 ビジネス交流会 3. 大府ビジネスカレッジ開催
第 261 号 全 12 頁	5.12. 1	1. 大府市の事業・取組に対する要請 2. 第 3 回定例常議員 会 3. 相続税・贈与税 令和 5 年改正の注目ポイント
第 262 号 全 12 頁	6. 1. 4	1. 会頭挨拶 2. 大府市長・愛知県知事挨拶 3. 「新ビジョン推進特別委員会」を開催
第 263 号 全 12 頁	6. 2. 1	1. 大府市の事業・取組に対する要請の回答 前編 2. 能登 半島地震における支援物資の輸送 3. 新年賀詞交歓会
第 264 号 全 12 頁	6. 3. 1	1. 大府市の事業・取組に対する要請の回答 後編 2. 青年部 活動報告 3. おおぶ桜ハナモモ花めぐり事業イベント紹介
今後の展開・改善点等		健康経営等の SDG s に関する取り組み、ビジネスマッチングや 販路拡大を目的とした中小企業の事業内容紹介など、会員ニー ズに沿った最新の情報発信を行う。

ウ 情報化対策事業

(ア) 大府商工会議所のホームページ 令和5年度アクセス数：106,240件

項 目	掲 載 内 容
各種ビジネス支援	健康経営、補助金、融資、販路開拓、税務、人づくり、創業・経営革新、貿易証明
保険・共済・福利厚生	労働保険、共済・保険・福利厚生
検定試験情報	日商簿記検定、珠算検定、東商 IBT 検定
商工会議所案内	会頭挨拶、会議所紹介、入会案内
その他の事業紹介	会議室貸出しサービス、会報チラシ同封サービス、移動販売車レンタルなど
関連リンク	大府商工会議所青年部、大府商工会議所女性会、日本商工会議所、ビジネスモールなど

(イ) ポータルサイト まっちふる大府

令和5年度アクセス数：PC：51,049件 スマートフォン：50,020件

「まっちふる大府」は、大府の人と店、企業と企業のつながりをふやす地域ポータルサイト。地域の産業を支えている人やお店・企業の想いを紹介し、既存の地域産業の“発展”や新しいビジネスの“スタート”と“成長”を応援する。大府を盛り上げる「食」「人」「団体」「イベント」「技術」にフォーカスした特集ページがあり、大府で活躍される方々の知られざる想いや、独自の取組みを紹介している。

(ウ) 職員向けセキュリティ管理・個人情報保護講座

年 月 日	出席数	開 催 場 所	講 師	研 修 内 容
5. 11. 10	職員 14名	大府商工会議所 2階会議室	宿澤経営情報事務所 宿澤直正氏	ChatGPT、生成 AI に関連付けた形で研修を行った。 ChatGPT を使用する際には、個人情報保護の観点からオプトアウト設定を OFF にして、入力した内容を学習に利用しないよう設定することが重要。また、DX のツールとして注目度の高い ChatGPT や生成 AI について利用方法を知り、生産性向上の方法について学んだ。

今後の展開・改善点等	プレミアム商品券事業によってアクセス数は安定しているが、その他のページも閲覧されるように努める。
------------	--

(3) 会員交流会

年 月 日	参加者数	開 催 場 所	事 業 内 容
5. 7. 11	34 名	大府商工会議所 3 階ホール	・話し方のミニ講座を開催 ・参加事業所 PR タイムや立食形式の情報交換会を実施
5. 9. 9	22 名	大府駅東ファミリーマート 駐車場	・おおぶ駅前夜市の開催に合わせて実施 ・夜市参加店に対しクーポンを配布
5. 11. 3	17 名	共和駅西八ツ屋会館 南東空地	・きょうわバイトン夜市の開催に合わせて実施 ・夜市参加店に対しクーポンを配布
今後の展開・改善点等		次年度についても、会員ニーズに基づき、会員の交流が活発に行えるような企画を展開する。	

(4) ゴルフ委員会

ア 幹事会

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所	議 題 ・ 摘 要
第 1 回	5. 6. 7	8 名	大府商工会議所 2 階会議室	・第 39 回ゴルフコンペ開催について ・第 38 回会頭杯ゴルフコンペ収支決算書
第 2 回	5. 9. 5	5 名	大府商工会議所 3 階ホール	・第 39 回ゴルフコンペ組み合わせについて
第 3 回	5. 11. 28	4 名	大府商工会議所 2 階会議室	・第 40 回ゴルフコンペ開催について ・第 39 回会頭杯ゴルフコンペ収支決算書
第 4 回	6. 2. 20	8 名	大府商工会議所 2 階会議室	・第 40 回ゴルフコンペ組み合わせについて

イ 会頭杯ゴルフコンペ

回 次	年 月 日	出席数	開 催 場 所
第 39 回	5. 9. 20	46 名	新南愛知カントリークラブ 美浜コース
第 40 回	6. 3. 13	39 名	中京ゴルフ倶楽部 石野コース

(5) 共済事業

ア 全県下の会議所組織による共済制度

制 度 名	期 首		期中増減		期 末		摘 要
	件数	口数	件数	口数	件数	口数	
中小企業共済	154	492	2	5	156	497	

イ 当所独自の共済制度

制 度 名		期 首		期中増減		期 末		摘 要
		件数	口数	件数	口数	件数	口数	
風 車 共 済		492	2,696	△39	△128	453	2,568	1口から5口まで (件数＝事業所数)
特定退職金共済		17	606	0	△26	17	580	1口1,000円30口まで
制 度 名			期首 件数	期中増減 件 数	期 末		摘 要	
					件数	年間保険料総額(円)		
アクサ生命保険			552	△35	517	105,128,965		
内 訳	大 型 損 保 セ ッ ト		5	△1	4	410,616		
	総 合 共 済		327	△20	307	47,500,353		
	定 期 保 険 群 集 団		90	△11	79	47,103,354		
	ガ ン 治 療		130	△3	127	10,114,642		

※ 1. 年間保険料総額は、令和5年4月～令和6年3月までの支払保険料総額、件数は令和6年3月1日契約分まで

※ 2. 取扱開始時期 ・アクサ生命保険㈱関係

大型損保セット	平成7年8月1日	総合共済	平成8年4月1日
風車共済	平成8年9月1日	ガン治療	平成27年11月1日
定期保険群集団	平成26年6月1日		

ウ 国の中小企業施策による共済制度

制 度 名	期首 件数	期中 増減	期 末		摘 要
			件数	年間保険料総額(円)	
小 規 模 企 業 共 済	346	△7	339		1口500円140口まで
倒 産 防 止 共 済	43	5	48	34,300,000	1口5,000円40口まで
中小企業退職金共済	92	△1	91		5,000円～30,000円
日 商 業 務 災 害 保 険	67	0	67	26,046,840	
日 商 ビ ジ ネ ス 総 合 保 険	66	8	74	19,080,430	

今後の展開・改善点等	定期的な巡回を始め、窓口にて提案施策として普及に努める。 また、会報・同封チラシ・ホームページ等で情報発信を行う。
------------	--

VI 青年部・女性会の活動

1 青年部 (会員数 67 名)

(1) 定例理事会 毎月定例開催 (12 回)

(2) 委員会活動

委 員 会 名	活 動 内 容
総 務 広 報 委 員 会	総会の運営、理事会・三役会の運営、青年部会報誌の発行(YEGPRESS)、青年部名刺発行、研修事業の企画・運営、新年会の企画・運営、Angel Touch の管理、献血活動の推進、ホームページ・SNS の運営、
会 員 交 流 委 員 会	総会後の懇親会企画・運営、地域夏祭り参画、慰労会の企画・運営
地 域 活 性 化 委 員 会	大倉公園つつじまつりへの参画、地域振興事業の企画・運営、まちづくり及び提言に関する事業の企画・運営
拡 大 渉 外 委 員 会	会員拡大活動、OB 会との合同懇親会企画・運営、大府市産業文化まつりへの参画・運営、会員入会に関する諸手続き、外部組織との連絡調整と取りまとめ、愛知県 YEGDAY への参加促進、東海ブロック大会への参加促進、全国大会への参加促進、その他渉外活動への参加促進

(3) 主要行事・会議等

年 月 日	出 席 数 (部員参加者数)	開 催 場 所	内 容
5. 4. 10	1 名	大府商工会議所	大府市観光協会総会
5. 4. 26	46 名	大府商工会議所	第 21 回通常会員総会、総会後の懇親会
5. 4. 28	3 名	東京會館	日本商工会議所青年部全国会長会議
5. 4. 29 30	57 名	大倉公園、桃山公園	4 月定例会 第 47 回大倉公園つつじまつり 青年部バザー
5. 5. 13	3 名	恵那文化センター	東海ブロック商工会議所青年部連合会 会員総会・会長会議
5. 5. 16	7 名	小牧中部公民館	愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議
5. 5. 17	2 名	大府商工会議所	大府商工会議所定例常議員会
5. 5. 18	8 名	大府市役所	献血活動
5. 5. 23	2 名	大府商工会議所	大府商工会議所第 42 回通常議員総会
5. 6. 23	6 名	安城商工会議所	愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議
5. 6. 27	26 名	大府商工会議所	6 月定例会 研修事業
5. 7. 15	26 名	浜風屋	7 月定例会 OB 会との合同懇親会
5. 7. 21	2 名	みとゴルフ倶楽部	豊川 YEG 創立 35 周年記念ゴルフ大会
5. 8. 5 6	67 名	トヨタレンタリース 名古屋大部駅前店横 駐車場	大府夏まつり
5. 8. 25	9 名	ホテルプラザ勝川	愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議
5. 8. 25	5 名	大府市役所	献血活動
5. 9. 10	9 名	ボートレースとこな め、セントレアホール	知多地区 4YEG 連絡協議会 ボートレース交流会・懇親会
5. 9. 14	1 名	大府商工会議所	大府商工会議所定例常議員会
5. 9. 23	27 名	メディアス体育館お おぶ	9 月定例会 地域振興事業

年 月 日	出 席 数 (部員参加者数)	開 催 場 所	内 容
5. 9. 29	4 名	豊橋商工会議所	東海ブロック商工会議所青年部連合会会員総会・会長会議
5. 9. 30	32 名	穂の国とよはし芸術 劇場プラット、豊橋市 総合体育館他	東海ブロック大会 豊橋大会
5. 10. 3	9 名	刈谷市産業振興セン ター	愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議
5. 10. 17	7 名	犬山カンツリー倶楽 部	愛知県連 YEG ゴルフコンペ
5. 10. 28 29	59 名	メディアス体育館お おぶ	10 月定例会 第 54 回大府市産業文化まつり
5. 11. 4	19 名	名古屋国際会議場	11 月定例会 愛知県 YEG DAY
5. 11. 15	1 名	大府商工会議所	大府商工会議所定例常議員会
5. 11. 17 18	4 名	高知県民文化ホール 他	日本商工会議所青年部 第 41 回全国会長研修会 『山海の楽園こうち会議』
5. 12. 9	5 名	イオンモール常滑 イオンホール	常滑 YEG 創立 50 周年記念式典・記念祝賀会
5. 12. 7	4 名	味三昧みかど	大府商工会議所女性会 懇親会
5. 12. 12	25 名	大府商工会議所	12 月定例会 研修事業
6. 1. 17	29 名	味三昧みかど	1 月定例会 新年会
6. 1. 26	6 名	岡崎市シビックセン ター、岡崎市竜美丘会 館	岡崎 YEG 創立 35 周年記念式典・祝賀会
6. 2. 9	5 名	味三昧みかど	大府商工会議所青年部 OB 会 新年会
6. 2. 15	6 名	大府市役所	献血活動
6. 2. 18	32 名	大府市役所	2 月定例会 婚活事業
6. 3. 1	6 名	すいとぴあ江南	愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議・会長予 定者会議
6. 3. 3	37 名	味三昧みかど	3 月定例会 慰労会
6. 3. 9	20 名	大府商工会議所	日本商工会議所青年部 単会訪問事業
6. 3. 14 ～17	8 名	小松市團十郎芸術劇 場うらら、こまつドー ム他	日本商工会議所青年部 第 43 回全国大会『加賀能登 の國いしかわ小松大会』
6. 3. 19	1 名	大府商工会議所	大府商工会議所定例常議員会
6. 3. 24	5 名	鳥羽市民体育館、鳥羽 水族館	東海ブロック商工会議所青年部連合会 会員総 会・会長会議
6. 3. 27	1 名	大府商工会議所	大府商工会議所第 43 回通常議員総会

(4) 令和5年度 大府商工会議所青年部役員名簿

役職名	氏 名	事 業 所 名	備 考
会 長	近 藤 匡 則	(株)ONS コンドー	
直前会長 兼監事	橋 本 亮	(株)鐵建	
専務理事 兼副会長	星 崎 政 和	(株)三つ星	(総務広報委員会)
副会長	細 田 章 洋	細田会計事務所	(会員交流委員会)
副会長	早 川 武 仁	マルタケ(株)	(地域活性化委員会)
副会長	古 田 寛 明	(株)古田商店	(拡大渉外委員会)
理 事	阿 部 將 大	(株)みらいネクスト	総務広報委員長
理 事	坪 井 真 行	(株)真造ホーム	総務広報副委員長
理 事	松 本 義太郎	義造園	総務広報副委員長
理 事	石 塚 美 緒	Moran	会員交流委員長
理 事	田 代 圭	(株)秀栄工務店	会員交流副委員長
理 事	鬼 丸 祐 輔	(株)鬼丸	会員交流副委員長
理 事	大 嶋 耕 司	(有)愛和金型製作所	地域活性化委員長
理 事	山 本 雄 美	(有)山行瓦店	地域活性化副委員長
理 事	榊 原 雅 文	愛知さかきばら法律事務所	地域活性化副委員長
理 事	宮 岡 靖	(株)青木工業	拡大渉外委員長
理 事	川 越 慎之介	(有)シンユー建材	拡大渉外副委員長
理 事	藤 高 健 斗	(有)山本鋳金	拡大渉外副委員長
監 事	島 岡 亮 司	(株)島岡製作所	

2 女性会 （会員総数 47 名）

（１）定例役員会 毎月定例開催（12 回）

（２）委員会活動

委 員 会 名	主 管 事 業
総 務 委 員 会	広報作成（各クラブ、定例事業、各種事業の案内） 総会、懇親会、Facebook の更新 等
研 修 委 員 会	研修会・講習会の企画及び実施、初詣参拝 等
地域文化活動委員会	つつじまつり、大府夏まつり、大府市産業文化まつり協力 クラブ活動（健康づくり推進部、民踊部） 等

（３）主要行事・会議等

年 月 日	出 席 数 (部員参加者数)	開 催 場 所	内 容
5. 4. 29 30	33 名	大倉公園	第 47 回大倉公園つつじまつりバザー
5. 5. 24	25 名	大府商工会議所 3 階ホール	大府商工会議所女性会第 21 回通常会員総会
5. 6. 3	17 名	メディアス体育館おおぶ	盆踊講習会（市主催）
5. 7. 8	4 名	アイプラザ半田	半田商工会議所こども支援セミナー・女性 会交流会
5. 7. 18	16 名	大府商工会議所 3 階ホール	女性会民踊講習会
5. 7. 20	13 名	名古屋マリOTTホテル	愛知県商工会議所女性会連合会総会
5. 8. 5	23 名	大府駅前ロータリー	大府夏まつりパレード参加
5. 8. 7	2 名	ウィルあいち	県女性団体連盟総会
5. 10. 5 6	5 名	朱鷺メッセ	全国商工会議所女性会連合会 新潟全国大 会
5. 10. 28 29	29 名	メディアス体育館おおぶ駐 車場	大府市産業文化まつりバザー出店
5. 11. 21	30 名	おおぶ文化交流の杜	三河商工会議所女性会サミット
5. 12. 7	27 名	味三昧みかど	大府商工会議所女性会懇親会
6. 1. 24	23 名	檀原神宮	新春初詣参拝
6. 2. 10	12 名	大倉公園広場	第 33 回大府盆梅展ぜんざい振る舞い協力
6. 2. 21	15 名	知の拠点、徳川園	視察研修
6. 3. 2	5 名	愛三文化会館 もちのきホール	あなたとわたしのつどい参加

(4) 令和5年度 大府商工会議所女性会役員名簿

役職名	氏 名	事 業 所 名
会 長	花 井 由美子	(株)花井組
直前会長	深 谷 多恵子	(株)みどりや
副会長	小 山 昌 子	(株)サンケイハウジング
副会長	佐 治 奈 己	(株)共和モータース
副会長	上 田 美樹子	円満相続研究所
監 事	加 藤 明 美	(株)みかど
監 事	青 山 多美枝	新栄電気(株)
理 事	永 井 恵 子	(有)中京履物
理 事	中 村 光 江	(有)中村広報
理 事	大和田 せい子	大府造園土木(有)
理 事	鈴 置 和 美	鈴置和美税理士事務所
理 事	野 島 功 子	オフィス装々
理 事	坂 野 好 子	バンノ自動車商会
理 事	中 村 真 弓	心花美容院
理 事	亀 山 絵 美	(株)I t a l i a n a
理 事	佐 藤 しづ子	佐藤工業所
理 事	天 野 美 恵	タツミ化成(株)
理 事	平 井 淑 子	スナックヘルメス

Ⅶ その他

1 Helpan171 災害支援バンク

令和元年 12 月 2 日、大府商工会議所は Helpan171 災害支援バンクを運営する(一社)Breakthrou Bank と代理店契約を締結した。

Helpan171 は、災害時に協賛者(パートナー)が備蓄したパンを被災者や帰宅困難者に融通し合うネットワーク。大府商工会議所は、Break through Bank の業務を代行して会員企業や地域のパートナーにパンを販売して、災害支援ネットワークの形成に寄与している。

* Helpan171 のしくみ



災害備蓄パンの賞味期限は製造から 5 年。 1 口なら 1 年あたり 2,200 円 10 口なら 1 年あたり 22,000 円 の協賛で、いざという時の備えと被災者支援 という社会貢献活動に参加できる。	パートナー協賛費 令和 5 年 9 月 1 日より下記の価格に改定		
	1 口	40 個	11,000 円(税別)
	5 口	200 個	55,000 円(税別)
	10 口	400 個	110,000 円(税別)
実績：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日現在			
購入事業者数 (パートナー数)	4 社	購入口数	22 口
<今後の展開> 地域防災力向上のため、当該パンの備蓄推進は継続するが、パンに限らず、既に食料備蓄され、賞味期限が迫る備蓄品の有効利用を促す。令和 5 年度は、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震への支援として、会議所備蓄分から 2 箱を供出した。			

2 技術技能の普及検定等

(1) 珠算・暗算検定

ア 珠算検定（日本商工会議所主催、会場：大府商工会議所会館）

回 次	年 月 日		1 級	2 級	3 級	合 計
第228回	5. 6. 25	受験者数	11	8	19	38
		合格者数	1	3	16	20
第229回	5. 10. 22	受験者数	15	7	16	38
		合格者数	4	0	13	17
第230回	6. 2. 11	受験者数	13	11	15	39
		合格者数	5	5	10	20
合 計		受験者数	39	26	50	115
		合格者数	10	8	39	57

イ 暗算検定（日本珠算連盟主催、会場：大府商工会議所会館）

回 次	年 月 日		1 級	2 級	3 級	合 計
第64回	5. 6. 25	受験者数	4	1	18	23
		合格者数	3	1	16	20
第65回	5. 10. 22	受験者数	2	5	10	17
		合格者数	1	4	9	14
第66回	6. 2. 11	受験者数	3	7	5	15
		合格者数	1	5	4	10
合 計		受験者数	9	13	33	55
		合格者数	5	10	29	44

ウ 段位認定試験（日本珠算連盟主催、会場：大府商工会議所会館）

回 次	年 月 日		※珠算・暗算	珠算のみ	暗算のみ	合 計
第138回	5. 6. 25	受験者数	－	3	2	5
		昇段者数		－	1	1
第139回	5. 10. 22	受験者数	3	2	2	7
		昇段者数		1	3	4
第140回	6. 2. 11	受験者数	2	1	1	4
		昇段者数		2	1	3
合 計		受験者数	5	6	5	16
		昇段者数		3	5	8

※珠算・暗算受験者の昇段者は珠算のみ・暗算のみに表記

エ そろばん競技大会

第76回全知多珠算競技大会（2支部合同）－2023年全国そろばんコンクール－

開催日	参加者	開催場所	競技部門	主催
5. 11. 23	83名	半田商工会議所	・個人総合競技 小学生学年別5部門 中学生部門 ・団体競技 3部門	半田商工会議所 大府商工会議所 日本珠算連盟半田支部 日本珠算連盟大府支部

オ 珠算ボランティア講師派遣

派遣制度の背景	内 容	対 象	派 遣 講 師
・子供たちの計算能力の低下傾向 ・小学校のそろばん授業の時間の削減 ・そろばん技能習得教師の減少	・珠算界上部組織団体から全国各地の小学校に毎年副読本贈呈 ・学校側の要請があれば、珠算塾の先生が授業を支援 ・平成15年度からスタート ・令和3年度よりオンライン形式のボランティアを実施	市内小学校 3年生 5年度は9校から要請有り	日本珠算連盟大府支部会員の珠算塾の先生で、上部組織主催の講師派遣講習受講者

令和5年度の講師派遣実績

学 校 名	派 遣 日	講師数	授業時間数	学校側評価
大 府 小 学 校	R5. 12. 12	3	4クラス 各2時間	各学校とも極めて好評であり、次年度も継続要請がある。
共 長 小 学 校	R5. 12. 19	2	4クラス 各2時間	
石ヶ瀬小 学 校	R6. 1. 16	3	5クラス 各2時間	
北 山 小 学 校	R6. 1. 31	2	4クラス 各2時間	
神 田 小 学 校	R6. 3. 4	2	3クラス 各2時間	
共和西小 学 校	R6. 3. 5・7	2	4クラス 各2時間	
東 山 小 学 校	R6. 3. 6	2	3クラス 各2時間	
大 東 小 学 校	R6. 3. 12	2	2クラス 各2時間	
吉 田 小 学 校	R6. 3. 13	2	2クラス 各2時間	

(2) 簿記検定（日本商工会議所主催、会場：大府商工会議所会館）

回 次	年 月 日		1 級	2 級	3 級	合 計
第164回	5. 6. 11	受験者数	12	22	45	79
		合格者数	0	3	15	18
第165回	5. 11. 19	受験者数	19	17	39	75
		合格者数	2	3	10	15
第166回	6. 2. 25	受験者数	-	14	39	53
		合格者数	-	3	19	22
合 計		受験者数	31	53	123	207
		合格者数	2	9	44	55

今後の展開・改善点等	今年度から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、受験枠を戻して開催することができた。 ただ、令和元年度に開始した随時受験可能なネット試験に受験者が流れているのか、受験者数が伸び悩んでいる。
------------	---

3 受託事業

容器包装リサイクル再委託業務

業 務 概 要	(公財)日本容器包装リサイクル協会と委託契約を締結している日本商工会議所と再委託業務契約を締結し、容器包装リサイクル法完全施行に伴って再商品化義務を担う事業者(特定事業者)からの申込書、契約書の受付登録業務を行っている。
申込受付件数	1件
特定事業者候補	20事業所

4 庶務（指導検査・表彰・受賞・慶弔その他）

（１）指導検査

小規模事業経営支援事業費補助金

年 月 日	出席数	開 催 場 所	内 容 等
5. 11. 8	14 名	大府商工会議所 2 階会議室	令和 5 年度小規模事業経営支援事業費補助金等 指導検査 愛知県知多県民事務所産業労働課 4 名 専務理事始め中小企業相談所職員 10 名

（２）表彰・受賞

表彰

年 月 日	内 容	備 考
5. 4. 19	大府商工会議所青年部卒部者 感謝状	卒部者 5 名
5. 5. 23	令和 5 年度優良従業員表彰	功労者表彰 16 名 永年勤続者表彰 32 名
5. 6. 17	第 47 回大倉公園つつじまつり「写生大会」会頭賞	児童・一般各 1 名
6. 3. 22	日本珠算連盟大府支部優良生徒表彰	小・中学生 46 名

（３）慶弔その他

弔慰	病氣見舞	災害見舞	慶祝・受賞
5 件	3 件	1 件	1 件

（４）証明・鑑定・検査

貿易関係証明

項 目	件 数	項 目	件 数
原産地証明	112	サイン証明	29
インボイス証明	0	その他の証明	0

今後の展開・ 改善点等	令和 5 年 10 月より貿易関係証明発給システムを利用し、オンライン発給対応を開始。 サイナー職員と内容確認及び発給にかかる知識や最新情報の共有化を図り、より円滑な発給を目指す。
----------------	---

鑑 定 該当事項なし

検 査 該当事項なし

信用調査 該当事項なし

5 登 録（法定台帳）

（１）法定台帳

- ①登録業者数 1,110 件
 ②照会方法 法定台帳記載用紙並びに依頼文、記入方法、商工会議所法の抜粋等を郵送
 ③運用状況 窓口相談・電話相談に対し商取引の照会・あっ旋等に積極的に活用

6 会館・事務所等（土地・建物・施設）

（１）土地 ア 所在地 大府市中央町五丁目 70 番地

イ 所有者 大府市

（２）建物 ア 所有者 大府市

イ 構 造 鉄骨造 3 階建 屋階 1 階

ウ 建築面積 351.87 m²

エ 延面積 993.84 m²

（３）施設

ア 各階床面積

（単位：m²）

階別	事務室	相談室	会頭応接室	会議室	ホール	ロビー	倉庫	その他	合 計
R 階								39.54	39.54
3 階				199.67		51.41	33.45	44.08	328.61
2 階	60.94			98.08	32.76		12.05	124.78	328.61
1 階	147.94	11.53	31.40	17.90	29.14			59.17	297.08
計	208.88	11.53	31.40	315.65	61.90	51.41	45.50	267.57	993.84

イ エレベーター 建築面積 13.97 m² 延面積 46.67 m²

ウ 施設等の内容

階 別	内 容
R 階	機械室、倉庫
3 階	大会議室、書類倉庫、器具収納庫、ロビー、WC、エレベーター
2 階	会議室 2、会議室 3、青年部女性会室、大府ライオンズクラブ事務室、大府ロータリークラブ事務室、消耗品倉庫、厨房、WC、エレベーター
1 階	事務室、会頭応接室、会議室 1、相談室、相談コーナー、印刷室、書架、更衣室、厨房、WC、エントランスホール、エレベーター

エ 会議室月別使用状況

月別 室名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
3 階 ホール	21	18	20	22	15	20	17	15	18	11	26	24	227
2 階 会議室 2	29	22	27	20	23	23	24	21	18	16	27	21	271
会議室 3	17	15	15	15	13	16	6	9	6	11	12	9	144
青年部女性会室	1	5	7	3	5	4	6	3	1	3	2	2	42
1 階 会議室 1	15	18	4	19	10	10	12	10	8	9	6	5	126
相 談 室	11	12	13	14	11	11	9	8	7	8	9	8	121
計	94	90	86	93	77	84	74	66	58	58	82	69	931

7 関係団体への加入及び連携

(1) 加入団体

ア 当商工会議所が連携している広域連合団体

日本商工会議所 愛知県商工会議所連合会 知多地域経済会議
知多地区商工会議所会議

イ 当商工会議所が事務委託や業務運営等の協力を行っている団体

半田法人会大府支部 大府ライオンズクラブ 大府ロータリークラブ
大府市観光協会 大府市雇用対策協議会 日本珠算連盟大府支部

ウ 当商工会議所が加入又は連携している団体及び組織

大府市国際交流協会	大府市安心安全推進協会
大府市社会福祉協議会	大府市防火危険物安全協会
大府市共同募金委員会	大府市循環バス運行協議会
大府市都市計画審議会	大府市産業文化まつり推進委員会
大府市防災会議	大府市国民健康保険運営協議会
大府市犯罪のないまちづくり推進協議会	大府市特別職報酬等審議会
大府市献血推進協議会	大府市環境審議会
大府市環境対策審議会	大府市文化協会
大府市子育て会議	ウェルネスバレー推進協議会
大府市地域福祉推進会議	大府市中小企業振興検討会
大府市産業振興懇談会	(公社) 大府市シルバー人材センター
刈谷職業安定所雇用対策推進協議会	愛知県産業立地推進協議会
武豊線利用促進協議会	名古屋環状2号線早期整備促進会議
(公社) 半田法人会	半田税務連絡協議会
中部国際空港を核とした知多地域振興協議会	半田税理士会
大府青年会議所	愛知県警察官友の会
大府市明るい選挙推進協議会	知多半島観光圏協議会
知多メディアネットワーク(株)	リニア中央新幹線建設促進経済団体協議会
愛知県中小企業共済協同組合	(一社) 内外情勢調査会
大府新江工業団地協同組合	(一社) 中部経済連合会
大府市鉄工団地協同組合	愛知県建設組合連合大府支部
大府中央通り商店街振興会	大府市共和商業協同組合
市役所前発展会	ベストウィズクラブ
(一財) 知多地区勤労者福祉サービスセンター	健康おおぶ21プラン推進会議
(公財) 日本電信電話ユーザ協会知多地区協会	株式会社まちづくり東海
ふるさとガイドおおぶ	花まるOBUプロジェクト
衣浦大橋整備促進期成同盟会	

8 新商工業活性化ビジョン（2019-2028）の事業評価

項 目		内 容	令和5年度 手 段・目 標	令和5年度の取組と評価	
				◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 14 ：目標をほぼ達成できた 40 ：目標は達成できなかった 7 ：事業を実施できなかった 0 合計61(再掲除く)
企業 の 経 営 基 盤 安 定 化 と 地 域 経 済 の 元 気 回 復	1 タイムリーかつ迅速な 情報提供	・ 国、県、市等の各種補助金、助成金等支援策 の迅速な情報提供	・ 会報・HP等にて周知を図るとともに、 必要に応じてセミナー・個別相談を実施 して個社支援に繋げる	○	・ インボイス制度に対する相談が多く、事業所から問合せがあり、職 員での対応に加え相談会も多く開催した。
	2 相談窓口の強化	・ 国、県、市等の各種補助金、助成金等の申請 支援 ・ 窓口・巡回相談の拡充(拡充) ・ インボイス制度への対応	・ 国の補助事業等の紹介や専門家による 個別相談を拡充して申請を支援 ・ 窓口・巡回相談を延べ1,800回実施し、 経営基盤強化を図る (ふるさと納税品発掘・開発、先端設備 導入計画申請支援)	◎	・ 8月に経営計画作成セミナーを開催。 チラシをリニューアルし、グーグルフォームを活用しQRコードでも 申し込みを可能とした。その結果、参加者は9名の参加があり、昨年 を上回った。受講者がその後、持続化補助金に挑戦するなど経営計 画作成のきっかけとなった。 ・ 事業計画支援に関しては、セミナーに参加していない事業者の個別 相談も多く、49回、173件の支援を行った。 R 5年度はインボイスに関する相談が非常に多く、相談窓口や勉強 会を設置して対応を行った。 インボイス登録による新規課税事業所に向けての勉強会を開き、消 費税申告に関しては、税理士の人数を増やすなど所要時間の対策を した。
	3 経営計画作成支援等の 拡充	・ ウイズコロナ、アフターコロナに対応した経 営計画書作成支援	・ 経営計画作成セミナー (目標：年2回、参加者数各10名)	◎	
	4 支援施策等の要請	・ 事業所の実態に沿った行政への要請	・ 市議会議員と当所(支部や部会等)との 意見交換の機会を設けとりまとめを実 施し、効果的な行政への要請を行う。	○	・ 市の事業・取組に対する要請(9月19日) ・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北 7/3) ・ 正副会頭と大府市議会親和クラブ(5月31日)、市民クラブ(2月19 日)との意見交換会の実施
	5 青年部・女性会の活動 支援	・ 地域を元気づけるイベントの開催 ・ 会員自身の資質向上を目指す研修会、交流を 深める事業の実施	(青年部・女性会共通) ・ 各種地域の祭りへの参加 ＜青年部＞ ・ 産文まつりでの職業体験会、地域活性 化事業、研修会、交流会の実施 献血活動の実施 ＜女性会＞ ・ 研修会、他女性会との交流会の実施	○	(青年部) ・ 初めてのe-スポーツ大会や久しぶりに地域の実情を学ぶ研修会を開 催した。例年よりも定例事業の改善を図るよう努めた結果、改善す る「姿勢」を身に着けることができた。 (女性会) ・ 三河商工会議所女性会サミット幹事として、講演会・グループワー クを開催し、三河地区商工会議所10単会63名が参加。自己研鑽に励 んだ。交流会も開催し、大府市観光、特産品等のPRや情報交換を実 施。 組織づくりとして、事業担当委員会の開催により、会員全体で事業 を実施することが更に推進された。 市主催事業や、地域の事業にも積極的に協力した。
	6 地域経済の活性化支援	・ プレミアム商品券発行 ・ 新たな販売方法の検討	・ 市と調整のえう、商品券発行事業を実 施。 ・ 大府駅西金曜マルシェ等キッチンカー 事業の発展的運用 ・ 移動販売者の有効活用 (目標：利用事業所10件)	◎	・ 42,000シート発行・総額2億5,200万円(プレミアム4,200万円) ・ 商品券参加事業所 343件 ・ ハガキ申込1,545件・5,967枚、Web申込10,457件・40,815枚の合計 12,002件・46,782枚の申込みを受付し、減シートによる抽選を実施、 当選通知を発送、9月2日～15日まで商工会議所にて引換販売を実 施した。引換されなかった残シート約1,100枚を9月17日に2次販売 (先着順)し、42,000シート全てを完売 ・ 移動販売車を会員企業等に無料で貸し出し、新商品の販売や販路拡 大に繋げた。(4事業所へ延8回貸出) ・ 毎週金曜日、大府駅西口にてキッチンカーによる新たな販売の取り 組みを実施。市内27店舗が協力
「持 続 可 能 な も の の づ くり 集 積 地」 の 形 成	1 小規模事業者の経営計 画策定支援	・ 小規模事業者の持続的発展に繋がる経営計画 策定支援(再掲)	・ 経営計画作成セミナー (目標：年2回、参加者数各10名) (再掲)	○	・ 事業環境変化対応各種支援策申請サポート個別相談を実施し、補助 金など申請に対応(49回開催、延相談件数173件) 8月に経営計画作成セミナーを開催。 ・ チラシをリニューアルし、グーグルフォームを活用しQRコードでも 申し込みを可能とした。その結果、参加者は8月実績のみで9名の参 加があり、昨年を上回った。受講者がその後、持続化補助金に挑戦 するなど経営計画作成のきっかけとなった。(再掲)
	2 攻めのIT活用	・ 生産性向上に繋げる生産現場のIT・IoT 化支援	・ 生産性向上を目標に企業の意向調査を 行いその結果に基づき支援 (DX推進や新技術導入支援等)を実施 する ・ IT活用による生産性向上セミナー等を開 催、実業・実態との課題抽出	○	・ 「エクセルセミナー」を実施、また知多メディアスとの共催により 「DX個別相談会」を行い、市内企業のIT化推進に努めた。 ・ 大府ビジネスカレッジにて、「WEB・SNSでお客様の心をつか め!ネットマーケティング術」を実施し、IT活用の為に必要な知識 を習得する機会を提供(参加者11名)
		・ 付加価値や生産性の向上を図る補助金の活用 支援(ものづくり補助金、持続化補助金他)	・ 各都府の支援事業を把握したうえで、 周知を図り、個社の付加価値や生産性 向上を図る事業化を支援 (目標：持続化補助金他40件)	○	・ 小規模事業者持続化補助金申請支援 37件 ・ ものづくり補助金申請支援 2件 ・ 大府市省エネルギー設備導入支援事業費補助金申請支援 3件 大府市がんばる事業者応援補助金申請支援 4件 先端設備等導入計画 2件
		・ ITリテラシー習得セミナーの実施	・ 現場支援のためのIT習得セミナーを実 施 ・ 高度な内容については、専門家及び関 係支援機関と連携した支援を実施	○	・ 「ChatGPT」セミナーを実施(参加者：27名) ・ エクセルセミナーを実施(参加者：11名) ・ 知多メディアネットワーク㈱と共催し、個別相談会を実施したが 参加者はいなかった。 成果を上げるHP改善勉強会の実施(5/11_6名、7/20_13名) 成果を上げるためのHP・SNS活用勉強会(9/22_11名、11/22_9 名) Googleビジネスプロフィール活用勉強会(1/18_6名、3/21_3名)
		・ 経営セミナー無料配信サービスの拡充	・ 社会経済情勢に対応した多様なコンテ ントを盛り込んだWebセミナーを配 信し活用を促す。	○	・ 「一般経営」「研修・人材育成」「労務」「税務・経理」「実務 家」など多様な約1,000のオンデマンドセミナーの無料配信を実施。 アクセス数1,694

項 目		内 容	令和5年度 手 段・目 標	令和5年度の取組と評価	
				◎	○ △ ×
				: 目標を上回って達成できた 14 : 目標をほぼ達成できた 40 : 目標は達成できなかった 7 : 事業を実施できなかった 0 合計61(再掲除く)	
「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現	2 職場環境の健康を推進	・ 働き方改革関連法の周知と対応相談	・ 愛知働き方改革推進支援センターとの連携による情報提供・相談窓口の紹介(会報・HP等で周知)	○	・ 働き方改革推進支援センターについて会報折込にて周知した。
		・ 中小・小規模事業者向け定期健康診断の実施	・ 中京サテライトクリニックによる集団検診(目標:年2回、受診者340名)	◎	・ 10/10、11/30の2回実施 受診者382名
	3 持続可能な事業所経営の推進	・ 的確な支援のための実態調査とニーズ把握	・ 会員アンケートの実施による管内事業者の現状・支援ニーズの把握	○	・ 5年以内未接触事業所と接触し、各種支援策、共済等の紹介をする と共に事業所のニーズ把握に努めた。 ・ R5、7月会員ニーズ調査を実施し、課題解決のため各種事業を展開
		・ 経営発達支援計画に基づいた小規模事業者等への段階的な支援(再掲)	・ 経営計画作成セミナー(目標:年2回、参加者数各10名)	○	・ 事業環境変化対応各種支援策申請サポート個別相談を実施し、補助金など申請に対応(49回開催、延相談件数173件)(再掲)
		・ 経営革新申請、ものづくり補助金申請事業所の発掘	・ コーディネーターと連携した管内事業者の掘り起こし・相談対応(目標:20件)	◎	・ 経営革新1件、持続化補助金37件、ものづくり補助金2件(再掲)
	4 人材確保、定着、育成支援	・ 求人ポータルサイトに会員事業所の求人の直接支援を実施	・ 専門家と同行し求人の直接支援を行う(目標:15件)	◎	・ 働き方改革推進助成金を活用し、indeedと紐づけ可能な求人ポータルサイトを作成。専門家と同行し会員事業所の直接支援を実施(12件)
		・ オンライン対応の採用活動(合同説明会・面接)支援	・ 雇対協と協力してオンラインでの採用活動に必要な環境設備及び見せ方の工夫等を学ぶセミナーの実施	△	・ 雇対協と連携し、採用力強化セミナーを実施した。
		・ 雇用対策協議会、知多地域学生就職情報センター、産業雇用安定センター、ポリテクセンターと連携した人材確保支援	・ 雇対協就職イベントの協力	○	・ 雇対協に協力し、大学・高校の就活状況のヒアリング、就職フェア(3回)、刈谷工科高校での会社説明会を実施した。
		・ 中核人材育成のためのセミナーを企画	・ 大府ビジネスカレッジの開催	○	・ リアル形式にて、感染症対策をしながら実施することが出来た。(延4回、延59名参加)
		・ ハローワークや市と連携した中途・キャリア人材向け就職説明会の開催	・ 雇対協就職イベントの協力	○	・ 雇対協に協力し、大学・高校の就活状況のヒアリング、企業見学会、就職フェア(3回)を実施した。 ・ 刈谷市と合同で就職フェアを実施した。
		・ 女性、シニア、外国人の活用支援	・ 女性の活躍促進宣言・あいち女性輝きカンパニーの普及(目標:5社)	◎	・ 優れた女性経営者を表彰する「中経トバズ賞」を会員企業が受賞 ・ あいち女性輝きカンパニー今年度9社、延べ31社
		・ インターンシップ促進に向けた調査	・ 会員で実施している企業への聞き取り	○	・ 豊橋技科学大学と連携したインターンシップを周知し、市内3社、市外1社にて実施(1/5-2/22)
		・ 優良従業員表彰の実施	・ 優良従業員表彰受賞者 功労者表彰表彰20名永年勤続表彰40名	○	・ 功労者表彰表彰16名・永年勤続表彰32名を表彰
		・ 簿記・珠算検定試験の実施	・ ホームページや会報にて周知し受験者数を確保 (目標:簿記検定 1級8名・2級36名・3級36名/回、珠算検定 1級7名・2級10名・3級10名/回)	○	・ 簿記検定においては、令和3年度から受験申込受付をインターネットのみに変更したことにより、受験者および職員の新型コロナウイルス感染リスク軽減・事務負担の軽減につながった。 ・ 5年度から、感染症対策ガイドラインが緩和され、定員数をコロナ禍以前に戻すことができた。 簿記 延3回 207名 珠算等 延3回 186名
		・ 創業・第二創業・事業承継の促進(再掲)	・ 実践創業塾や創業個別相談会等を開催して、創業者への助言・指導を積極的に実施する。 ・ 事業承継を考えている会員事業所に大府市・刈谷市共同開催の「事業承継・個別相談会」を紹介、活用する。	○	・ 実践創業塾(申込者21名、参加者19名、全講座出席者11名) ・ 創業個別相談会(令和5年10月から12月まで月1回・計3回実施。延相談者数6名) ・ 事業承継相談窓口を設置(大府市・刈谷市・大府商工会議所・刈谷商工会議所)愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し毎月1回大府市・刈谷市輪番にて実施(令和5年度実績16件:内大府市内事業所6件)(再掲)
	1 都市ビジョンの共有	・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み	・ 行政と連携した都市ビジョンの具体化 ・ 支部、市議会との懇談会による意見交換の実施	○	・ 市の事業・取組に対する要請(9月19日) ・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3) ・ 正副会頭と大府市議会親和クラブ(5月31日)、市民クラブ(2月19日)との意見交換会の実施(再掲)
		・ 地域開発委員会での検討	・ 当地域として参考となる先進事例を学ぶ勉強会、現地視察などを実施	○	・ 市内道路事情調査実施に向け地域開発委員会を開催。道路整備の改善点・現状の問題点を把握し、行政への要請活動等に反映する為、市内企業等に道路インフラ整備に関するアンケート調査を実施
		・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換の実施 ・ 本支部連絡会議の開催(1~2回)	◎	・ 各支部懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3) ・ 幹部会議の開催(1回) 8/4 ・ 本支部連絡会議の開催(1回) 10/13

項 目	内 容	令和5年度 手 段・目 標	令和5年度の取組と評価	
			◎	○
			△	×
			: 目標を上回って達成できた 14 : 目標をほぼ達成できた 40 : 目標は達成できなかった 7 : 事業を実施できなかった 0 合計61(再掲除く)	
「持続可能なまちづくり」の推進	2 ハード・ソフトインフラの整備に向けた検討	・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み(再掲)	・ 市との事業・取組に対する要請(9月19日)	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)
		・ 行政への提言・要請(再掲)	・ 市との事業・取組に対する要請(9月19日)	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)
		・ 都市基盤の現状整理と評価	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)	・ 正副会頭と大府市議会親和クラブ(5月31日)、市民クラブ(2月19日)との意見交換会の実施(再掲)
	3 まちのにぎわい創出	・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 市との事業・取組に対する要請(9月19日)	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)(再掲)
		・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み(再掲)	・ 市との事業・取組に対する要請(9月19日)	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)
		・ 6次産業化の調査研究(ぶどうビール、オリブオイル、納豆、木の山芋等)	・ 逸品活動(IPPIN-LABO)にて、ぶどうビール及び地域の伝統野菜である「木の山芋」を使用した食事を新たに開発	・ 周知・販売を行い地域産品の情報発信に努めた。
		・ 支部事業強化による交流事業の充実	・ 各支部会員交流事業を実施	
		・ 青年部・女性会・支部・観光協会・その他関係団体等と連携した"にぎわい"創出事業	・ (青年部)	・ 市内初となるe-スポーツ大会を開催した。また、職業体験において
		・ 文化芸術イベントの開催	・ (女性会)	・ つつじまつり、夏まつり、産業文化まつり、盆梅展等、積極的に事業協力し、にぎわいの一助となった。また、三河地区商工会議所女性会サミットにて、大府市観光、特産品等のPRに努めた。
		・ ウェルネスバレー・ヘルスケア産業の創出	・ おおぶ駅前夜市にてバイオリンイベントを開催(9/9)	
		・ 「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」実施による新たな観光資源の磨き上げ	・ ブランド認定2件	・ ウェルネスバレーヘルスケア産業振興WGに参加。医療、福祉施設と意見交換を行い、ニーズの把握に努めた。
		・ 「バイオリンの街大府」実施による観光資源としての磨き上げ	・ おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベントの開催	・ おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベント(3/18-4/9)の開催、花めぐりウォーキング(4/1)の開催。同時期にデジタルスタンブラリー(3/10~4/9)を実施し542名の参加を得た。
		・ 夏まつり等地域イベントへの積極的関与	・ バイオリン秋イベントの開催	・ おおぶ駅前夜市(9/9)、きょうわバイオリン夜市(11/3)、「バイオリン／フィドル音楽の休日2023」(11/4、5)の開催
		・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 夏まつりの順調な企画・運営	・ 大府夏まつりの持続的開催に向け、運営見直し等の支援を実施
		・ 環境に配慮した経営の支援(再掲)	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲)	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)(再掲)
		・ SDGsカードゲーム、セミナーの開催による周知と個別支援(目標:5社)	・ 本支部連絡会議の開催(1~2回)(再掲)	・ 本支部連絡会議の開催(1回)10/13(再掲)
		・ 積極的に取り組む事業所の掘り起しと会報等によるPR(目標:3社)(再掲)		
商工会議所基盤強化	1 事業・サービスの満足度向上	・ 会員メリットの見える化による会員満足度向上(目標:3回)	・ 会員交流会を実施(7/11)	・ 支部イベントと共催で交流会を実施(9/9、11/3)
		・ メディア掲載数拡大に向けたプレスリリースの質的向上及び当所広報強化	・ 記事掲載件数24件(令和5年12月18日現在)	・ 情報交換会開催(令和5年8月10日)
		・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 正副会頭とマスメディアの懇談会(令和5年10月24日)	
		・ 現場主義、双方向主義の徹底	・ 各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・吉森6/29、共長・横北7/3)(再掲)	・ 本支部連絡会議の開催(1回)10/13(再掲)
		・ 巡回・窓口相談での事業者ニーズの掘り起こし	・ 5年以内未接触事業所と接触し、各種支援策、共済等の紹介をする	・ と共に事業所のニーズ把握に努めた。
		・ 会議所活動の見える化による会議所利用促進	・ R5年7月会員ニーズ調査を実施し課題解決のため各種事業を展開した。	・ 新規加入事業所への訪問を実施
		・ ホームページ更新・SNSや会議所案内パンフレットの活用	・ HPやSNS、会議所案内にて会議所の利用促進を図った。	

令和5年度

収 支 決 算 書

令和5年度 収支決算総括表

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

(単位 : 円)

会 計 区 分		収入決算額 内 (前期繰越金)	支出決算額	次期繰越金
1	一般会計	123,965,727 (19,873,559)	104,445,860	19,519,867
2	中小企業相談所特別会計	90,049,888 (7,394,530)	85,135,908	4,913,980
3	共済事業特別会計	28,822,952 (1,169,139)	26,339,717	2,483,235
4	労働保険事務組合一般会計	11,951,534 (1,837,913)	8,873,940	3,077,594
5	特定退職金共済事業特別会計	12,086,753 (301,053)	11,616,044	470,709
6	商品券事業特別会計	256,738,910 (0)	256,738,910	0
事業会計合計		523,615,764 (30,576,194)	493,150,379	30,465,385
1	財政調整資金積立金特別会計	208,046,838 (208,000,975)	0	208,046,838
2	退職給与資金積立金特別会計	88,669,188 (81,931,392)	1,204,800	87,464,388
積立金会計合計		296,716,026 (289,932,367)	1,204,800	295,511,226
1	労働保険事務組合労働保険料特別会計	90,182,882 (0)	90,182,882	0
合 計		910,514,672 (320,508,561)	584,538,061	325,976,611

令和5年度 一般会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 会費		58,469,000	58,280,000	189,000	
	1. 一般会費	39,689,000	39,500,000	189,000	過年度会費 4,000
	2. 特別会費	18,780,000	18,780,000	0	役員・議員特別会費
2. 加入金		85,000	100,000	△ 15,000	
	1. 加入金	85,000	100,000	△ 15,000	
3. 事業収入		9,063,944	9,270,000	△ 206,056	
	1. 事業賦課金	3,642,109	4,140,000	△ 497,891	1. 役員研修参加負担金 20,000円(預り金処理) 0 2. 部会研修参加負担金 4部会 48,000 3. 講習会等参加負担金 げんき商店街参加負担金 753,909 大府ビジネスカレッジ参加負担金 73,900 ビジネスセミナー参加負担金 110,000 生産性向上支援セミナー参加負担金 0 4. その他事業負担金 優良従業員表彰、議員懇談会等 96,000 5. 産業文化まつり出展者負担金 2,162,800 6. 新年賀詞交歓会参加負担金 2,500円×159名 397,500
	2. 検定事業収入	1,019,515	1,000,000	19,515	珠算、簿記
	3. 広告料収入	2,354,000	2,100,000	254,000	会報・チラシ・封筒広告料
	4. 手数料収入	2,048,320	2,030,000	18,320	1. 団体事務代行手数料 1,750,000 大府ライオンズクラブ 大府ロータリークラブ 半田法人会大府支部 2. その他 リサイクル業務受託、Helpan等 298,320
4. 交付金		16,257,451	18,083,000	△ 1,825,549	
	1. 補助金	14,244,451	15,083,000	△ 838,549	1. 小規模育成指導費補助金(市) 6,283,000 2. 産業文化まつり交付金(市) 2,500,000 3. げんき商店街推進事業費補助金(県・市) 2,461,451 4. あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金(県) 3,000,000
	2. 助成金	2,013,000	3,000,000	△ 987,000	「働き方改革推進支援助成金」団体推進コース(国) 2,013,000
5. 雑収入		297,181	171,000	126,181	
	1. 預金利子	373	1,000	△ 627	
	2. 雑収入	296,808	170,000	126,808	
6. 繰入金		19,919,592	18,000,000	1,919,592	
	1. 共済事業特別会計繰入金	17,000,000	17,000,000	0	
	2. 労働保険事務組合一般会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
	3. 商品券事業特別会計繰入金	1,919,592	0	1,919,592	
7. 繰越金		19,873,559	19,300,000	573,559	
	1. 繰越金	19,873,559	19,300,000	573,559	前期繰越金
合 計		123,965,727	123,204,000	761,727	

支出の部

(単位:円)

勘定科目			決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項	目				
1. 事業費	1. 一般事業費		37,339,434	46,900,000	△ 9,560,566	
		1. 企画調整費	4,651,703	6,100,000	△ 1,448,297	1. 商工業活性化ビジョン推進費 865,035 2. 役員研修事業費 508,028 3. 地域振興費 1,230,000 4. 支部活動費 1,896,640 5. 会員加入勧奨推進費 152,000
		2. 調査広報費	5,662,946	6,160,000	△ 497,054	1. 会報発刊費 3,154,850 2. 情報資料配布費 2,508,096
		3. 商工業振興費	5,890,563	7,150,000	△ 1,259,437	1. 部会・委員会活動費 346,378 2. 部会調査研究費 196,500 3. 検定事業費 246,851 4. 住宅修繕相談事業費 281,230 5. 法定台帳整備費 98,062 6. ビジネスマッチング事業費 115,000 7. 産学官連携推進事業費 624,000 8. 橋本実践塾(職場の改善)事業費 3,816,968 9. 大府ビジネスカレッジ(旧社会人学舎) 120,840 10. 防災事業費 769 11. 会員交流会事業費 19,765 12. 生産性向上支援セミナー事業費 24,200
		4. 労務対策費	764,828	1,490,000	△ 725,172	1. ゴルフ委員会関係費 30,984 2. 優良従業員表彰事業費 346,644 3. 健康経営推進事業費 359,120 4. ビジネスセミナー事業費 28,080
		5. 情報化対策費	2,682,288	5,000,000	△ 2,317,712	所内情報環境整備
		6. 産業文化まつり事業費	5,036,736	5,600,000	△ 563,264	産業文化まつり設営費、イベント費、運営管理費
		7. 青年部・女性会活動費	2,400,000	2,400,000	0	
		8. げんき商店街推進事業費	4,922,902	6,100,000	△ 1,177,098	ふれあいゼミナール、逸品運動、あきんど塾
		9. まちづくり検討事業費	15,860	600,000	△ 584,140	
		10. 花めぐり事業費	3,298,608	3,300,000	△ 1,392	
		11. 働き方改革推進支援事業費	2,013,000	3,000,000	△ 987,000	
2. 管理費			51,459,123	56,500,000	△ 5,040,877	
	1. 給与費		23,761,236	25,350,000	△ 1,588,764	
		1. 給料	16,718,680	16,550,000	168,680	4名
		2. 諸手当	2,254,024	2,100,000	154,024	地域手当、通勤手当、管理職手当、扶養手当、住居手当
		3. 期末勤勉手当	4,700,982	4,600,000	100,982	
		4. その他人件費	87,550	2,100,000	△ 2,012,450	
	2. 時間外勤務手当		991,925	2,000,000	△ 1,008,075	
		1. 時間外勤務手当	991,925	2,000,000	△ 1,008,075	
	3. 福利厚生費		4,892,844	5,000,000	△ 107,156	
		1. 福利厚生費	3,893,232	4,000,000	△ 106,768	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、子ども子育て手当拠出金等
		2. 福祉費	999,612	1,000,000	△ 388	職員厚生費
	4. 旅費交通費		643,530	500,000	143,530	
		1. 旅費交通費	643,530	500,000	143,530	
	5. 事務費		13,907,905	15,700,000	△ 1,792,095	
		1. 事務費	3,755,214	4,800,000	△ 1,044,786	消耗品費、通信運搬費、什器備品費、賃貸料、振替手数料、印刷費
		2. 車両費	1,179,733	1,000,000	179,733	車検費用、維持管理費、燃料費
		3. 家屋費	8,972,958	9,900,000	△ 927,042	1. 光熱用水費 1,895,625 2. 会館維持管理費 1,394,680 3. 環境整備費 696,884 4. 会館賃借料 4,985,769

支出の部

(単位:円)

勘定科目			決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項	目				
	6. 会議費		1,462,187	2,000,000	△ 537,813	
		1. 会議費	1,462,187	2,000,000	△ 537,813	議員総会、常議員会、新年賀詞、その他会議費
	7. 渉外費		1,040,496	900,000	140,496	
		1. 渉外費	1,040,496	900,000	140,496	祝儀、慶弔費
	8. 公課分担金		4,759,000	5,050,000	△ 291,000	
		1. 公課	2,457,900	2,600,000	△ 142,100	
		2. 分担金	2,301,100	2,450,000	△ 148,900	1. 日本商工会議所 1,479,000 2. その他関係団体 765,600 3. 職員研修負担金 56,500
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金		15,647,303	15,900,000	△ 252,697	
		1. 中小企業相談所特別会計繰出金	12,000,000	12,000,000	0	
		2. 商品券事業特別会計繰出金	2,255,159	2,500,000	△ 244,841	
		3. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	1,392,144	1,400,000	△ 7,856	
4. その他支出			0	2,000	△ 2,000	
	1. 借入金返済等支出		0	1,000	△ 1,000	
	2. 出資金		0	1,000	△ 1,000	
5. 予備費	1. 予備費		0	3,902,000	△ 3,902,000	
		1. 予備費	0	3,902,000	△ 3,902,000	
合 計			104,445,860	123,204,000	△ 18,758,140	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備 考
123,965,727	104,445,860	19,519,867	次期繰越金

令和5年度 中小企業相談所特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘 定 科 目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業収入		14,753,425	16,230,000	△ 1,476,575	
	1. 事業賦課金	0	460,000	△ 460,000	1. 講習会等参加負担金 0 2. 創業支援事業負担金(東浦町商工会) 0
	2. 手数料	8,099,025	7,740,000	359,025	1. 記帳機械化指導手数料 指導対象 92企業 7,591,100 2. 小規模企業共済等手数料 507,925
	3. 受託料	6,654,400	8,030,000	△ 1,375,600	1. 日商等事業受託料(国) 3,847,800 2. 小規模事業者持続化補助金受託料(国) 187,000 3. 伴走型小規模事業者支援推進事業受託料(国) 2,619,600
2. 交付金		55,901,933	53,420,000	2,481,933	
	1. 県補助金	41,481,933	39,000,000	2,481,933	小規模事業経営支援事業費補助金
	2. 市補助金	11,920,000	11,920,000	0	経営改善普及事業費補助金
	3. 助成金	2,500,000	2,500,000	0	創業等支援事業費助成金
3. 雑収入		0	1,000	△ 1,000	
	1. 雑収入	0	1,000	△ 1,000	
4. 繰入金		12,000,000	12,000,000	0	
	1. 一般会計 繰入金	12,000,000	12,000,000	0	
5. 繰越金		7,394,530	7,900,000	△ 505,470	
	1. 前期繰越金	7,394,530	7,900,000	△ 505,470	
合 計		90,049,888	89,551,000	498,888	

支出の部

(単位:円)

勘 定 科 目			決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項	目				
1. 事業費	1. 事業費		34,793,148	38,000,000	△ 3,206,852	
		1. 指導事業費	21,328,870	24,400,000	△ 3,071,130	1. 講習会開催費 461,664 2. 金融指導事務費 1,828 3. 記帳機械化指導事務費 426,309 4. 記帳指導職員設置費 13,436,807 5. 日商等委託事業費 3,498,000 6. 創業支援事業費 4,662 7. 伴走型小規模事業者支援推進事業費 2,619,600 8. 若手後継者等育成事業費 880,000
		2. 資質向上対策事業費	205,622	300,000	△ 94,378	中小企業大学校研修費
		3. 特別研究指導費	720,000	600,000	120,000	
		4. 事務局長等設置費	9,758,900	9,700,000	58,900	
		5. 中小企業支援センター設置事業費	2,779,756	3,000,000	△ 220,244	
2. 管理費			45,811,116	46,382,000	△ 570,884	
	1. 給与費		37,056,662	37,350,000	△ 293,338	
		1. 給料	23,701,200	24,000,000	△ 298,800	補助対象職員 6名
		2. 諸手当	3,353,412	3,350,000	3,412	〃 扶養手当、地域手当、管理職手当 〃 通勤手当、住居手当
		3. 期末勤勉手当	10,002,050	10,000,000	2,050	〃 期末・勤勉手当
	2. 時間外勤務手当		616,438	1,000,000	△ 383,562	
		1. 時間外勤務手当	616,438	1,000,000	△ 383,562	
	3. 福利厚生費		6,344,844	6,210,000	134,844	
		1. 健康保険料	2,198,076	2,150,000	48,076	補助対象職員6名
		2. 厚生年金保険料	3,514,151	3,500,000	14,151	〃
		3. 雇用保険料	371,197	300,000	71,197	〃
		4. 労災保険料	123,162	120,000	3,162	〃
		5. 子ども・子育て拠出金	138,258	140,000	△ 1,742	〃
	4. 旅費交通費		66,950	272,000	△ 205,050	
		1. 指導旅費	24,790	200,000	△ 175,210	
		2. 研修旅費	42,160	70,000	△ 27,840	
		3. 会議所基礎研修出席旅費	0	2,000	△ 2,000	
	5. 事務費		1,674,222	1,500,000	174,222	
		1. 指導事務費	1,674,222	1,500,000	174,222	消耗品費、通信運搬費、図書費、賃貸料、什器備品等
	6. 公課分担金		52,000	50,000	2,000	
		1. 分担金	52,000	50,000	2,000	関係団体負担金
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金		4,531,644	4,500,000	31,644	
		1. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	4,531,644	4,500,000	31,644	
4. 予備費	1. 予備費		0	669,000	△ 669,000	
		1. 予備費	0	669,000	△ 669,000	
合 計			85,135,908	89,551,000	△ 4,415,092	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備 考
90,049,888	85,135,908	4,913,980	次期繰越金

令和5年度 共済事業特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 手数料		27,553,813	28,220,000	△ 666,187	
	1. 取扱手数料	27,553,813	28,220,000	△ 666,187	1. 中小企業共済 3,277,098 2. 風車共済 17,132,751 3. 大型・総合・アクセス・風車等事務手数料 5,264,307 4. 業務災害補償プラン・ビジネス総合保険等 1,879,657
2. 雑収入		100,000	1,000	99,000	
	1. 雑収入	100,000	1,000	99,000	
3. 繰越金		1,169,139	600,000	569,139	
	1. 繰越金	1,169,139	600,000	569,139	
合 計		28,822,952	28,821,000	1,952	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業費		780,659	1,110,000	△ 329,341	
	1. 事業推進費	21,659	210,000	△ 188,341	共済事業キャンペーン費
	2. 支部活動費	759,000	900,000	△ 141,000	
2. 給付金		1,959,000	3,500,000	△ 1,541,000	
	1. 見舞金等 給付金	1,959,000	3,500,000	△ 1,541,000	風車共済見舞金、祝い金、定期健康診断補助
3. 給与費		4,545,054	4,450,000	95,054	
	1. 給料	2,871,024	2,800,000	71,024	1名
	2. 諸手当	478,600	500,000	△ 21,400	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,195,430	1,150,000	45,430	同上 期末・勤勉手当
4. 時間外手当		16,497	200,000	△ 183,503	
	1. 時間外勤務手当	16,497	200,000	△ 183,503	
5. 福利厚生費		762,131	760,000	2,131	
	1. 福利厚生費	762,131	760,000	2,131	同上 社会保険料等
6. 管理費		903,692	1,170,000	△ 266,308	
	1. 支払手数料	602,811	700,000	△ 97,189	口座振替手数料 運営手数料等
	2. 旅費交通費	77,030	120,000	△ 42,970	
	3. 事務諸費	205,351	300,000	△ 94,649	ベストウィズクラブ会費
	4. 会議費	18,500	50,000	△ 31,500	
7. 繰出金		17,372,684	17,400,000	△ 27,316	
	1. 一般会計繰出金	17,000,000	17,000,000	0	
	2. 退職給与資金 積立金特別会 計繰出金	372,684	400,000	△ 27,316	
8. 予備費		0	231,000	△ 231,000	
	1. 予備費	0	231,000	△ 231,000	
合 計		26,339,717	28,821,000	△ 2,481,283	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備考
28,822,952	26,339,717	2,483,235	次期繰越金

令和5年度 労働保険事務組合一般会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業収入		6,898,591	4,500,000	2,398,591	
	1. 事務手数料	6,898,591	4,500,000	2,398,591	397件(一人親方80件含む)
2. 交付金		3,215,030	2,902,000	313,030	
	1. 報奨金	3,213,600	2,900,000	313,600	労働保険事務組合報奨金(愛知労働局)
	2. 適用促進活動費	1,430	2,000	△ 570	
3. 雑収入		0	1,000	△ 1,000	
	1. 雑収入	0	1,000	△ 1,000	
4. 繰越金		1,837,913	1,800,000	37,913	
	1. 繰越金	1,837,913	1,800,000	37,913	前期繰越金
合 計		11,951,534	9,203,000	2,748,534	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 給与費		5,411,840	5,400,000	11,840	
	1. 給料	3,399,418	3,400,000	△ 582	1名
	2. 諸手当	595,850	600,000	△ 4,150	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,416,572	1,400,000	16,572	同上 期末・勤勉手当
2. 時間外勤務手当		211,818	250,000	△ 38,182	
	1. 時間外勤務手当	211,818	250,000	△ 38,182	
3. 福利厚生費		994,143	920,000	74,143	
	1. 福利厚生費	994,143	920,000	74,143	同上 社会保険料等
4. 管理費		814,815	860,000	△ 45,185	
	1. 電算処理費	279,320	300,000	△ 20,680	
	2. 事務諸費	530,360	550,000	△ 19,640	
	3. 旅費交通費	5,135	10,000	△ 4,865	
5. 繰出金		1,441,324	1,450,000	△ 8,676	
	1. 一般会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
	2. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	441,324	450,000	△ 8,676	
6. 予備費		0	323,000	△ 323,000	
	1. 予備費	0	323,000	△ 323,000	
合 計		8,873,940	9,203,000	△ 329,060	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備考
11,951,534	8,873,940	3,077,594	次期繰越金

令和5年度 特定退職金共済事業特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 共済事業掛金収入		6,815,220	7,000,000	△ 184,780	
	1. 保険料	6,815,220	7,000,000	△ 184,780	
2. 事業収入		210,780	216,000	△ 5,220	
	1. 事務費収入	210,780	216,000	△ 5,220	事務費収入 掛金×0.03
3. 企業年金契約給付金受入		4,759,700	100,000	4,659,700	
	1. 給付金受入	4,759,700	100,000	4,659,700	
4. 雑収入		0	1,000	△ 1,000	
	1. 雑収入	0	1,000	△ 1,000	
5. 繰越金		301,053	300,000	1,053	
	1. 前期繰越金	301,053	300,000	1,053	
合 計		12,086,753	7,617,000	4,469,753	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業費		0	50,000	△ 50,000	
	1. 事業推進費	0	50,000	△ 50,000	事業推進キャンペーン費
2. 共済事業給付金		4,759,700	100,000	4,659,700	
	1. 退職金	4,759,700	100,000	4,659,700	
3. 管理費		41,124	70,000	△ 28,876	
	1. 事務諸費	41,124	60,000	△ 18,876	事務用品、口座振替手数料等
	2. 旅費交通費	0	10,000	△ 10,000	
4. 支払保険料		6,815,220	7,000,000	△ 184,780	
	1. 共済事業積立金	6,815,220	7,000,000	△ 184,780	
5. 予備費		0	397,000	△ 397,000	
	1. 予備費	0	397,000	△ 397,000	
合 計		11,616,044	7,617,000	3,999,044	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備考
12,086,753	11,616,044	470,709	次期繰越金

令和5年度 商品券事業特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位 : 円)

勘 定 科 目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 手数料		210,510,000	210,400,000	110,000	
	1. 売上	210,000,000	210,000,000	0	
	2. 登録料	510,000	400,000	110,000	非会員参加負担金
2. 交付金		43,973,326	44,500,000	△ 526,674	
	1. 補助金(県、市)	43,973,326	44,500,000	△ 526,674	プレミアム分(42,000,000-281,833) 41,718,167 事務費(4,510,318*50%) 2,255,159
3. 雑収入		425	1,000	△ 575	
	1. 雑収入	425	1,000	△ 575	
4. 繰入金		2,255,159	2,500,000	△ 244,841	
	1. 一般会計繰入金	2,255,159	2,500,000	△ 244,841	
合 計		256,738,910	257,401,000	△ 662,090	

支出の部

勘 定 科 目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業費		250,309,000	252,000,000	△ 1,691,000	
	1. 商品券発行事業	250,309,000	252,000,000	△ 1,691,000	
2. 事務費		4,510,318	5,000,000	△ 489,682	
	1. 印刷費	1,145,628	1,500,000	△ 354,372	
	2. 広告宣伝費	300,500	400,000	△ 99,500	
	3. 消耗品費	875,358	1,100,000	△ 224,642	
	4. 事務諸費	2,188,832	2,000,000	188,832	
3. 繰出金		1,919,592	0	1,919,592	
	1. 一般会計繰出金	1,919,592	0	1,919,592	
4. 予備費		0	401,000	△ 401,000	
	1. 予備費	0	401,000	△ 401,000	
合 計		256,738,910	257,401,000	△ 662,090	

収入決算額	支出決算額	差引残高
256,738,910	256,738,910	0

令和5年度 財政調整資金積立金特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位：円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 繰越金		208,000,975	207,984,000	16,975	
	1. 前期繰越金	208,000,975	207,984,000	16,975	
2. 雑収入		45,863	1,000	44,863	
	1. 預金利息	45,863	1,000	44,863	
合 計		208,046,838	207,985,000	61,838	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 財政調整支出金		0	1,000	△ 1,000	
	1. 財政調整支出金	0	1,000	△ 1,000	
2. 財政調整資金 積立金		208,046,838	207,984,000	62,838	
	1. 財政調整資金 積立金	208,046,838	207,984,000	62,838	預金 198,307,040 国債 9,739,798
合 計		208,046,838	207,985,000	61,838	

令和5年度 退職給与資金積立金特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位：円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 繰入金		6,737,796	6,750,000	△ 12,204	
	1. 一般会計繰入金	1,392,144	1,400,000	△ 7,856	
	2. 中小企業相談所 特別会計繰入金	4,531,644	4,500,000	31,644	
	3. 共済事業特別会計 繰入金	372,684	400,000	△ 27,316	
	4. 労働保険事務組合 一般会計繰入金	441,324	450,000	△ 8,676	
2. 雑収入		0	1,000	△ 1,000	
	1. 預金利息	0	1,000	△ 1,000	
3. 退職給与資 金積立金		81,931,392	81,931,000	392	
	1. 前期繰越金	81,931,392	81,931,000	392	
合 計		88,669,188	88,682,000	△ 12,812	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 退職給与金		1,204,800	1,205,000	△ 200	
	1. 退職給与金	1,204,800	1,205,000	△ 200	
2. 退職給与資 金積立金		87,464,388	87,477,000	△ 12,612	
	1. 退職給与資金積立金	87,464,388	87,477,000	△ 12,612	
合 計		88,669,188	88,682,000	△ 12,812	

令和5年度 労働保険事務組合労働保険料特別会計収支決算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:円)

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 受取保険料		90,182,882	70,000,000	20,182,882	
	1. 労働保険料	90,182,882	70,000,000	20,182,882	徴収保険料
合	計	90,182,882	70,000,000	20,182,882	

支出の部

勘定科目		決算額	予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 支払保険料		90,182,882	70,000,000	20,182,882	
	1. 労働保険料	90,182,882	70,000,000	20,182,882	納付保険料
合	計	90,182,882	70,000,000	20,182,882	

令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位 : 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	47,001,397	未払金	3,753,653
未収金	2,401,000	仮受金	4,127,357
立替金	23,417	預り金	11,079,419
流動資産計	49,425,814	流動負債計	18,960,429
固定資産			
(有形固定資産)		固定負債	
什器備品	25,920,213	退職給与引当金	87,464,388
車両運搬具	5,230,634	固定負債計	87,464,388
水銀街路灯	18,590,510	負債の部合計	106,424,817
有形固定資産計	49,741,357		
(その他固定資産)		〔正味財産の部〕	
有価証券	780,000	積立金	
退職給与積立預金	87,464,388	財政調整資金積立金	208,046,838
財政調整資金積立預金	198,307,040	積立金計	208,046,838
財政調整資金運用資産(有価証券)	9,739,798	剰余金	
その他固定資産計	296,291,226	固定財産	50,521,357
固定資産計	346,032,583	一般会計繰越金	19,519,867
		中小企業相談所特別会計繰越金	4,913,980
		共済事業特別会計繰越金	2,483,235
		労働保険事務組合一般会計繰越金	3,077,594
		特定退職金共済事業特別会計繰越金	470,709
		計	80,986,742
		正味財産の部合計	289,033,580
資産合計	395,458,397	負債及び正味財産合計	395,458,397

令和5年度 固定財産明細表

令和6年3月31日現在

(単位 : 円)

勘定科目	期首残高(A)	当期増加(B)	当期減少(C)	当期減価償却費(D)	期末残高(A+B-C-D)
(有形固定資産)					
什器備品	26,949,820	97,350	0	1,126,957	25,920,213
車両運搬具	5,759,639	0	0	529,005	5,230,634
街路灯	19,718,439	0	205,579	922,350	18,590,510
(その他固定資産)					
有価証券	780,000	0	0	0	780,000
退職給与積立預金	81,931,392	6,737,796	1,204,800	0	87,464,388
財政調整資金積立預金	198,261,177	45,863	0	0	198,307,040
財政調整資金運用資産 (有価証券)	9,739,798	0	0	0	9,739,798
固定資産計①	343,140,265	6,881,009	1,410,379	2,578,312	346,032,583
固定負債					
退職給与引当金	81,931,392	6,737,796	1,204,800	0	87,464,388
固定負債計②	81,931,392	6,737,796	1,204,800	0	87,464,388
固定財産計(①-②)	261,208,873	143,213	205,579	2,578,312	258,568,195

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位 : 円)

勘定科目・摘要		金額		
〔資産の部〕				
流動資産				
現金及び預金	現金	49,576		
	普通預金等	46,951,821		
未収金	市補助金等	2,401,000		
立替金	雇用保険料個人負担金等	23,417		
	流動資産計		49,425,814	
固定資産				
(有形固定資産)				
什器備品	机・椅子・棚類・事務機器等	27,047,170		
	償却累計額	△ 1,126,957		
		25,920,213		
車両運搬具	公用車4台	5,759,639		
	償却累計額	△ 529,005		
		5,230,634		
街路灯	1灯式101基	19,512,860		
	償却累計額	△ 922,350		
		18,590,510		
(その他固定資産)				
有価証券		780,000		
退職給与積立預金		87,464,388		
財政調整資金積立預金		198,307,040		
財政調整資金運用資産(有価証券)		9,739,798		
	固定資産計		346,032,583	
	資産の部合計			395,458,397
〔負債の部〕				
流動負債				
未払金	社会保険料等	3,753,653		
仮受金	労働保険料等	4,127,357		
預り金	住民税・生命共済保険料等	11,079,419		
	流動負債計		18,960,429	
固定負債				
退職給与引当金		87,464,388		
	固定負債計		87,464,388	
	負債の部合計			106,424,817
	正味財産			289,033,580

令和5年度 監査報告書

令和6年4月17日

大府商工会議所

会頭 鬼頭 佑治 殿

監事 大 嶋 久 邦 ㊞

監事 村 瀬 泰 弘 ㊞

監事 竹 内 良 礼 ㊞

大府商工会議所定款第66条第1項の規定により、令和6年4月17日に会頭から提出された下記書類について監査した結果、その内容はいずれも適正であると認めます。

記

令和5年度 事業報告書

同 上	一般会計収支決算書
同 上	中小企業相談所特別会計収支決算書
同 上	共済事業特別会計収支決算書
同 上	労働保険事務組合一般会計収支決算書
同 上	特定退職金共済事業特別会計収支決算書
同 上	商品券事業特別会計収支決算書
同 上	財政調整資金積立金特別会計収支決算書
同 上	退職給与資金積立金特別会計収支決算書
同 上	労働保険事務組合労働保険料特別会計収支決算書

大府商工会議所定款抜粋

（目的）

第1条 本商工会議所は、地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第7条 本商工会議所は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- （1）商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- （2）行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- （3）商工業に関する調査研究を行うこと。
- （4）商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。
- （5）商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。
- （6）輸出品の原産地証明を行うこと。
- （7）商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- （8）商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。
- （9）商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。
- （10）博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。
- （11）商事取引に関する仲介又はあつせんを行うこと。
- （12）商事取引の紛争に関するあつせん、調停又は仲裁を行うこと。
- （13）商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。
- （14）商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。
- （15）商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。
- （16）社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- （17）行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- （18）前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

大 府 商 工 会 議 所

大府市中央町五丁目 70 番地

TEL 〈0562〉 47 - 5000 (代表)

FAX 〈0562〉 46 - 9030